ISSN 1342-2987

仙台市博物館年報

第41号

平成25年度

目　　次

ごあいさつ

1．展示 …… 2
常設展示／国指定文化財の公開／特別展・企画展

2．資料の収集保管 …… 48
国宝「慶長遣欧施設関係資料」のユネスコ記憶遺産登録について／受贈資料／
購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／
写真資料の貸出・利用／収蔵資料一覧／当館収蔵指定文化財一覧

3．教育・普及 …… 54
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／
学校教育との連携／生涯学習施設との連携／広報／刊行物・グッズ等

4．調査・研究 …… 68

5．市史編さん事業 …… 72

6．文化庁補助事業について …… 77

7．ボランティア …… 78

8．友の会 …… 80

9．組織・予算・運営 …… 81
仙台市博物館組織・事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会／
仙台市史編さん委員会

10．利用状況 …… 85
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況／視察対応状況

11．条例・規則・要綱等 …… 88
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／
仙台市史編さん委員会設置要綱／
仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

12．仙台市博物館のあゆみ …… 95

ごあいさつ

平成25年度の仙台市博物館は、国内だけでなく国外からの支援も受けながら、東日本大震災からの復興に力を注いでおられる市民の皆様に、元気と癒しをお届けするために活動いたしました。そうした中にあって、6月に国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「ローマ市公民権証書」、「支倉常長像」、「ローマ教皇パウロ五世像」の3点がユネスコ記憶遺産への登録が決定したことは、誠に喜ばしい限りです。

特別展は「東日本大震災復興支援　若冲が来てくれました－プライスコレクション　江戸絵画の美と生命」、「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美　近江巡礼　祈りの至宝」、「慶長遣欧使節出帆400年・ユネスコ世界記憶遺産登録記念　伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」、「東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年　法隆寺－祈りとかたち」の4回、企画展「仙台藩主　勢ぞろい！初代伊達政宗から13代慶邦まで」の1回を開催いたしました。特に「若冲が来てくれました」はプライスご夫妻のご協力により、入館者数が10万人を突破し、前年度の「インカ展」を超えて当館の歴代2位の記録を作りました。「伊達政宗の夢」展ではイタリア、ヴァチカン、スペインからも資料を借用し、慶長遣欧使節出帆400年を記念する行事が県内各地で行われる中での特別展となりました。常設展では年4回の大規模な展示替えを行い、特集展示室では「絵図に見る仙台藩領」や「かたちでわかる古文書入門」、「屏風絵特集」など、当館収蔵資料の特色を生かした展示を試み、好評を得ております。

市史編さん事業では『特別編9　地域誌』を刊行しました。この巻では近代以降仙台市に合併・編入された周辺町村の沿革と様相を扱っています。仙台市域が拡大し大都市化していくことで埋もれがちな各地域の歴史や伝統、文化に多くの方々に触れていただき、各地域への郷土愛を深めていただければと願っております。また、震災後の被災資料救出の取り組み等を引き続き行っており、東北電力グリーンプラザなどを会場にパネル展示も行いました。

教育普及事業につきましては、学校向けのプログラムを館内外で実施するとともに、ＰＴＡ親子行事の実施協力や休日イベントとして展示に関するクイズラリーを実施するなど、学びの機会の充実に努めました。大学向けのキャンパスメンバーズ制度もスタートし、少しずつ大学生の博物館利用が増えているところです。

博物館の今後のさらなる発展を期して、今後とも職員一同努力してまいりますので、なお一層のご指導とご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

仙台市博物館
館長　遠　藤　俊　行

1. 展　示

常設展示

⑴展示概要と使用展示室

常設展示室の一部を、平成22年４月20日にリニューアルオープンした結果、現在常設展示室は７室となっている。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の６ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、従来の通史的な展示では紹介できなかった資料群を、様々なテーマのもとに展示するために設置したものである。既存のテーマ展示室Ⅰ・Ⅱが特別展会場となる場合には、その代替施設として仙台藩の武具や国宝「慶長遣欧使節関係資料」が展示されたが、それ以外の期間には、「かたちでわかる古文書入門」などの特集展示を行った。

２室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織･刀剣などを展示、「支倉常長と東北のキリシタン」と題されたⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」を展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の２空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

２つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形･漆工芸･陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及　プレイミュージアム」の稿を参照されたい。

⑵平成25年度の常設展示

現在、９万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、季節ごとに年４回の展示替えを実施している。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。これまでも季節を感じさせる名称を常設展示に付して、「変化する常設展」の広報に努めてきたが、今年度は例えば「旬の常設展2013夏『絵図に見る仙台藩領』ほか」というように、特筆すべき内容を伝える名称を冠した。この絵図の展示は主に、特集展示室で城絵図や村絵図などにより、仙台藩の様子をよみとくものであったが、連動する形で総合展示室の「藩」のゾーンでも久しぶりに縦８メートルを超える奥州仙台領国絵図を展示した。

また、冬の展示では、「藩」のゾーンにおいて地震や風水害など仙台藩が経験した災害について江戸時代の記録を中心に展示するなど、今日的なテーマ設定にも取り組んだ。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表１」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示展示資料目録（抄録）」を参照されたい。

⑶外国人来館者への配慮

年々増加傾向にあった外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、これまで当館では以下のような取り組みを進めてきた。

１英・中・韓３カ国語対応の音声ガイドの導入
２英文パンフレットの作成
３小テーマの解説への英・中・韓３カ国語併記
４展示資料のキャプションへの英文併記

なお、当館では、「慶長遣欧使節」を取り上げるテーマ展示室Ⅱの隣にミニシアターを設置し、「支倉常長－光と影－」と題する映像ソフトを上映しているが、この字幕にも英文を併記している。

⑷今後の課題等

これまでも古文書などを展示する場合、資料解説のほかに、くずし字の読みについてのキャプションをできる限り添えてきたが、よりわかりやすい展示を目指して、今後一層の充実を図る必要がある。

表１　平成25年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	2013春の展示「絵が得意な藩主・伊達吉村」ほか(2/26－6/2)	2013夏の展示「絵図に見る仙台藩領」ほか（6/4－9/1）	2013秋の展示「奥羽の戦国武将」ほか（9/3－12/1）	2013冬の展示「かたちでわかる古文書入門」ほか(12/3－2/9)	2014春の展示「春を楽しむ」ほか（2/11－5/25）
総合展示室	1　むかしの仙台	1　仙台のあけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の石器と野川遺跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺跡の土器・石器
		2　縄文人のくらし	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか	高柳遺跡の土器と伊古田遺跡のジャンボ土偶ほか	高柳遺跡の土器と伊古田遺跡のジャンボ土偶ほか	上野遺跡の土器と大野田遺跡の土偶ほか
		3　稲作の始まりと有力者の出現	(弥生)中在家南遺跡・高田Ｂ遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田Ｂ遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田Ｂ遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田Ｂ遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田Ｂ遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか
		4　中央政権の進出	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡の関東系土器・陸奥国分寺跡の出土資料ほか	郡山遺跡の関東系土器・陸奥国分寺跡の出土資料ほか	郡山遺跡・陸奥国分寺跡の出土資料ほか
		5　陸奥国分寺	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型
		6　武士の台頭	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料
		7　神仏への祈り	陸奥国分寺の仏像	陸奥国分寺の仏像	9/3－9/23 中尊寺の文化財	9/25－信仰の中の金工資料	信仰の中の金工資料	百万塔と十八夜観世音堂菩薩立像
	2　伊達政宗、仙台へ	8　伊達氏の登場	政宗と秀吉		奥羽の戦国大名 (重文 塵芥集9/3－12/1)		政宗と秀吉
		9　仙台藩主、伊達政宗	政宗具足 (複製2/26－4/26, 重文4/27－5/19)	5/21－6/30政宗書状	7/2－伊達政宗画像（複製）	伊達政宗画像（複製）	伊達政宗画像（複製）	伊達政宗画像（複製）
	3　城	10　仙台城のすがた	遺品に見る仙台城	遺品に見る仙台城	城を建てる、城をなおす	仙台城と江戸屋敷	遺品に見る仙台城
		11　藩主と夫人たち	絵が得意な藩主・伊達吉村	藩主の文芸	城に勤める、藩主に仕える	仙台藩の奥方	忠宗をめぐるひとびと
		12　武家のくらし	2/5－4/7 雛調度と化粧道具	4/9－7/21 箱・函・匣(展示替えあり)	婚礼調度　(乗物と貝桶)	武家の服飾 (－1/13男性・1/15－女性)	－4/6雛調度
	4　藩	13　仙台藩のようす	2/19－6/30 仙台藩の武器武具	7/2－9/29 武士の行列	10/1－12/1 仙台藩の武器武具	災害を生きた人々	武士の行列
		14　仙台藩の家臣たち	寛文事件	寛文事件※国絵図展示	角懸家資料※国絵図展示	仙台藩の狩り	寛文事件
	5　町	15　城下町仙台	城下の景観		城下町と秋のまつり	仙台城下と町方　国分町	城下の中心地　芭蕉の辻
		16　町のくらし	春の行事	仙台と七夕	仙台城下の商人	絵馬にみる産業	春を楽しむ
		17　教育と文化	仙台藩の文化人と思想家 (乙二・日人他／林子平)	仙台藩の学問と思想家 (天文学／林子平)	仙台藩の学問と思想家 (医学／林子平)	仙台藩の学問と思想家（養賢堂／林子平）	
		18　新たな時代へ	玉蟲左太夫の生涯	玉蟲左太夫の生涯	仙台藩と外国	幕末人物伝　三浦乾也	玉蟲左太夫の生涯
	6　近代都市へのあゆみ	19　戊辰戦争と明治維新	幕末明治を生きた人々３	幕末明治を生きた人々４	仙台藩と戊辰戦争8	仙台藩と戊辰戦争9	仙台藩と戊辰戦争10
		20　近代都市仙台	教育・戦争と地域社会（西南戦争／自由民権運動）	教育・戦争と地域社会（教科書／軍都仙台）	軍都仙台	教育にみる仙台（教科書）と近代手工業	教育・戦争と地域社会 (西南戦争／自由民権運動)
特集展示室	東側ケース		特別展「若冲が来てくれました」 (3/1－5/6)	5/8－9/29 絵図に見る仙台藩領（7/22展示替え）	特別展「伊達政宗の夢」 (10/4－11/17)	11/26－2/16 かたちでわかる古文書入門		2/18－4/20 国宝　慶長遣欧使節関係資料
	西側ケース			5/8－6/30 屏風絵1	7/2－9/29 仙台藩の武器武具	11/26－1/13 屏風絵2	1/15－2/16 屏風絵3	2/18－ 仙台藩の武器武具
コレクションⅠ	焼物		食のうつわ	6/4－9/29 盆石・堤焼	10/1－11/17 閉室	11/19－ 東北のやきもの		切込焼・埋木細工
	東北の古人形		堤人形と三春人形	6/4－9/29 堤人形と花巻人形		11/19－ 東北の古人形		－4/6 年中行事と東北の古人形
	茶道具		茶道具	6/4－9/29 茶道具		11/19－ 茶道具		茶道具
	浮世絵		2/26－6/2 幕末・明治の錦絵54	6/4－9/8 幕末・明治の錦絵55	9/10－12/8 幕末・明治の錦絵56	12/10－2/16 幕末・明治の錦絵57		2/18－幕末明治の浮世絵58
企画展示室			特別展「若冲が来てくれました」 (3/1－5/6)	企画展「仙台藩主勢ぞろい！」(5/21－6/30) 重文政宗具足 (5/21－5/26)、 菅野政宗（5/28－6/30）	特別展「近江巡礼」 (7/12－8/25)	特別展「伊達政宗の夢」 (10/4－11/17)　重文政宗具足 (10/4－11/17)、 ローマ市公民権証書（10/4－11/17）	閉室		特別展「法隆寺」 (3/1－4/13)
テーマⅠ	仙台藩の武器武具 前室						仙台藩の武器武具（12/3－2/16） 政宗(複製)、片倉、茂村(12/3－1/13)、中期（1/15－2/16）		
	仙台藩の武器武具 奥室								
テーマⅡ	慶長遣欧使節　前室		2/26-9/26慶長遣欧使節（ローマ市公民権証書4/9－6/2、6/19－6/30）				11/26－2/16 慶長遣欧使節		
	慶長遣欧使節　奥室						閉室		
コレクションⅡ			特別展「若冲が来てくれました」 (3/1－5/6)	企画展「仙台藩主勢ぞろい！」 (5/21－6/30)	特別展「近江巡礼」 (7/12－8/25)		12/3－1/13 東東洋の絵画	1/15－2/16 菅井梅関の絵画	
プレイミュージアム			3/1－5/6 特別展関連イベント「若冲に挑戦！マス目ぬり絵パズル」 3/12－4/7 投扇興	5/21－6/30 企画展関連イベント「和綴じで歴代藩主集め」 6/2 変身タイム①（武将隊とコラボ）	7/12－8/25 特別展関連イベント「白描画を楽しもう」 7/9－8/4 短冊に願いを！	10/4－11/17 特別展関連イベント「慶長気分でオリジナルアクセサリー」 9/28 変身タイム②	12/17－1/26 とべとべ！するめてんばた	2/4－3/2 桃の節句～折りびなを飾ろう	3/1 変身タイム③ 3/1－4/13 特別展関連イベント「それぞれのミニ仏さま」

常設展示展示資料目録（抄録）

1．コレクション名については一部略記した。
2．その他の略記事項については以下の通り。
　仙台市博物館蔵資料＝館蔵　伊達家寄贈文化財＝伊文
　仙台市教育委員会＝仙台市教委　世紀＝C
　コレクション＝C

総合展示室

1　むかしの仙台

仙台のあけぼの

2013.4／1～2014.3／31
1．ペン先形ナイフ形石器　上ノ原山遺跡（下層）
　後期旧石器初頭　1点　仙台市教委
2．ナイフ形石器　上ノ原山遺跡（下層）
　後期旧石器初頭　2点　仙台市教委
3．石刃　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器後半（2.0～1.5万年前）　1点　仙台市教委
4．ナイフ形石器　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器後半（2.0～1.5万年前）　3点　仙台市教委
5．彫刻刀形石器　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器後半（2.0～1.5万年前）　4点　仙台市教委
7．スクレイパー　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器後半（2.0～1.5万年前）　4点　仙台市教委
8．両面加工石器（楕円形状）　野川遺跡　縄文草創期　1点
　仙台市教委
9．篦状石器　野川遺跡　縄文草創期　1点　仙台市教委
10．篦状石器　野川遺跡　縄文草創期　1点　仙台市教委
11．多縄文系土器片（絡条体圧痕文・口縁部）　野川遺跡
　縄文草創期　一括　仙台市教委
12．多縄文系土器片（縄文圧痕文・口縁部）　野川遺跡
　縄文草創期　一括　仙台市教委

縄文人のくらし

2013.4／1～2014.3／31
1．縄文土器深鉢　上野遺跡　縄文中期中葉　2点
　仙台市教委
2．縄文土器浅鉢　上野遺跡　縄文中期中葉　1点
　仙台市教委
3．縄文土器注口土器　上野遺跡　縄文中期中葉　1点
　仙台市教委
4．革袋形土器　上野遺跡　縄文中期中葉　1点
　仙台市教委
5．深鉢　高柳遺跡　縄文中期中葉　1点　仙台市教委
6．深鉢　高柳遺跡　縄文中期中葉　1点　仙台市教委
7．深鉢　高柳遺跡　縄文中期中葉　1点　仙台市教委
8．深鉢　高柳遺跡　縄文中期中葉　1点　仙台市教委
9．深鉢　高柳遺跡　縄文中期中葉　1点　仙台市教委
10．把手状装飾付深鉢　高柳遺跡　縄文中期中葉　1点
　仙台市教委
11．石槍　三神峯遺跡　縄文前期前葉　1点　仙台市教委
12．石匙　六反田遺跡　縄文後期初頭　1点　仙台市教委
13．石匙　六反田遺跡　縄文後期初頭　1点　仙台市教委
14．石鏃　大野田遺跡　縄文後期前葉　10点　仙台市教委
15．鹿角製釣り針　大野田遺跡　縄文後期前葉　1点
　仙台市教委
16．鹿角製銛　大野田遺跡　縄文後期前葉　1点　仙台市教委
17．鹿角製銛　大野田遺跡　縄文後期前葉　1点　仙台市教委
18．土製錘　大野田遺跡　縄文後期前葉　3点　仙台市教委
19．軽石製浮子　大野田遺跡　縄文後期前葉　3点
　仙台市教委
20．磨製石斧　大野田遺跡　縄文後期前葉　4点　仙台市教委
21．打製石斧　六反田遺跡　縄文後期初頭　1点　仙台市教委
22．足付石皿　六反田遺跡　縄文後期初頭　1点　仙台市教委
23．凹み石　六反田遺跡　縄文　後期初頭　1点　仙台市教委
24．土偶（市指定文化財）　伊古田遺跡　縄文後期中葉　1点
　仙台市教委
25．土偶（市指定文化財）　伊古田遺跡　縄文後期中葉　1点
　仙台市教委
26．土偶（市指定文化財）　伊古田遺跡　縄文後期中葉　1点
　仙台市教委
27．土偶（市指定文化財）　伊古田遺跡　縄文後期中葉　1点
　仙台市教委
28．ハート形土偶　大野田遺跡　縄文後期前葉　1点
　仙台市教委
29．土偶片　大野田遺跡　縄文後期前葉　12点　仙台市教委
30．鍛冶沢遺跡出土土偶（県指定）　蔵王町鍛冶沢遺跡
　縄文晩期　1点　館蔵
31．イノシシ形土製品　大野田遺跡　縄文後期前葉　1点
　仙台市教委
32．鳥頭形突起付土器片　大野田遺跡　縄文後期前葉　2点
　仙台市教委

※№15は、～11／7展示

稲作の始まりと有力者の出現

2013.4／1～2014.3／31
1．弥生土器壺（市指定文化財）　中在家南遺跡
　弥生中期　1点　仙台市教委
2．弥生土器高坏（市指定文化財）　中在家南遺跡
　弥生中期　1点　仙台市教委
3．弥生土器甕（市指定文化財）　中在家南遺跡
　弥生中期　1点　仙台市教委
4．竪杵（市指定文化財）　中在家南遺跡
　弥生中期　1点　仙台市教委

5．竪杵未製品（市指定文化財） 中在家南遺跡
弥生中期 1点 仙台市教委
6．太形蛤刃石斧 高田Ｂ遺跡 弥生 1点 仙台市教委
7．太形蛤刃石斧 高田Ｂ遺跡 卯月 1点 仙台市教委
8．扁平片刃石斧 高田Ｂ遺跡 皐月 1点 仙台市教委
9．扁平片刃石斧 高田Ｂ遺跡 水無月 1点 仙台市教委
10. 鑿形石斧 高田Ｂ遺跡 文月 1点 仙台市教委
11. 鑿形石斧 高田Ｂ遺跡 葉月 1点 仙台市教委
12. 石包丁 高田Ｂ遺跡 長月 1点 仙台市教委
13. 石包丁 高田Ｂ遺跡 神無月 1点 仙台市教委
14. 石包丁 高田Ｂ遺跡 霜月 1点 仙台市教委
15. 石包丁 高田Ｂ遺跡 師走 1点 仙台市教委
16. 石包丁 高田Ｂ遺跡 睦月 1点 仙台市教委
17. 石包丁 高田Ｂ遺跡 如月 1点 仙台市教委
18. 石包丁 高田Ｂ遺跡 弥生 1点 仙台市教委
19. ミニチュア土器 遠見塚古墳 古墳前期 5点 仙台市教委
20. ガラス小玉 遠見塚古墳 4世紀末 3点 仙台市教委
21. 土師器・壺 遠見塚古墳 4世紀末 1点 仙台市教委
22. 人物埴輪 原遺跡 5世紀後半 1点 仙台市教委
23. 円筒埴輪 大野田1号墳 5世紀後半 1点 仙台市教委
24. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5世紀後半 1点 仙台市教委
25. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡（26次）
5世紀後半 1点 仙台市教委
26. 乳文鏡 裏町古墳 5世紀中頃 1点 仙台市教委
※№22は～12／1展示、№26は12／3～展示

中央政権の進出

2013.4／1～2014.3／31
1．材木列塀のクリ材 郡山遺跡 7世紀末～8世紀前半 2点
仙台市教委
2．土師器坏（在地） 郡山遺跡 8世紀初頭 1点
仙台市教委
3．土師器坏（畿内産） 郡山遺跡 7世紀末～8世紀前半
1点 仙台市教委
4．土師器坏（関東系） 郡山遺跡 7世紀中葉 1点
仙台市教委
5．単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7世紀末～8世紀前半 1点
仙台市教委
6．重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7世紀末～8世紀前半 1点
仙台市教委
7．関東系土器・坏 長町駅東遺跡 7～8世紀前半 1点
仙台市教委
8．関東系土器・坏 長町駅東遺跡 7～8世紀前半 1点
仙台市教委
9．土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8世紀前半 1点
仙台市教委
10. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8世紀前半 1点
仙台市教委
11. 須恵器長頸瓶 茂ヶ崎横穴1号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
12. 須恵器大甕 茂ヶ崎横穴3号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
13. 須恵器平瓶 茂ヶ崎横穴20号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
14. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7世紀後半～8世紀前半 1点
仙台市教委
15. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7世紀後半～8世紀前半 1点
仙台市教委
16. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7世紀後半～8世紀前半 1点
仙台市教委
17. 勾玉（ガラス） 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
18. 勾玉（瑪瑙） 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
19. 勾玉（瑪瑙） 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
20. 勾玉（瑪瑙） 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
21. 小玉（大）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
22. 小玉（大）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
23. 小玉（大）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
24. 小玉（大）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
25. 小玉（中）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
26. 小玉（中）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
27. 小玉（中）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
28. 小玉（小）ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓
7世紀後半～8世紀前半 40点 仙台市教委
29. 丸玉（蛇紋岩） 茂ヶ崎横穴25号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
30. 切子玉（琥珀） 茂ヶ崎横穴25号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
31. 管玉（碧玉） 茂ヶ崎横穴25号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
32. 管玉（碧玉） 茂ヶ崎横穴25号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
33. 管玉（碧玉） 茂ヶ崎横穴25号墓
7世紀後半～8世紀前半 1点 仙台市教委
34. 臼玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7世紀後半～8世紀前半 1点
仙台市教委
35. 臼玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7世紀後半～8世紀前半 1点
仙台市教委

36. 臼玉　茂ヶ崎横穴25号墓　7世紀後半～8世紀前半　1点　仙台市教委
37. 臼玉　茂ヶ崎横穴25号墓　7世紀後半～8世紀前半　1点　仙台市教委
38. 重弁蓮華文軒丸瓦　陸奥国分寺跡　奈良時代　1点　仙台市教委
39. 重弁蓮華文軒丸瓦　陸奥国分寺跡　奈良時代　1点　仙台市教委
40. 偏行唐草文軒平瓦　陸奥国分寺跡　奈良　1点　仙台市教委
41. 偏行唐草文軒平瓦　陸奥国分寺跡　奈良　1点　仙台市教委
42. 偏行唐草文軒平瓦　陸奥国分寺跡　奈良　1点　仙台市教委
43. 宝相華文軒丸瓦　陸奥国分寺跡　平安　1点　仙台市教委
44. 連珠文軒平瓦　陸奥国分寺跡　平安　1点　仙台市教委
45. 刻印瓦「物」　陸奥国分尼寺跡　奈良～平安　1点　仙台市教委
46. 刻印瓦「丸」　陸奥国分尼寺跡　奈良～平安　1点　仙台市教委
47. 刻印瓦「伊」　陸奥国分尼寺跡　奈良～平安　1点　仙台市教委
48. 刻印瓦「占」　陸奥国分尼寺跡　奈良～平安　1点　仙台市教委
49. 墨書土器「佛」　陸奥国分尼寺跡　平安　1点　仙台市教委
50. 墨書土器「講院」　国分寺東遺跡　平安　1点　仙台市教委
51. 擦管　陸奥国分寺跡　奈良　1点　東北歴史博物館
52. 水煙片　陸奥国分寺跡　奈良　1点　東北大学文学部
53. 棟平瓦　与兵衛沼窯跡　平安　1点　仙台市教委
54. 棟平瓦　与兵衛沼窯跡　平安　1点　仙台市教委
55. 鬼瓦　与兵衛沼窯跡　平安　1点　仙台市教委
56. 鬼瓦　与兵衛沼窯跡　平安　1点　仙台市教委
57. 九輪片　陸奥国分寺跡　奈良　1点　仙台市教委

※№51は～9／1展示、№53～57は9／3～展示

武士の台頭

2013.4／1～2014.3／31

1．常滑・大甕　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
2．在地・小壺　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
3．在地・片口鉢　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
4．古瀬戸・合子　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
5．古瀬戸・仏花瓶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
6．瀬戸美濃・天目茶碗　洞ノ口遺跡　大窯Ⅲ期　1点　仙台市教委
7．中国・青磁碗　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
8．中国・青磁碗　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
9．中国・青磁皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
10．中国・青磁皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
11．中国・青白磁合子　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
12．中国・青白磁梅瓶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
13．中国・青白磁梅瓶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
14．中国・白磁・四耳壺　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
15．中国・白磁・壺　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
16．中国・白磁・小坏　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
17．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
18．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
19．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
20．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
21．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
22．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
23．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
24．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
25．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
26．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
27．土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
28．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
29．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
30．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
31．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
32．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
33．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
34．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
35．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
36．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
37．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
38．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
39．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
40．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
41．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
42．土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
43．短刀（拵付）　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
44．短刀　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
45．鏃　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
46．馬具（轡）　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
47．馬具（轡）　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
48．板碑　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
49．板碑　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
50．板碑　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
51．木製五輪塔　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
52．地蔵菩薩木像　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
53．呪符木簡　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
54．洪武通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
55．洪武通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
56．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
57．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
58．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
59．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
60．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
61．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
62．永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
63．銭種不明　洞ノ口遺跡　中世　1点　仙台市教委
64．鬼瓦　東光寺遺跡　中世　1点　仙台市教委

65. 鬼瓦　東光寺遺跡　中世　1点　　仙台市教委

神仏への祈り

「陸奥国分寺の仏像」　2013.2／26～5／26

1．木造十二神将立像のうち子神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
2．木造十二神将立像のうち丑神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
3．木造十二神将立像のうち巳神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
4．木造十二神将立像のうち午神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
5．木造十二神将立像のうち亥神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺

「陸奥国分寺の仏像」　5／28～9／1

1．木造十二神将立像のうち寅神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
2．木造十二神将立像のうち卯神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
3．木造十二神将立像のうち申神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
4．木造十二神将立像のうち酉神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺
5．木造十二神将立像のうち戌神像　鎌倉　1体　　陸奥国分寺

「中尊寺の文化財」　9／3～9／23

1．国宝　金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図　第八幀
　平安　1幀　　中尊寺大長寿院
2．国宝　紺紙金銀字一切経　仏説雑蔵経　平安　1巻
　　中尊寺大長寿院
3．国宝　紺紙金字一切経　大般若経　巻第一二七・二四二
　平安　2巻　　中尊寺大長寿院
4．国宝　漆塗経筥　平安　1口　　中尊寺大長寿院
5．国宝　礼盤　経蔵堂内具のうち　平安　1基
　　中尊寺大長寿院

「信仰の中の金工資料」　9／25～2014.2／9

1．重要文化財　龍頭　平安　1頭　　極楽寺
2．重要文化財　銅鏡　羽黒山御手洗池出土　平安～鎌倉
　5面　　出羽三山神社
3．重要文化財　懸仏　鎌倉　3面　　熊野那智神社

2　伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「政宗と秀吉」　2013.2／26～6／2

1．木村宇右衛門覚書　上　木村宇右衛門可親著　慶安5年頃
　1冊　　伊文
2．伊達政宗書状　宛所不明　(天正18年)6月14日　1幅　伊文
3．蒲生氏郷起請文　伊達左京太夫（政宗）宛
　天正18年11月28日　1通　　伊文
4．豊臣秀吉朱印状　羽柴伊達侍従（政宗）宛
　(天正19年) 6月20日　1通　　伊文
5．岩出山要害図　江戸　1鋪　　伊文
6．貞山公治家記録巻18上（天正20年3月17日条）
　元禄16年　1冊　　伊文
7．伊達政宗書状　おちゃこ宛　(文禄2年) 9月22日
　1通　　伊文
8．豊臣秀吉書状　伊達左京大夫（政宗）宛
　(天正17年) 6月9日　1通　　伊文
9．豊臣秀吉小田原陣陣立書　(天正17年)11月20日　1幅　伊文
10．前田利家書状　伊達左京大夫（政宗）宛
　(天正18年) 12月22日　1通　　伊文
11．伊達政宗書状　浅弾□（浅野弾正少弼長吉）宛
　(天正19年) 2月9日　1巻　　伊文
12．伊達政宗書状　大町三河守宛　(天正20年) 3月17日
　1幅　　館蔵
13．石田三成書状　針（針生）民部太輔（盛信）宛
　(文禄4年) 7月25日　1幅　　館蔵
14．豊臣秀吉御誓覚書　(伊達政宗宛)　文禄4年8月24日
　1通　　伊文
※№1～7は～6／2展示、№8～12は6／4～展示

「奥羽の戦国大名」　9／3～2014. 2／9

1．重要文化財　塵芥集（村田本）　天文5年4月14日
　1冊　　伊文
2．伊達稙宗朱印状　神谷常陸介（岩城重隆家臣）宛
　(天文10年頃) 6月14日　1通　　伊文
3．伊達晴宗知行宛行状　国分源三（常信）宛
　天文12年7月3日　1通　　伊文
4．最上義守黒印状　牧野弾正忠（久仲）宛
　(年未詳) 5月15日　1通　　伊文
5．蘆名盛興起請文　伊達殿（輝宗）宛
　永禄9年2月1日　1通　　伊文
6．由良国繁書状　遠藤山城守（基信）宛
　(天正10年) 3月25日　1通　　斎藤報恩会
7．伊達輝宗画像（伊達家歴代画真のうち）
　長谷川養辰筆　享保9年　1面　　伊文
8．伊達政宗書状　石川殿（昭光）宛
　(天正16年) 5月23日　1幅　　館蔵
9．仙道絵図　江戸　1幅　　伊文
10．足利義輝御内書　伊達左京大夫（晴宗）宛
　(永禄2年頃) 9月24日　1通　　伊文
11．松本氏輔等連署起請文　牧野殿（久仲）・浜田殿（宗景）・
　中野殿（宗時）宛　永禄9年正月10日　1通　　伊文
12．伊達輝宗日記　伊達輝宗筆　天正2年　1冊　　伊文
13．伊達政宗書状　氏弾（氏家弾正忠）宛
　(天正16年) 10月24日　1幅　　館蔵
14．伊達政宗書状　五郎殿（伊達成実）宛
　(天正17年) 5月14日　1通　　伊文
15．伊達成実画像　江戸（17－19C）　1幅　　館蔵
16．片倉景綱書状　平田惣右衛門宛　(天正17年) 6月9日
　1幅　　個人蔵
17．片倉景綱画像　猪野謙山筆　明治（19C）　1幅
　　片倉家資料
※№1～9は～12／1展示、№10～17は12／3～展示

仙台藩主　伊達政宗

2013. 2／26～5／19

1．黒漆五枚胴具足　複製（2／26～4／26）　原資料　桃山　1領　館蔵

2．重要文化財　黒漆五枚胴具足（4／27～5／19）　桃山　1領　伊文

「政宗書状」　5／21～6／30

1．伊達政宗書状　茂庭石見宛　（年未詳）10月朔日　1幅　三原良吉C

2．伊達政宗自筆書状　伊達忠宗宛　寛永3年12月1日　1幅　個人蔵

3．伊達政宗和歌短冊　寛永11年8月11日　1幅　個人蔵

「仙台藩主　伊達政宗」　7／2～2014. 2／9

1．伊達政宗画像（複製）　原本は狩野安信筆　原本は江戸前期　1幅　館蔵

3　城

仙台城のすがた

「遺品に見る仙台城」　2013. 2／26～6／2

1．伊達政宗画像（複製）　原本は狩野安信筆　原本は江戸前期　1幅　館蔵

2．檜図屏風　慶長15年　2曲1隻　藤縄達夫氏寄贈

3．仙台城旧御本丸御屋形図　明治26年写　1舗　館蔵

4．仙台城絵図　江戸中期　1幅　館蔵

5．青花金彩鳳凰合子片　仙台城本丸跡出土　明末～清初　5点　仙台市教委

6．祥瑞蔓草紋変形皿片　仙台城本丸跡出土　明末　8点　仙台市教委

7．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1振　伊達貞宗氏寄贈

8．金製ブローチ　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈

9．煙管　江戸初期　2本　伊達貞宗氏寄贈

10．懐中鏡　江戸初期　1面　伊達貞宗氏寄贈

11．文鎮　江戸初期　1口　伊達貞宗氏寄贈

12．慶長一分金　江戸初期　3枚　伊達貞宗氏寄贈

13．墨　16C末～17C初期　1点　伊達貞宗氏寄贈

14．墨　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈

15．えんぴつ（複元品）　江戸初期　2点　館蔵

16．竹図屏風　慶長15年　2曲1隻　館蔵

№1、№7、№8は2／26～5／19展示、№16は5／21～6／30展示

「遺品に見る仙台城」　6／4～9／1

1．竹図屏風　（慶長15年）　2曲1隻　伊文

2．金箔押菊丸瓦　仙台城本丸跡出土　江戸前期　1点　仙台市教委

3．菊桐紋釘隠　江戸初期　1点　館蔵

4．青花金彩鳳凰合子片　仙台城本丸跡出土　明末～清初　5点　仙台市教委

5．祥瑞蔓草紋変形皿片　仙台城本丸跡出土　明末　8点　仙台市教委

6．青磁陰刻牡丹紋皿　仙台城本丸跡出土　17C前半　1点　仙台市教委

7．エナメル彩動物文ガラス杯片　仙台城本丸跡出土　17C　1件　仙台市教委

8．竹図屏風　（仙台城二の丸遺品）　江戸前期　2曲1隻　館蔵

9．石母田宗頼他二名連署状写　伊賀（古内義重）・主膳（古内重広）・大膳（石母田宗頼）筆　中島監物・茂庭周防ほか3名宛　（寛永15年）8月18日　1通　伊文

10．美濃伊賀水指　仙台城三の丸跡出土　江戸初期　1点　仙台市教委

11．青織部扇形向付　仙台城三の丸跡出土　江戸初期　1点　仙台市教委

12．煙管　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　2本　伊達貞宗氏寄贈

13．懐中鏡　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1面　伊達貞宗氏寄贈

14．文鎮　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1口　伊達貞宗氏寄贈

15．慶長一分金　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　3枚　伊達貞宗氏寄贈

16．墨　瑞鳳殿出土資料　16C末～17C初期　1点　伊達貞宗氏寄贈

17．墨　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈

18．えんぴつ（複元品）　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　2点　館蔵

19．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1振　伊達貞宗氏寄贈

20．金製ブローチ　瑞鳳殿出土資料　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈

№1は～6／30展示、№19～20は7／2～展示

「城を建てる、城をなおす」　2013／9／3～12／1

1．金箔押菊丸瓦　江戸前期　1点　仙台市教委

2．五七桐紋軒丸瓦　17世紀　1点　仙台市教委

3．三引両紋軒丸瓦　17世紀　1点　仙台市教委

4．九曜紋軒丸瓦　17世紀　1点　仙台市教委

5．仙台城絵図　江戸中期　1幅　館蔵

6．江戸幕府老中奉書写　宝永4年9月27日　1通　伊文

7．仙台城普請奉窺候絵図　宝永4年9月7日　1舗　伊澤家C

8．菊花図屏風　伊達政宗詩歌書込　寛永5年　4曲1隻　伊文

9．江戸幕府老中奉書写　元禄15年7月18日　1通　伊文

10．江戸幕府老中奉書　元禄15年7月18日　1通　館蔵

11．白石城普請窺候絵図　元禄15年7月2日　1舗　館蔵

12．千田家勤功書　江戸中期　1綴　千田文彦氏寄贈

13．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　江戸初期　1振　伊達貞宗氏寄贈

14．煙管　江戸初期　2本　伊達貞宗氏寄贈

15．懐中鏡　江戸初期　1面　伊達貞宗氏寄贈

16. 文鎮　江戸初期　1口　伊達貞宗氏寄贈
17. 金製ブローチ　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈
18. 慶長一分金　江戸初期　3枚　伊達貞宗氏寄贈
19. 墨　16C末～17C初期　1点　伊達貞宗氏寄贈
20. 墨　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈
21. えんぴつ（複元品）　江戸初期　2点　館蔵

№8は10／1～展示、№9～№21は9／3～9／29展示

「仙台城と江戸屋敷」 12／3～2014. 2／9

1．扇面図屏風　慶長15年　6曲1双のうち1隻　伊文
2．仙台藩江戸上屋敷絵図　18C　1幅　佐藤巧氏寄贈
3．伊達宗村七種連歌　延享2年正月7日　1綴　伊文
4．御城中席図并口解　江戸末期　一冊　個人蔵
5．初鏡心之手綱　江戸末期　一冊　尚文館C
6．仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図　江戸　1巻　千田文彦氏寄贈
7．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　江戸初期　1振　伊達貞宗氏寄贈
8．金製ブローチ　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈
9．煙管　江戸初期　2本　伊達貞宗氏寄贈
10. 懐中鏡　江戸初期　1面　伊達貞宗氏寄贈
11. 文鎮　江戸初期　1口　伊達貞宗氏寄贈
12. 慶長一分金　江戸初期　3枚　伊達貞宗氏寄贈
13. 墨　16世紀末～17世紀初期　1点　伊達貞宗氏寄贈
14. 墨　江戸初期　1点　伊達貞宗氏寄贈
15. えんぴつ（複元品）　江戸初期　2点　館蔵

藩主と夫人たち

「絵が得意な藩主・伊達吉村」 2013. 2／26～6／2

1．周茂叔愛蓮図　伊達吉村筆　江戸中期　1幅　伊文
2．富士山図　伊達吉村筆　江戸中期　1幅　伊文
3．石山寺の紫式部図　伊達吉村筆　江戸中期　1幅　伊澤家C
4．歌之心　伊達吉村筆　江戸中期　1巻・1通　伊文
5．源氏八景御手鑑　伊達吉村筆　江戸中期　1帖　伊文

「藩主の文芸」 6／4～9／1

1．長齢石硯記　伊達吉村筆　享保4年11月　1巻　館蔵
2．藤原俊成・定家像　伊達吉村筆　江戸中期　1幅　伊文
3．和歌詠草　毎家有春　後柏原天皇筆　室町時代　1幅　伊文
4．茶杓　伊達吉村作　筒書「〆　松しま竹　隣松軒」　江戸中期　1口　伊文
5．茶杓　伊達吉村作　筒書「〆　広かひさき」　享保7年4月7日　1口　伊文

「城に勤める、藩主に仕える」 9／3～12／1

1．伊達政宗書状　高屋松庵宛　年未詳3日　1幅　館蔵
2．伊達政宗自筆相伴衆書付　年月日未詳　1幅　遠藤一雄氏寄贈
3．高屋喜庵起請文前書案　（元文1年）　1通　伊文
4．伊達政宗書状　弓田右馬允宛　年未詳正月10日　1幅　角懸幸氏寄贈
5．菅野勝左衛門自筆和歌詠草　けふはかり　寛永13年5月29日　1幅　菅野家資料
6．遠藤守信覚書　（享保6年）8月23日　1冊　伊文
7．下坐絵図　濱田縫殿助筆　江戸後期　1冊　濱田善雄氏寄贈
8．御給仕方手控　江戸後期　1冊　菅野家資料
9．年中行事全　江戸後期　1冊　菅野家資料
10. 仙台城本丸御門合判　安政7年　1枚　三原良吉C

「仙台藩の奥方」 12／3～2014. 2／9

1．雲松院画像　忠岡三千子筆　江戸中期　1幅　伊文
2．江戸愛宕下中屋敷絵図　享保20年10月　1幅　荻田耕造氏寄贈
3．雲松院ほか奥方和歌詠草　徳川氏温子（利根姫）ほか筆　（伊達吉村写）　元文3年正月5日　1通　伊文
4．御老女中浜野他弐名連署起請文　音羽・菱野・濱野筆　寛保元年3月19日　1通　伊文
5．伊達重村・観心院和歌短冊　伊達重村・近衛氏年子筆　江戸中期　1幅　伊文
6．御奥方格式　天明7年　10冊のうち2冊　伊文

武家のくらし

「雛調度と化粧道具」 2013. 2／5～4／7

1．雛人形　江戸　2点　個人蔵
2．葵紋竹菱蒔絵雛調度のうち厨子棚、黒棚、書棚、碁盤、将棋盤、双六盤、挟箱一対、行器一対、箪笥　十代斉宗夫人（徳川）鍇姫所用　江戸後期　計9件　館蔵
3．葵紋菊蒔絵耳盥・台輪　6代宗村夫人（徳川）利根姫所用　江戸中期　1式　館蔵

「箱・函・匣」 4／9～7／21

1．朝顔文筒型漆器　桃山　1合　ゴトウC
2．九曜紋松橘蒔絵硯箱　江戸前期　1合　個人蔵
3．竹に雀紋蒔絵系図箱　江戸中期　2合1組　伊文
4．金梨地牡丹紋蒔絵旗箱　江戸中期　1合　伊文
5．金梨地蟹牡丹紋蒔絵家伝秘書箱　江戸中期　1合　伊文
6．雪薄竹に雀紋桜枝散蒔絵眉作箱　江戸中期　1合　館蔵
7．桜に流水蒔絵筆箪笥箱　文化13年　1合　館蔵
8．竹に雀三引両紋牡丹唐草蒔絵守刀箱　江戸後期　1組　伊文

※№3は4／9～6／2展示、№4は6／4～7／21展示

「武家の服飾」 7／23～9／1

1．藍絹地竹雀紋金箔押闕腋袍　江戸　1領　伊文
2．長袴　江戸　1領・1腰　個人蔵
3．白絹地雪薄紋単衣　伊達政宗所用　江戸初期　1領　菅野家資料

「婚礼調度－乗物と貝桶」 9／3～12／1

1．松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶　7代藩主伊達重村夫人惇君所用
　江戸中期　1合　伊文
2．竹菱梅葵紋蒔絵女乗物　10代藩主伊達斉宗夫人鍇姫所用
　江戸後期　1梃　館蔵
3．葵紋橘蒔絵櫛台　13代藩主伊達慶邦夫人八代姫所用
　江戸後期　1具　館蔵

「武家の服飾」 12／3～2014.2／9

1．金茶地小葵文紗狩衣　江戸　1領　館蔵
2．大紋　江戸　1領・1腰　個人蔵
3．黄羅紗地竹に雀紋火事装束　江戸後期　1具　館蔵
4．紅精好長袴　江戸　1領　館蔵
5．萌黄綾地蔦に鯉模様小袖　伝 浦江の局所用　江戸　1領
　豊原亮氏寄贈
6．髪飾　鼈甲製　江戸　3点　伊文

※№1～3は～1／13展示、 №4～6は1／15～に展示

4　藩

仙台藩のようす

「仙台藩の武器・武具」 2013.6／4～6／30

1．金梨地竹に雀九曜紋蒔絵刀掛　江戸前期　1架　伊文
2．金梨地花鳥蒔絵鞍鐙　江戸後期　1具　伊文
3．茶猪毛鞘　江戸後期　1合　伊文
4．赤羅紗地松喰い立ち鶴紋陣羽織　江戸後期　1領　個人蔵
5．矢羽根　江戸後期　2枚　伊文

「武士の行列」 7／2～9／29

1．御軍役御定　享保12年正月　1冊　伊文
2．御備館惣御人数委細之書付ほか （享保12年正月）
　5冊のうち1冊　伊文
3．楽山公行列図巻　武藤弘毅筆　近代　11巻のうち4巻目
　伊文
4．毛槍（黒鳥毛）の鞘　江戸　1点　館蔵
5．伊達家行列図巻　延享元年写　3巻のうち上・中巻　伊文

「仙台藩の武器・武具」 10／1～12／1

1．黒漆五枚胴具足　菅野正左衛門重成所用　江戸後期　1領
　菅野壽雄氏寄贈
2．仙人図象嵌火縄銃　銃筒　早坂清則作　江戸後期　1口
　館蔵
3．ランタカ砲　16～17C　1台　館蔵
4．緋羅紗地三巴紋陣羽織　江戸後期　1領　新田貴一氏寄贈
5．ゆがけ　江戸　1具　伊文

「災害を生きた人々」 12／3～2014.2／9

1．仙台藩領内洪水被害口上覚書写　寛永15年4月21日　1通
　伊文
2．備荒草木図　建部清庵著　明和8年　1冊　館蔵
3．民間備荒録　建部清庵著　明和8年　1冊　個人蔵
4．享和壬戌洪水記（写本） 原本鈴木三伯筆　原本享和2年
　1帖　館蔵
5．安政二年八月三日地震被害調写　治三郎宛
　安政2年8月8日　1綴　伊文
6．安政三年七月二十三日本吉北方津波状況調
　石森幸左衛門筆 （安政3年）11月　1通　伊文
7．天明飢死図集（写本） 原本鈴木三伯筆　天明5年　1冊
　館蔵

仙台藩の家臣たち

「寛文事件」 2013.2／26～6／2

1．伊達亀千代書「村雨」 伊達亀千代筆　寛文4年　1幅　伊文
2．仙台藩一門連署起請文　伊達安芸（宗重）他3名筆
　（万治3年）7月29日　1通　伊文
3．徳川家綱領知判物　寛文4年4月5日　1巻　伊文
4．浮世絵「先代萩御殿の場」 豊原国周画　明治元年
　大判3枚続　大宮司C
5．浮世絵「伽羅仙代萩」 三代歌川豊国画　文久元年
　大判3枚続　大宮司C
6．伊達綱宗書状　亀千代宛 （寛文9年）4月26日　1通　伊文
7．伊達兵部・田村右京連署条目　奉行宛　寛文3年11月26日
　1巻　伊文

「寛文事件」 6／4～9／1

1．伊達兵部処罰罪人書付写　寛文11年3月4日　1冊　伊文
2．伊達安芸口上覚書　原本・寛文11年　1冊　伊文
3．伊達安芸書状　伊達兵庫（宗元）宛 （寛文11年）3月14日
　1幅　個人蔵
4．伊達安芸書状（伝安芸絶筆） 伊達兵庫（宗元）・
　黒木中務（宗信）宛 （寛文11年）3月26日　1巻　個人蔵
5．伊達宗重画像(三忠臣像のうち） 江戸後期　3幅のうち1幅
　松川マサ氏寄贈
6．浮世絵「伽羅先代萩」 歌川国芳画　嘉永1年～6年
　大判3枚続　大宮司C
7．浮世絵「伊達競阿国劇場」(七役団十郎） 歌川国芳画
　嘉永2年　大判3枚続　大宮司C
8．奥州仙台領国絵図　元禄10～14年　1鋪　藤縄達夫氏寄贈

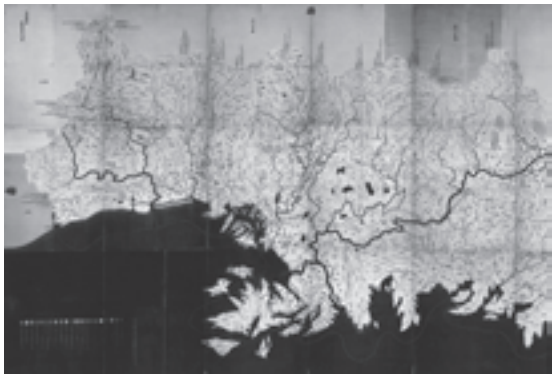
※№6は6／4～7／15まで展示、
　№7は7／17～9／1まで展示

「角懸家資料」 9／3～12／1

1．白地愛染明王梵字旗　江戸　1旒　角懸家資料
2．伊達政宗書状　堀丹後守宛　年未詳2月15日　1幅
　角懸家資料
3．伊達忠宗領知黒印状　角掛四郎兵衛宛　寛永21年8月14日
　1通　角懸家資料

4．伝書　風伝流槍術目録　黒田大六郎筆　嘉永７年６月　１巻
角懸家資料
5．風伝流槍術一千本試合勝負附　文久３年10月晦日　１冊
角懸家資料
6．蓮に白鷺図　角懸鹿谷筆　明治28年　双幅　角懸家資料
7．奥州仙台領国絵図　元禄10～14年　１鋪　藤縄達夫氏寄贈

「仙台藩の狩り」 12／３～2014.2／９
1．伊達政宗書状　菅野勝三郎宛　江戸前期（17C） １幅
菅野家資料
2．伊達政宗鷹場等覚書　伊達忠宗宛 （寛永２年）５月　１巻
伊文
3．鷲鳥図　狩野古信筆　江戸中期　１幅　伊文
4．鴨猟之図　伊達吉村筆　江戸中期　１幅　館蔵
5．たかがり・すなどり図　伊達吉村筆　江戸中期　２巻　巻子
6．安政四年御野初行列図巻　安政４年　２巻のうち１巻　伊文
7．獲方手控　江戸後期　１冊　館蔵



奥州仙台領国絵図

5　町

城下町仙台

「城下の景観」 2013.２／26～９／１
1．文久二年仙台城下図（複製） 文久２年　１面
原資料：斎藤報恩会
2．片倉家仙台屋敷御家作之絵図　江戸　１鋪　館蔵
3．仙台神社絵図のうち陸奥国分寺薬師堂　江戸後期　１帖
伊文
4．仙台領奥州街道絵図　江戸中期　１帖　館蔵
5．芭蕉の辻図（複製） 熊耳耕年画　近代　１面　三原良吉C
6．仙台城下図屏風　吉成東温筆　慶応元年　６曲１隻
三原良吉C
7．伊達政宗自筆書状　山岡重長宛　元和６年ころか　１幅
個人蔵
8．木村宇右衛門覚書　下巻　木村宇右衛門著　江戸前期　１冊
伊文
9．錦絵芭蕉の辻（複製） 作者不詳　原資料：江戸後期　４枚
館蔵
10. 芭蕉の辻の建物の瓦　近代　３点　館蔵
※№１、２、４、５は～６／２展示、№３は～５／20展示、
№６～９は６／４～展示

「城下町と秋のまつり」 ９／３～12／１
1．明治元年仙台城市之図　明治　１面　館蔵
2．大崎八幡神事流鏑馬射手装束写　江戸　１巻　伊文
3．伊達世臣家譜(林） 田辺希文･希元･希績撰　寛政４年12月
１冊　伊文
4．仙台年中行事絵巻より仙台東照宮祭礼図　江戸　１巻
三原良吉C
5．仙台東照宮祭礼小絵図　江戸中期～後期 （17C後～19C初）
３枚　館蔵
6．東照宮御祭礼渡物行列帳　嘉永３年　１冊　三原良吉C
7．得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案　得可主屋次右衛門
浅井忠内　文政11年６月　１通　三原良吉C
8．東照宮祭礼　渡物図　野見宿禰当麻獱速すまふノ始り
肴町三丁目鈴木屋　江戸後期　１面　館蔵
9．東照宮祭礼　渡物図　坂上田村麻呂鈴鹿山出陣の躰
新伝馬町鈴木利三郎　江戸後～末期　１面　館蔵
10. 東照宮祭礼渡物図 「福神角力の躰　染師町堺屋庄助」
江戸後～末期　１面　館蔵
11. 東照宮祭礼渡物図 「中納言行平郷須磨之浦ニテ汐汲ヲ見給躰」
河原町岩間屋　江戸後～末期　１面　館蔵
12. 東照宮祭礼渡物図 「坂上千熊麿流鏑馬に趣く躰」
柳町相澤屋善兵衛　江戸後～末期　１面　館蔵

「仙台城下と町方　国分町」 12／３～2014.２／９
1．仙台城下図　寛政元年頃　１鋪　館蔵
2．米川十右衛門披露状　国分町検断米川十右衛門筆
御勘定所宛 （享和３年）３月29日　１通　米川家資料
3．国分町外人屋図　年月日未詳　１枚　朴沢家資料
4．諸事御用留　米川十郎右衛門筆
文化13年正月～文政２年11月　１冊　米川家資料
5．諸国道中金の草鞋仙台　十返舎一九編
文化10年～天保５年　１冊　館蔵
6．菅原屋安兵衛引札　国麿画　国分町十九軒菅原屋安兵衛
江戸後期　１枚　三原良吉C
7．道中往来　仙台国分町十九軒菅原屋安兵衛求板　江戸後期
１冊　三原良吉C
8．文政新刻奥道中歌　伊勢屋半右衛門板　文政２年５月新刻
１冊　三原良吉C
9．東照宮祭礼渡物図 「浦島太郎龍宮於城乙姫見躰」
国分町小谷新右衛門　江戸　１面　三原良吉C
10. 東照宮祭礼渡物図
「浦島太郎龍宮へいたつて乙姫にまみゆるてい」
国分町真壁屋新右衛門　江戸　１面　館蔵

町のくらし

「春の行事」 2013.２／26～６／２
1．榴ヶ岡花見図屏風　江戸中期　６曲１隻　阿部次郎C

2．ぼんぼこ祭り図　遠藤曰人筆　江戸後期　1幅　館蔵
3．木下駒　江戸　3点　三原良吉C
4．ぼんぼこ槍の瓢箪　年月日不詳　2点　足立孔C

「仙台と七夕」　6／4～9／1
1．伊達政宗和歌詠草　伊達政宗筆　元和4年秋　1幅　購入
2．濱田氏年中行事　文久2年　1冊　個人蔵
3．仙府年中往来　燕石斎薄墨版　江戸後期　1冊　阿部次郎C
4．絵本「七夕」　冷泉為恭画　嘉永3年～安政2年　1冊　館蔵
5．七夕飾り　大正　7点　管野邦夫氏寄贈
6．七夕の絵葉書「仙台　肴町七夕祭ノ光景」　大正　1点　館蔵
7．七夕の絵葉書「仙台名物　五彩の短冊美しき。七夕祭りの豪華版　東一番町」　昭和11年8月6日撮影　1点　館蔵
8．七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」　昭和20年代　1点　館蔵

「仙台城下の商人」　9／3～12／1
1．御判紙方御用留　吾妻守清写　文化4年1月　1冊　三原良吉C
2．呉服仲間入証文　松屋長左衛門・親類奈良屋八兵衛筆　呉服当番　文政4年12月17日　1通　三原良吉C
3．店卸勘定目録覚　佐藤助五郎所用　天保14年1月改　1冊　三原良吉C
4．奈良屋の徳利　江戸　1口　三原良吉C
5．帳場机　江戸　1脚　館蔵
6．銭箱　江戸　1箱　館蔵
7．算盤　江戸　1面　館蔵
8．堤人形　天神　江戸後期　1体　館蔵
9．堤人形　弁慶　江戸後期　1体　館蔵

「絵馬に見る産業」　12／3～2014.2／9
1．米つくり絵馬（複製）　菅井田龍筆　明治　1面　原資料：岩沼市愛宕神社
2．石巻港図絵馬（複製）　長谷清右衛門義一筆　文化2年奉納　1面　原資料：石巻市羽黒町鳥屋神社
3．仙台藩奉行連署掟書写　奥山大学・富塚内蔵・大條監物・柴田外記　寛文2年8月15日　1通　片倉家資料
4．御買米前金受取証文　片倉小十郎村廉筆　御勘定奉行衆宛　宝暦8年11月18日　1通　片倉家資料
5．『日本山海名物図会』4巻より奥州仙台紙子　平瀬徹斎編・長谷川光信画　宝暦4年　1冊　阿部次郎C
6．『奥州仙台名所尽集』より塩竈浦　江戸後期　1巻　大宮寺C
7．五十集物肴町入荷調　江戸　1通　伊文

教育と文化

「仙台藩の文化人と思想家」　2013.2／26～6／2
仙台藩ゆかりの文化人
1．俳人百家撰　緑亭川柳編・歌川国輝画　嘉永8年　1冊　尚文館C
2．松窓句集　松窓乙二著　文政6年　1冊　尚文館C
3．俳諧三十六句仙　足了庵禾月尼序　嘉永6年　1冊　阿部次郎C
4．釣奇一覧　千柳亭序　安政3年　1冊　阿部次郎C
5．十夜説教図　遠藤曰人筆　江戸後期　1幅　天江富弥氏寄贈
6．蛙相撲図　遠藤曰人筆　天保4年　1幅　館蔵
林子平の思想と交友
7．林子平肖像　牧互秀筆　近代　1幅　愛宕中学校寄贈
8．三国通覧図説　林子平著　天明6年版　1冊　猪苗代翁・弼氏寄贈
9．海国兵談　林子平著　寛政3年版　1冊　館蔵
10．林子平書状　藤塚式部宛　（寛政4年）6月1日　1通　中村C
11．藤塚家家譜　藤塚式部筆　安永4年　1冊　藤塚家資料
12．アイヌの煙草入れ（胴乱・腰籠）　江戸（18C）　1点　藤塚家資料
13．報賽歌　林子平筆　寛政3年　1幅　藤塚家資料
14．林子平辞世拓本　江戸（18C）　1幅　中村C

「仙台藩の学問と思想家」　6／4～9／1
仙台藩の天文学
1．獅山公治家記録　正徳4年2月7日条（遠藤盛俊入門）　田辺希文・児玉秀基編　宝暦8年　1冊　伊文
2．伊達世臣家譜（戸板）　田辺希元撰　寛政4年　1冊　伊文
3．潮汐図説　高野立斎著　寛延2年　1冊　尚文館C
4．天文図屏風　名取春仲筆　江戸後期　6曲1隻　館蔵
林子平の人生と思想
5．林子平肖像　牧互秀筆　近代　1幅　愛宕中学校寄贈
6．仙台城下絵図　林子平筆　江戸中期～後期　1点　中村C
7．阿蘭陀船図説（複製）　天明2年版・明治26年印刷複製　1枚　館蔵
8．三国通覧図説　林子平著　天明6年版　1冊　猪苗代翁・弼氏寄贈
9．海国兵談　林子平著　天明7年写　1冊　館蔵
10．林子平辞世拓本　江戸　1幅　中村C

「仙台藩の学問と思想家」　9／3～12／1
仙台藩の医学教育
1．六物新志　大槻玄沢著　天明8年　1冊　館蔵
2．瘍医新書　大槻玄沢訳・杉田玄白起業　文政8年刊　1冊　館蔵
3．解体新書　杉田玄白ほか訳　安永3年　1冊　館蔵
4．存真図腋　佐々木中沢著・畠山仙江画　文政5年　1帖　山形敞一氏寄贈
5．アメリカ横文字和解　小野寺玄適訳　嘉永7年　1冊　伊文
6．芝蘭堂新元会図（印刷）　市川岳山筆　近代　（原資料：寛政6年）　1幅　鵜飼新一氏寄贈
林子平の人生と思想
7．儀式考　林笠翁筆　江戸中期（18C）　1冊　猪苗代翁・弼氏寄贈

8．和蘭地理書ゼオガラヒー　林子平筆写　安永７年　１冊
藤塚家資料
9．蘭人制作支那図　林子平筆写　安永７年　１枚　中村Ｃ
10. 阿蘭陀船図説（複製）　天明２年版･明治26年印刷複製　１枚
館蔵
11. 蝦夷錦の袖口　江戸（18Ｃ）　１点　藤塚家資料
12. 仏語訳　三国通覧図説　クラプロート訳　1832年刊　１冊
館蔵
13. 坪碑　林子平著・程赤城跋　安永７年頃　１巻　中村Ｃ
14. 海国兵談　林子平著　寛政３年版　３冊　館蔵
15. 林子平謹慎自守ノ図　１幅　館蔵

「仙台藩の学問と思想家」 12／３～2014.2／９
仙台藩の藩校　養賢堂
１．養賢堂全図　江戸後期　１幅　館蔵
２．論語・孟子　養賢堂蔵版　江戸後期　２冊　尚文館Ｃ
３．書経　養賢堂蔵版　江戸後期　１冊　安倍謙一氏寄贈
４．論語　天保15年手写ヵ　１冊　阿部次郎Ｃ
５．水滴　江戸後期　３点　館蔵
６．大槻平泉肖像　東東莱原画・高橋松亭模写　近代　１幅
佐藤暉雄氏寄贈
林子平の人生と思想
７．林子平肖像　佐々城朴庵筆　嘉永７年　１冊　尚文館Ｃ
８．漢土加留多　１点　藤塚家資料
９．阿蘭陀加留多　１点　藤塚家資料
10. 和蘭人宴会図　林子平筆　江戸後期　１面　館蔵
11. 仙台城下絵図　林子平筆　江戸中期～後期　１点　中村Ｃ
12. 三国通覧図説　林子平著　天明６年版　１冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
13. 海国兵談　林子平著　天明７年写　１冊　館蔵
14. 報賽歌　林子平筆　寛政３年　１幅　藤塚家資料
15. 林子平辞世拓本　江戸　１幅　中村Ｃ

新たな時代へ

「玉蟲左太夫の生涯」 2013.2／26～９／１
１．玉蟲左太夫肖像　庄子勇筆　大正　１面　玉蟲誼氏寄贈資料
２．入北記　玉蟲左太夫筆　安政４年　３冊　玉蟲誼氏寄贈資料
３．七言絶句「踏破蛮洋万里濤」 岩瀬忠震筆　江戸末期　１幅
玉蟲誼氏寄贈資料
４．航米日録（写本） 玉蟲左太夫著　江戸末期　１冊　館蔵
５．玉蟲左太夫上書　（伊達慶邦宛）（元治元年）９月27日　１通
伊文
６．玉蟲左太夫書状　孝七･源吾宛　（明治元年）10月18日　１通
玉蟲誼氏寄贈資料
７．玉蟲左太夫書状　（明治元年）11月４日　１通
玉蟲誼氏寄贈資料
８．玉蟲左太夫書状　潔宛　（明治２年）４月４日　１通
玉蟲誼氏寄贈資料
９．玉蟲左太夫書状　兄宛　弘化３年12月28日　１通
玉蟲誼氏寄贈資料
10. 入北記　玉蟲左太夫筆　安政４年　２冊　玉蟲誼氏寄贈資料
11. 英単語集　玉蟲左太夫筆　江戸末期　１冊
玉蟲誼氏寄贈資料
12. 航米日録　玉蟲左太夫筆　江戸末期　１冊
玉蟲誼氏寄贈資料
13. 遊武記　三巻　玉蟲左太夫筆　文久元年　１冊
玉蟲誼氏寄贈資料
14. ポーハタン号模型　岡崎英幸氏製作　現代　１体
玉蟲誼氏寄贈資料
※№２～８は～６／２展示、№９～14は６／４～展示

「仙台藩と外国」 ９／３～12／１
１．獅山公治家記録　143下　元文４年５～６月　１冊　伊文
２．南瓢記　枝芳軒静之著　寛政10年刊　１冊　館蔵
３．環海異聞（写本） 大槻玄沢・志村弘強著　原南嶺私註
天保４年　２冊　館蔵
４．呂宋国漂流記　大槻磐渓著　弘化２年　１冊　館蔵
５．アメリカ船石巻渡来図巻　江戸末期　１巻　館蔵
６．アメリカ船員を描いたスケッチ　安政２年　４面
阿部次郎Ｃ

「幕末人物伝　三浦乾也」 12／３～2014.2／９
１．三浦乾也写真（印刷） 近代　１面　新井田Ｃ
２．帆前機器幷蒸気船器械製造之具（写本）
（原本は安政２年正月22日カ） １冊　館蔵
３．開成丸調練帰帆図　三浦乾也画　安政５年　１幅
菊田定郷Ｃ
４．三浦乾也への褒賞状　芝多対馬筆　（安政５年）５月　１通
伊文
５．三浦乾也書状　清水道看宛　（安政５年）12月12日　１通
亀田兵治Ｃ
６．紅梅図　三浦乾也筆　江戸後期～明治　１幅　新井田Ｃ

６　近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

「幕末明治を生きた人々」 2013.2／26～６／２
１．松平容保和歌短冊　江戸末期～明治　１幅　大久保Ｃ
２．広沢安任書　明治　１幅　大久保Ｃ
３．秋月悌次郎書　江戸末期～明治　１幅　大久保Ｃ
４．徳川慶喜書　江戸末期～大正　１幅　大久保Ｃ
５．土方歳三書状　小島宛　年月日未詳　１幅　大久保Ｃ
６．坂本龍馬書状　三吉慎蔵宛　年月日未詳　１巻　大久保Ｃ

「幕末明治を生きた人々」 ６／４～９／１
１．伊達慶邦書 「唯善以為宝」 江戸後期～明治　１幅　個人蔵
２．山水図　三好監物筆　文久２年５月　１幅　大久保Ｃ

3．玉蟲左太夫書「遑々人世ト安危」 江戸後期 1幅 大久保C
4．若生文十郎書「欲向中原掃妖塵」 江戸末期 1幅
伊藤省三氏寄贈
5．大槻磐渓書「澹々軽陰暗碧沙」 明治 1幅
東海林恒英氏寄贈

「仙台藩と戊辰戦争」 9／3～12／1
1．幼童遊び子をとろ 広重（3代） 慶応4年2月 大判2枚続
館蔵
2．松平喜徳書状 松平陸奥守（伊達慶邦）宛
（慶応3年）12月22日 1通 伊文
3．太政官沙汰書写 仙台中将（伊達慶邦）宛
（慶応4年）正月20日 1通 伊文
4．松平喜徳書状 松平陸奥守（伊達慶邦）宛
（慶応4年）正月29日 1通 伊文
5．松平喜徳書状 松平陸奥守（伊達慶邦）宛
（慶応4年）3月24日 1通 伊文
6．会津追討仙台様御出陣之図 慶応4年4月 1鋪
大山勝義氏寄贈

「仙台藩と戊辰戦争」 12／3～2014.2／9
1．会津追討ニ付仙台様御出陣被御行列図 慶応4年4月
1巻 板垣英夫氏寄贈
2．会津戦闘絵図 慶応4年4月19日 1鋪 菅野家資料
3．白河口戦闘絵図（複製） 明治 1幅 館蔵
4．五月朔日於白川表戦争之節討死手負之輩名前調
慶応4年5月1日 1冊 甲田晟氏寄贈
5．伊達慶邦書状控 会津賢公（松平喜徳）
（慶応4年）8月8日 1通 伊文
6．松平喜徳カ書状 仙台大賢公（伊達慶邦）
（慶応4年）8月12日 1通 伊文

近代都市仙台

「教育・戦争と地域社会」 2013.2／26～6／2
西南戦争の勃発
1．西郷隆盛書 明治 1幅 大久保C
2．警部補辞令 石母田琢磨宛 明治10年6月19日 1通
石母田C
3．慰労金下賜証書 石母田琢磨宛 明治10年10月6日 1通
石母田C
4．征討御会議之図 楊州斎周延画 明治10年 大判3枚続
大宮司C
5．鹿児島紀聞之内（田原坂） 鮮斎永濯画 明治10年
大判3枚続 尚文館C
6．西郷城山戦死図 楊州斎周延画 明治10年10月 大判3枚続
館蔵
7．西南戦争を取材する福地桜痴（「教導立志基」から）
小林清親画 明治18年 1枚 阿部次郎C
自由民権運動の展開
8．講習余誌出版願並許可書 明治10年2月 1綴 小野家資料
9．講習余誌 明治10年創刊 1冊 小野家資料
10．進取雑誌 明治13年2月創刊 1冊 安久津家資料
11．本立社日記 明治 1冊 逸見順子氏寄贈
12．国会開設哀願書 若生精一郎 明治13年12月 2点
逸見順子氏寄贈
13．東北改進党盟約 明治15年 1冊 安久津家資料
14．対物宮城の最 菅野長平編集・出版 明治15年7月22日
1枚 三原良吉C
15．憲法発布式之図 楊州斎周延画 明治22年 大判3枚続
館蔵
16．大日本帝国議会御幸之図 楊州斎周延画 （明治23年ヵ）
3枚続 館蔵

「教育・戦争と地域社会」 6／4～9／1
教科書にみる仙台・宮城
1．世界国尽 福沢諭吉訳・慶應義塾蔵板
明治2年版・明治4年再刻 1冊 荒町小学校寄贈
2．啓蒙手習の文 福沢諭吉編・慶應義塾出板・尚古堂発行
明治4年 1冊 荒町小学校寄贈
3．小学読本日本史略 市岡正一著・弘学館蔵 明治8年
2冊 荒町小学校寄贈
4．小学習字手本（いろは・漢字） 師範学校編・文部省刊
明治7年改正 2冊 荒町小学校寄贈
5．小学読本 出版人二日町益友社須田平左衛門、
国分町伊勢安右衛門・菅原安兵衛 明治7～10年 1冊
尚文館C
6．日本地誌略 東京師範学校編・文部省刊 明治7年～9年
1冊 尚文館C
7．校正宮城県地誌提要 全 宮城師範学校編、
宮城県学務課出版 明治17年 1冊 尚文館C
8．尋常小学地理書 文部省著・発行 昭和13年 1冊
郷右近馨氏寄贈

「軍都仙台」
9．仙台鎮台辞令 明治18年1月29日付 1通 館蔵
10．仙台招魂祭山鉾ノ図 楊斎延一画、横山良八印刷・発行
明治25年 3枚続 大宮司C
11．陸軍御用の仙台大町大平商店の団扇 明治40年頃 1点
川村節子氏寄贈
12．戦時農園の手引 情報局編集 昭和19年発行 1冊
石母田家資料
13．第二師団凱旋之図 菅野覚太郎画 明治29年 1面
三原良吉C
14．河内兵営之図 松浦勝也印刷、三沢好吉発行 明治30年
1面 三原良吉C
15．六合社図 近代 1面 三原良吉C
16．釈迦堂・歩兵第四聯隊全図 玉虫龍之進画・彫刻、
三沢好吉発行 明治30年 1面 三原良吉C

「軍都仙台」　9／3～12／1

1．仙台鎮台辞令　明治18年1月29日付　1通　館蔵
2．釈迦堂・歩兵第四聯隊全図　玉虫龍之進画・彫刻、三沢好吉発行　明治30年　1面　三原良吉C
3．招魂祭礼全図　池原竹治郎印刷、荘司保明発行　明治21年　大判3枚続　館蔵
4．仙台招魂祭山鉾ノ図　楊斎延一画、横山良八印刷・発行　明治25年　大判3枚続　大宮司C
5．第二師団遠望之図　奥山無門筆　大正6年　1面　奥山栄五郎氏寄贈
6．日清戦争、長町駅における出征兵士の見送り　明治27年　1点　館蔵
7．日清戦争における第二師団の将校たち　明治28年頃　1点　館蔵
8．満州守備軍第二師団の将兵の帰還を迎える市民　昭和8年1月8日　1点　館蔵
9．原町陸軍造兵廠で弾丸の生産に励む女子挺身隊（「仙台空襲より」）　1点　館蔵
10．空襲で焦土と化した仙台の中心部（「仙台空襲より」）　昭和20年7月　1点　館蔵
11．仙台空襲で瓦礫の跡となった市役所前（「仙台空襲より」）　昭和20年7月　1点　館蔵
12．焼跡で「勝札」を求める市民（「仙台空襲より」）　1点　館蔵

「教育にみる仙台」　12／3～2014. 2／9

教科書にみる仙台・宮城

1．小学読本　出版人二日町益友社須田平左衛門、国分町伊勢安右衛門・菅原安兵衛　明治7～10年　1冊　尚文館C
2．日本地誌略　東京師範学校編・文部省刊　明治7～9年　1冊　尚文館C
3．校正宮城県地誌提要　全　宮城師範学校編、宮城県学務課出版　明治17年　1冊　尚文館C
4．帝国読本　学海指針社編・集英堂本店発行　明治26年　8冊　尚文館C
5．修身絵とき　堀江義子著・春陽堂発行　明治27年　4冊　尚文館C
6．増補帝国小史　山縣悌三郎著・文学社刊　明治29年　2冊　郷右近馨氏寄贈
7．尋常小学地理書　文部省著・発行　昭和13年　1冊　郷右近馨氏寄贈
8．初等科国語　文部省著・発行　昭和18年　1冊　郷右近馨氏寄贈

埋木細工・常磐紺型

9．鷹置物　昭和9年　1基　館蔵
10．染見本　最上染工場制作　近代　3反　館蔵

特集展示室

絵図に見る仙台藩領

2013. 5／8～9／29

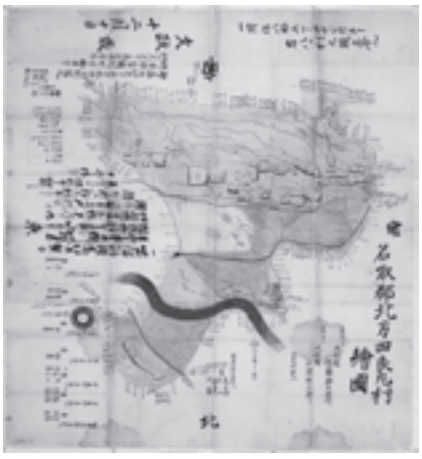
1．白石城絵図　江戸前期　1鋪　伊文
2．金ヶ崎城絵図　江戸前期　1鋪　伊文
3．金山城絵図　貞享1年6月28日　1鋪　仙台銀行寄贈
4．覚間沢境絵図　寛永19年6月15日　1鋪　伊文
5．伊沢之内相去村・和賀之内鬼柳村新境絵図　寛永19年6月10日　1鋪　伊文
6．名取郡北方四郎丸村絵図　文政年間　1鋪　館蔵
7．名取郡北方根岸村平岡村入会絵図　文政5年6月　1鋪　館蔵
8．奥州仙台領白石城並城下絵図　天和3年3月29日　1鋪　片倉家資料
9．涌谷城修復窺絵図　伊達安芸宗元　元禄3年12月14日　1幅　個人蔵
10．覚間沢境絵図　長沼与兵衛・河小田長兵衛筆　三上太兵衛・松井作太夫宛　延宝9年4月2日　1鋪　伊文
11．赤坂山絵図　小枝指権兵衛親宗他2名　川島豊前他3名　寛永19年6月10日　1鋪　伊文
12．名取郡北方秋保湯本村絵図　文政6年　1鋪　伊文
13．仙台領内郡邑絵図　江戸　1冊　三原良吉C
14．分間江戸大絵図　須原屋茂兵衛版　元治元年　1鋪　三原良吉C

※№1～7は5／8～6／23、№8～14は6／25～9／29展示

屏風絵特集1

5／8～6／30

1．扇面図屏風　慶長15年　2曲1隻　伊文
2．葵図屏風　慶長15年　2曲1隻　伊文
3．桜に錦鶏図屏風　桃山　2曲1隻　館蔵
4．平家物語図屏風　江戸初期　6曲1双　館蔵



名取郡北方四郎丸村絵図

仙台藩の武器・武具

7／2～9／29

1．重文　銀伊予札白糸威胴丸具足　豊臣秀吉所用、
　伊達政宗拝領　桃山　1領　伊文
2．黒漆五枚胴具足（複製）　原品は伊達政宗所用　1領　伊文
3．白地黒阿吽梵字旗　江戸　1流　伊東きよめ氏寄贈
4．火縄銃「東雲」　銃筒木田定幸作　江戸　1口　館蔵
5．朱皺漆紫糸素懸威六枚胴具足　三宝荒神形兜付
　伝上杉謙信所用　室町～桃山　1領　館蔵
6．緋羅紗地北斗七星模様陣羽織　江戸後期　1領
　佐藤正人氏寄贈
7．紫羅背抜地　水玉文様陣羽織　江戸前期～中期　1領　伊文
8．重文　小紋染胴服　桃山　1領　片倉家資料
※№1は～7／28展示、№5は7／30～展示、№6は～7／28展示、
　№7は7／30～9／1展示、№8は9／3～展示

かたちでわかる古文書入門

11／26～2014. 2／16
史料のかたち
1．伊達稙宗知行宛行状　濱田下総守宛　天文14年8月3日
　1通　濱田家資料
2．仙石曾繁書状　矢代勘解由兵衛（屋代景頼）宛
　（天正19年）10月7日　1通　伊文
3．御領地并御代官所御本陣符　江戸　1帖　館蔵
4．在府中御公用に付不時御人数並御兵具物御定
　享保13年4月　1冊　伊文
料紙いろいろ
5．後醍醐天皇綸旨　伊達政長宛　元弘3年7月5日　1通
　伊文
6．口宣案　上卿宛　万治元年12月27日　1通　伊文
7．徳川家慶御内書　仙台少将（伊達慶邦）宛
　（天保12年）12月27日　1通　伊文
8．蘆名止々斎（盛氏）起請文　伊達殿（輝宗）宛
　永禄9年正月10日　1通　伊文
9．守真院（詮子）添書　少将（伊達斉宗）宛　江戸後期
　1通　伊文
10．鐚姫（信恭院）書状　（伊達斉宗宛）（文政2年）
　1通　伊文
さまざまな様式
11．関東下知状　藤原（国分）秀信宛　正安3年4月10日　1通
　国分家資料
12．足利義晴御内書　伊達次郎（晴宗）宛
　（天文3年ヵ）3月3日　1通　伊文
13．徳川吉宗領知判物　仙台中将（伊達吉村）宛
　享保2年年8月11日　1通　伊文
14．江戸幕府老中奉書　酒井雅楽頭ほか3名　松平陸奥守
　（伊達政宗）宛　（慶長16年～元和7年）9月6日　1通
　伊文
花押を読む
15．足利尊氏袖判下文　伊達政長宛　建武5年閏7月26日　1通
　伊文
16．官宣旨案　（元弘3年10月以降）　1通　国分家資料
17．織田信長書状　伊達次郎（輝宗）宛　（天正2年）9月2日
　1通　伊文
18．織田信長朱印状　伊達左京大夫（輝宗）宛
　（天正5年）閏7月23日　1通　伊文
19．徳川家康書状　大崎侍従（伊達政宗）宛
　（文禄2年）4月晦日　1通　伊文
20．伊達村寿書状　（伊達斉宗宛）（年未詳）9月7日　1通
　伊文
21．伊達政宗書状（自筆）　紹高老（細川全隆）宛
　（慶長16～17年）7月28日　1幅　伊澤家C
22．伊達政宗書状（自筆）　伊河内守（伊達宗清）宛
　（慶長18年）7月20日　1幅　館蔵

屏風絵特集2

11／26～2014. 1／13
1．竹に太湖石図屏風　東東洋筆　文化元年頃　2曲1隻
　伊澤家C
2．野馬図屏風　荒川洞月筆　文化元年頃　6曲2隻　伊文
3．文化三年御屏風本帳附渡帳　久雪筆　文化3年　1冊　館蔵

屏風絵特集3

2014. 1／15～2／16
1．花鳥図屏風　菊田伊洲筆　江戸後期　8曲1隻　佐藤明C
2．赤壁図屏風　東東洋筆　文政3年　6曲1双　個人蔵
3．牟礼高松図屏風　狩野梅笑筆　江戸後期　2曲1隻　個人蔵

テーマ展示室Ⅰ

「仙台藩の武器・武具」　2013. 12／3～2014. 2／16
1．黒漆五枚胴具足（複製）　原品は伊達政宗所用　1領　伊文
2．黒漆鳩胸五枚胴具足　伊達茂村所用　江戸後期　1領　伊文
3．黒漆五枚胴具足　伝片倉重綱所用　江戸初期　1領　館蔵
4．鉄錆地五枚胴具足　江戸中期　1領　伊文
5．太刀　義光　建武四年　1口　亀岡八幡宮
6．矢の根形九曜紋透槍　銘藤原國次　江戸前期　1口　伊文

赤壁図屏風（左隻）　東東洋筆　個人蔵

7．矢の根形菱透槍　銘藤原國次　江戸中期　1口　伊文
8．剣　山城大掾藤原国包　寛永18年　1口　館蔵（赤羽刀）
9．脇差　銘奥州仙台住藤原国包　慶安5年　1口
館蔵（赤羽刀）
10. 刀　銘安倫　江戸中期　1口　館蔵
11. 安孫子の陣貝　桃山　1点　片倉家資料
12. 日の丸文軍扇　延享元年　1握　伊文
13. 茶猪毛靱　江戸後期　1合　伊文
14. 朱漆雪薄紋鞍鐙　江戸初期　1具　伊文
15. 火縄銃「東雲」 銃筒木田定幸作　江戸後期　1挺　伊文
16. 黒羅紗地九曜紋火事装束　江戸中期　1具　大山勝義氏寄贈
17. 赤呉呂地金束菖蒲紋陣羽織　江戸後期　1領　菅野家資料
※№2・17は1／15～、№4・16は～1／13、
№5～7は～12／27、№8～10は1／7～展示

テーマ展示室Ⅱ

慶長遣欧使節

2013.2／26～9／26
1．支倉常長像（高田力蔵1972年模写） 原図は1615年頃　1面
館蔵
2．ガレオン船模型　1971年　1基　日本オクベッティ社寄贈
3．セビリア市宛伊達政宗書状（和文）
※複製　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
4．ローマ市街図　16C末刊　1面　館蔵
5．『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版） アマーティ著
1615年刊　1冊　館蔵
6．『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版） アマーティ著
1617年刊　1冊　館蔵
7．支倉常長画像（銅版画） サデレル作　1616～17年頃　1枚
館蔵
8．支倉常長画像（銅版画） 1616～17年頃　1枚　館蔵
9．ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文） ※複製
原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文） ※複製
原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
11. 支倉常長書状　※複製　勘三郎宛　原本は元和4年　1幅
高橋由貴彦氏寄贈
12. 国宝　短剣　17C　2口　館蔵
13. 国宝　ロザリオの聖母像　17C　1面　館蔵
14. 国宝　十字架像　17C　1口　館蔵
15. 国宝　十字架及びメダイ　17C　1具　館蔵
16. 国宝　ロザリオ　17C　5連　館蔵
17. 国宝　メダイ残欠　17C　6片　館蔵
18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料） 19C　1面　館蔵
19. 国宝　ローマ市公民権証書※複製　原本は1615年11月　1通
館蔵
20. 国宝　ローマ市公民権証書　展示期間：　1615年11月　1通
館蔵
21. 仙台藩奉行知行割目録　支倉六右衛門宛　慶長13年　1面
支倉家資料
22. 平姓伊藤一家支倉氏系図　江戸中期　1巻　支倉哲男氏寄贈
23. 支倉家家譜書出　支倉右仲筆　安永2年　1帖
支倉哲男氏寄贈
24. 坤輿万国全図　名取春仲筆　江戸後期　6曲1隻　館蔵
25. 国宝　壁掛　17C　1枚　館蔵
26. 国宝　マント及びズボン　17C　1具　館蔵
27. 国宝　鞍　17C　2背　館蔵
28. 国宝　鐙　17C　1双・1隻　館蔵
29. 国宝　支倉常長像　1615年頃　1面　館蔵
30. 国宝　ローマ教皇パウロ五世像　1615年頃　1面　館蔵
31. 国宝　祭服　17C　1領　館蔵
32. 国宝　ディスチプリナ　17C　1口　館蔵
33. 国宝　レリカリオ　17C　1口　館蔵
34. 国宝　テカ及び袋　17C　1具　館蔵
35. 国宝　印章　17C　2顆　館蔵
※№19は2／26～4／7、6／4～6／18、7／1～9／26展示
※№20は4／9～6／2、6／19～6／30
（ＭｏＷ登録記念特別展示）展示
※№21～35は～6／2展示

11／22～2014.2／16
1．支倉常長像（高田力蔵1972年模写） 原図は1615年頃　1面
館蔵
2．ガレオン船模型　1971年　1基　日本オクベッティ社寄贈
3．セビリア市宛伊達政宗書状（和文）※複製
原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
4．ローマ市街図　16C末刊　1面　館蔵
5．『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版） アマーティ著
1615年刊　1冊　館蔵
6．『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版） アマーティ著
1617年刊　1冊　館蔵
7．支倉常長画像（銅版画） サデレル作　1616～17年頃　1枚
館蔵
8．支倉常長画像（銅版画） 1616～17年頃　1枚　館蔵
9．ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）※複製
原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）※複製
原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
11. 支倉常長書状　※複製　勘三郎宛　原本は元和4年　1幅
高橋由貴彦氏寄贈
12. 国宝　短剣　17C　2口　館蔵
13. 国宝　ロザリオの聖母像　17C　1面　館蔵
14. 国宝　十字架像　17C　1口　館蔵
15. 国宝　十字架及びメダイ　17C　1具　館蔵
16. 国宝　ロザリオ　17C　5連　館蔵
17. 国宝　メダイ残欠　17C　6片　館蔵
18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料） 19C　1面　館蔵
19. 国宝　支倉常長像　1615年頃　1面　館蔵

20. 国宝　ローマ教皇パウロ五世像　1615年頃　1面　館蔵
21. 国宝　ローマ市公民権証書※複製　原本は1615年11月　1通　館蔵

コレクション展示室Ⅰ

焼物

「食のうつわ」 2013.2／26～6／2
1．錆絵山水図四方鉢　尾形乾山　宝永2年　1口　個人蔵
2．染付山水文大皿　古伊万里（有田）　江戸（19世紀）　1口　伊文
3．染付牡丹唐草文大皿　古伊万里（有田）　江戸（19世紀）　1口　伊文
4．染付草花鳥文皿　中国　明末清初(16C末～17C前半)　3口　個人蔵
5．染付松虎図菊形皿　中国　明末清初（16C末～17C前半）　3口　個人蔵
6．染付芙蓉手草花文皿　肥前　江戸前期～中期（17C後半～18C初期）　3口　個人蔵
7．白磁雲龍文鉢　肥前　江戸中期（18C）　3口　個人蔵
8．錦手波に麒麟文角形皿　肥前　江戸前期（17C中葉）　3口　個人蔵
9．青磁鮑形皿　古伊万里（有田）　江戸（18C）　3口　伊文
10. 染付団龍菊流水文角皿　古伊万里（有田）　柿右衛門様式　江戸（17～18世紀）　2口　伊文
11. 五彩花鳥文碗　中国　景徳鎮窯　明末以降(18世紀頃)　2口　伊文
12. 蛸唐草文らっきょう徳利　切込焼　江戸　1口　泉C
13. アラビア文字入大皿　中国　漳州窯　明末清初（16C末～17C前半）　1口　個人蔵
14. 金唐草文石皿　清か　2口　伊文
15. 鉢　山の神焼　1口　個人蔵
16. 甕　堤焼　1点　館蔵
17. 甕　堤焼　1点　館蔵
18. 甕　堤焼　1点　館蔵
19. 酒甕　堤焼　1点　館蔵
20. 壺　堤焼　1点　館蔵
21. 壺　堤焼　1点　館蔵
22. 壺　堤焼　1点　館蔵

「盆石・堤焼」 6／4～9／1
1．盆石「鎌倉」 1点　伊文
2．盆石「筑波根」 1点　伊文
3．盆石「祝ケ崎」 1点　伊文
4．盆石「かつらぎ山」 1点　伊文
5．盆石「こけむし路」 1点　伊文
6．盆石「岩の陰道」 1点　伊文
7．盆石「名取川石」 1点　伊文
8．盆石「えぼし石」 1点　伊文
9．盆石「壺の石ぶみ」 1点　伊文
10. 甕　堤焼　1点　館蔵
11. 甕　堤焼　1点　館蔵
12. 甕　堤焼　1点　館蔵
13. 酒甕　堤焼　1点　館蔵
14. 壺　堤焼　1点　館蔵
15. 壺　堤焼　1点　館蔵
16. 壺　堤焼　1点　館蔵
17. 染付芙蓉文大徳利　平清水焼　1点　甲田C

「東北の焼物」 11／19～2014.2／9
1．染分蘭文徳利　切込焼　1口　古賀C
2．染付藤の丸に丸文長皿　切込焼　2口　古賀C
3．蛸唐草文らっきょう徳利　切込焼　1口　和泉C
4．徳利　上野目焼　1口　石川C
5．菊文扇型皿　上野目焼　1口　館蔵
6．白釉大皿　会津本郷焼　1口　館蔵
7．筒描鉢　悪戸焼　1口　館蔵
8．鉄絵竹文醤油差し　悪戸焼　1口　横山C
9．黒釉徳利　鍛冶町焼　1口　石川C
10. 白釉切立　白岩焼　1口　横山C
11. 白釉輪花皿　白岩焼　1口　横山C
12. 飯茶碗　小久慈焼　1口　横山C
13. 徳利　成島焼　1口　石川C
14. 火入　大宝寺焼　1口　横山C
15. 飴釉鉢　会津本郷焼　1口　館蔵
16. 油壺　会津本郷焼　1口　横山C
17. 鉄絵梅図皿　大堀相馬焼　1口　館蔵
18. 鉄絵走馬文徳利　大堀相馬焼　1口　石川C
19. 色絵山水文土瓶　大堀相馬焼　1合　館蔵
20. 切立　堤焼　1口　館蔵
21. 甕　堤焼　1点　館蔵
22. 甕　堤焼　1点　館蔵
23. 甕　堤焼　1点　館蔵
24. 甕　堤焼　1点　館蔵
25. 甕　堤焼　1点　館蔵
26. 壺　堤焼　1点　館蔵
27. 壺　堤焼　1点　館蔵

古人形

「堤人形と花巻人形」 2013.6／3～9／29
1．花巻人形　熊と金太郎　江戸後期　1点　本出C
2．花巻人形　熊と金太郎　江戸後期　1点　本出C
3．堤人形　佐佐木高綱　江戸後期　1点　足立孔C
4．花巻人形　佐佐木高綱　江戸後期　1点　本出C
5．花巻人形　神功皇后　江戸後期　1点　本出C
6．花巻人形　武内宿弥　江戸後期　1点　本出C
7．堤人形　唄稽古　江戸後期　1点　足立孔C
8．堤人形　花車　江戸後期　1点　本出C

9．堤人形　童女　江戸後期　1点　本出C
10. 堤人形　三味線　江戸後期　1点　本出C
11. 花巻人形　三味線　江戸後期　1点　本出C
12. 花巻人形　三味線　江戸後期　1点　本出C
13. 花巻人形　三味線弾き　江戸後期　1点　本出C
14. 堤人形　手まり　江戸後期　1点　本出C
15. 堤人形　犬ひき花魁　江戸後期　1点　本出C
16. 堤人形　花籠　江戸後期　1点　本出C
17. 花巻人形　花車　江戸後期　1点　本出C
18. 花巻人形　鯛車　江戸後期　1点　本出C
19. 堤人形　針箱　江戸後期　1点　本出C
20. 堤人形　山姥と金太郎　江戸後期　1点　館蔵
21. 花巻人形　衝立美人　江戸後期　1点　本出C
22. 花巻人形　坐美人　江戸後期　1点　本出C
23. 堤人形　唄稽古　江戸後期　1点　本出C
24. 堤人形　夕涼み　江戸後期　1点　本出C
25. 花巻人形　うちわ　江戸後期　1点　本出C
26. 花巻人形　母と子　江戸後期　1点　本出C
27. 花巻人形　琴弾き　江戸後期　1点　本出C
28. 花巻人形　便り　江戸後期　1点　本出C
29. 花巻人形　髪結　江戸後期　1点　本出C
30. 花巻人形　天神　江戸後期　1点　本出C
31. 堤人形　天神　江戸後期　1点　館蔵
32. 花巻人形　大黒　江戸後期　1点　本出C
33. 花巻人形　恵比寿　江戸後期　1点　本出C
34. 堤人形　恵比寿・大黒　江戸後期　2点　館蔵
35. 堤人形　犬と子供　江戸後期　1点　本出C
37. 堤人形　唐人笛　江戸後期　1点　本出C
38. 花巻人形　魚屋　江戸後期　1点　本出C
39. 花巻人形　馬子　江戸後期　1点　本出C
40. 花巻人形　唐子　江戸後期　1点　本出C
43. 堤人形　うさぎと唐子　江戸後期　1点　本出C
44. 堤人形　鯛かつぎ　江戸後期　1点　本出C
45. 堤人形　獅子舞　江戸後期　1点　本出C
46. 堤人形　瓢持ち　江戸後期　1点　本出C

「東北の古人形」 11／19～2014.2／9

1．花巻人形　顔世御前　江戸後期　1点　本出C
2．三春人形　小浪　江戸後期　1点　本出C
3．三春人形　力弥　江戸後期　1点　本出C
4．堤人形　祇園一力茶屋　江戸後期　1点　本出C
5．花巻人形　斧定九郎　江戸後期　1点　本出C
6．相良人形　勘平　江戸後期　1点　本出C
7．花巻人形　片岡伝五右衛門　江戸後期　1点　本出C
8．花巻人形　大星由良之助　江戸後期　1点　本出C
9．三春人形　義経　江戸後期　1点　本出C
10. 三春人形　弁慶　江戸後期　1点　本出C
11. 花巻人形　義経　江戸後期　1点　本出C
12. 相良人形　静御前　江戸後期　1点　館蔵
13. 堤人形　静御前　江戸後期　1点　本出C
14. 堤人形　静御前　江戸後期　2点　本出C
15. 堤人形　狐忠信　江戸後期　1点　本出C
16. 相良人形　三番叟　江戸後期　1点　館蔵
17. 相良人形　恵比寿・大黒　鯛つり　江戸後期　1点　館蔵
18. 相良人形　恵比寿・大黒　鯛かつぎ　江戸後期　1点　館蔵
19. 堤人形　天神　江戸後期　1点　館蔵
20. 堤人形　天神　江戸後期　1点　館蔵
21. 堤人形　堂内天神　江戸後期　1点　館蔵
22. 堤人形　随身　江戸後期　1点　本出C
23. 堤人形　随身　江戸後期　1点　本出C
24. 三春人形　牛乗り天神　江戸後期　1点　本出C
25. 三春人形　天神　江戸後期　1点　本出C
26. 三春人形　天神　江戸後期　1点　本出C
27. 三春人形　大黒　江戸後期　1点　本出C
28. 三春人形　恵比寿　江戸後期　1点　本出C
29. 花巻人形　三番叟　江戸後期　1点　館蔵
30. 花巻人形　獅子舞　江戸後期　1点　本出C
31. 花巻人形　天神　江戸後期　1点　館蔵
32. 相良人形　雛　江戸後期　1点　館蔵
33. 相良人形　雛　江戸後期　1点　館蔵
34. 相良人形　地謡　江戸後期　1点　館蔵
35. 相良人形　小鼓　江戸後期　1点　館蔵
36. 堤人形　雛　男雛　江戸後期　1点　足立孔C
37. 堤人形　雛　女雛　江戸後期　1点　足立孔C
38. 堤人形　雛　男雛　江戸後期　1点　足立孔C
39. 堤人形　雛　女雛　江戸後期　1点　足立孔C
40. 堤人形　五人囃子　江戸後期　1点　足立孔C
41. 堤人形　五人囃子　江戸後期　1点　足立孔C
42. 堤人形　五人囃子　江戸後期　1点　足立孔C
43. 堤人形　五人囃子　江戸後期　1点　足立孔C
44. 堤人形　五人囃子　江戸後期　1点　足立孔C
45. 堤人形　五人囃子　地謡　江戸後期　1点　足立孔C
46. 堤人形　五人囃子　地謡　江戸後期　1点　足立孔C
47. 堤人形　五人囃子　太鼓　江戸後期　1点　足立孔C
48. 三春人形　雛　江戸後期　1点　本出C
49. 三春人形　雛　男雛　江戸後期　1点　本出C
50. 三春人形　雛　女雛　江戸後期　1点　本出C
51. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出C
52. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出C
53. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出C
54. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出C
55. 三春人形　五人囃子　小鼓　江戸後期　1点　本出C
56. 花巻人形　小鼓　江戸後期　1点　館蔵
57. 花巻人形　五人囃子　江戸後期　1点　館蔵
58. 花巻人形　雛　江戸後期　1点　本出C
59. 花巻人形　雛　江戸後期　1点　本出C

※№1～15は～1／13展示、№32～59は1／15～展示

茶道具

2013.4／20～6／2

1．乾山写鶴文黒楽茶碗　三浦乾也　幕末～明治　1口
新井田C

2．竹一重切花入　伝伊達綱村作　江戸中期　1口
平田道子氏寄贈

3．流水菖蒲蛇籠文入隅角形鉢　志野焼　江戸前期（17C初）
1枚　個人蔵

6／4～9／29

1．月に萩文黒楽茶碗　三浦乾也作　銘「乾也」 幕末～明治
1口　新井田C

2．竹一重切花入　伊達吉村作　江戸中期　1口　ゴトウC

3．割木瓜形水指　備前焼　1合　館蔵

11／19～2014.2／9

1．赤楽茶椀　銘「唐人」 川上不白　江戸中期　1口　有井C

2．竹一重切花入　伝伊達綱村作　江戸中期　1口
平田道子氏寄贈

3．三島手茶碗　（初代）乾馬作　銘「乾馬　八九翁」他　明治
1口　猪苗代氏寄贈

浮世絵

「幕末・明治の錦絵54」 2013.2／26～6／2

1．（三代目市川団十郎） 歌川豊国画　江戸後期　大判1枚
大宮司C

2．（四代目市川団十郎） 歌川豊国画　江戸後期　大判1枚
大宮司C

3．（七代目市川団十郎の成田不動） 歌川豊国画 （文政4年）
大判1枚　林C

4．名古屋山三〔尾上菊五郎〕・不波伴左衛門〔市川団十郎〕・
月さよお国〔岩井半四郎〕 歌川国貞画 （文政10年）
大判3枚続　大宮司C

5．吉田の松若〔団十郎改市川海老蔵〕・二役早替り猿嶋惣太
〔団十郎改市川海老蔵〕・清玄尼〔岩井半四郎〕 歌川国貞画
（天保3年） 大判3枚続　大宮司C

6．七代目市川海老蔵の死絵　安政6年　大判1枚　阿部次郎C

7．錦祥女・伍将軍甘輝・和藤内三官　歌川豊国Ⅲ画　嘉永3年
大判3枚続　大宮司C

8．八代目市川団十郎の死絵　嘉永7年　大判1枚　阿部次郎C

9．八代目市川団十郎の死絵　嘉永7年　大判1枚　林C

10．朝日奈義秀〔市川団十郎〕・局松島〔岩井半四郎〕・
北条泰時〔市川新十郎〕 豊原国周画　明治9年　大判3枚続
大宮司C

11．歌舞伎座秋狂言　菅原時平公七わらひ〔市川団十郎〕
豊原国周画　明治30年　大判3枚続　山谷C

12．中村座三階図 （文政7年） 大判3枚続　阿部次郎C

13．寿狂言之内　釣狐　娚の尉〔鶴蔵改中村仲蔵〕・
白蔵主〔中村勘三郎〕 歌川国貞Ⅱ画　慶応元年　大判1枚
大宮司C

14．寿狂言之内　新発意　新発意〔中村勘三郎〕・
和尚〔市川八百蔵〕・盗人〔鶴蔵改中村仲蔵〕
歌川国貞Ⅱ画　慶応元年　大判1枚　大宮司C

15．隅田川花見　歌川国芳画　嘉永期　大判3枚続　大宮司C

16．東名所墨田川　梅若之古事　月岡芳年画　明治16年
大判3枚続　大宮司C

17．新吉原江戸町金瓶樓今紫座敷三曲之図　歌川芳虎画
明治4年　大判3枚続　大宮司C

18．上野公園博覧会場美術館猩々噴水器之図　年光画　明治14年
大判3枚続　大宮司C

19．美人揃花菖蒲のもや晴　楊洲周延画　明治13年　大判3枚続
大宮司C

20．美人名所合　堀切の菖蒲　尾形月耕画　明治29年
大判3枚続　大宮司C

21．新版三十二相　どもり・芥子がきいた・耳こもり・遠見
小林清親画　明治15年　大判1枚　阿部次郎C

22．新版三十二相　まじあやし・はじかれ・あつい湯・をゝくさい
小林清親画　明治15年　大判1枚　阿部次郎C

23．新版三十二相　過古（すぎさった）ことをおもふ・ひるね・
モウひるだろう・アアまぶしひ・むかひかぜ　小林清親画
明治15年頃　大判1枚　阿部次郎C

24．三十二相追加百面相　浄瑠璃・つまミ喰・酒をのむ・
途中の出合　小林清親画　明治16年　大判1枚　阿部次郎C

25．三十二相追加百面相　立ち聞き・ウントコ重たい・くらやみ・
おおかゆい　小林清親画　明治16年　大判1枚　阿部次郎C

26．三十二相追加百面相　画工の身振・針のめど・火ふき・
かりこみ　小林清親画　明治16年　大判1枚　阿部次郎C

「幕末・明治の錦絵55」 6／4～9／8

1．治承四年、駿州浮嶋が原で頼朝・義経対面の図　歌川国芳画
嘉永期　大判3枚続　大宮司C

2．粟津にて源義経が木曽義仲を討つ　歌川芳虎画　弘化期
大判3枚続　大宮司C

3．元暦元年二月七日　摂州一の谷鵯越ヨリ義経平家ヲ攻ル図
歌川芳藤画　明治□年　大判3枚続　大宮司C

4．義経八島之名誉　月岡芳年画　慶応2年　大判3枚続
大宮司C

5．壇ノ浦源平大戦之図　橋本貞秀画　嘉永期　大判3枚続
大宮司C

6．義経一代記の内　鮫島平治の夜襲　歌川豊国Ⅲ画　弘化期
大判3枚続　大宮司C

7．源義経平知盛ノ霊ニ逢図　歌川芳員画　嘉永期　大判3枚続
大宮司C

8．源義経公吉野名誉之図　橋本貞秀画　嘉永期　大判3枚続
大宮司C

9．安宅ノ関勧進帳　軍兵村平・富樫介家盛・軍兵国平・
武蔵坊弁慶・片岡八郎・亀井六郎・源義経公ほか
歌川豊国Ⅲ画　安政６年　大判３枚続　大宮司C
10. 源義経奥州下向平泉館にて秀衡の親子に対面の図
歌川国芳画　弘化期　大判３枚続　大宮司C
11. 文治五年源頼朝卿奥州征伐ノ図　歌川芳虎画　弘化期
大判３枚続　大宮司C
12. 義経蝦夷渡之図　歌川芳虎画　弘化期　大判３枚続
大宮司C
13. 富士三十六景５　東都御茶の水　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
14. 富士三十六景６　東都両ごく　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
15. 富士三十六景８　東都飛鳥山　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
16. 富士三十六景10　東都目黒夕日か岡　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
17. 富士三十六景13　武蔵多満川　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
18. 富士三十六景14　武蔵越がや在　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
19. 富士三十六景17　相州三浦の海上　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
20. 富士三十六景20　相模江之島入口　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
21. 富士三十六景24　駿河三保之松原　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
22. 富士三十六景25　東海道左り富士　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
23. 富士三十六景27　伊勢二見ケ浦　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
24. 富士三十六景31　甲斐大月の原　歌川広重画　安政５年
竪大判１枚　阿部次郎C
25. 原（東海道五十三次のうち）　葛飾北斎画　文化元年頃
横長版摺物１枚　阿部次郎C
26. 増補富士見西行（市川団十郎の木曽義仲・岩井半四郎の写絵
姫・嵐三五郎の西行）　歌川豊国画　文化12年　大判３枚続
阿部次郎C
27. 建久四年五月、大将頼朝公富士野牧狩之図　歌川芳虎画
弘化４～嘉永５年　大判３枚続　大宮司C
28. 富士筑波愛合傘（団扇絵）　歌川国貞画　天保年間
横大判１枚　和泉C
29. 諸国富士尽・伊豆之富士　尾張屋内喜瀬川　溪斎英泉画
天保年間　竪大判１枚　阿部次郎C
30. 恵比須・大黒　溪斎英泉画　天保年間　竪大判１枚
阿部次郎C
31. 千代田之大奥　吹上の夕富士　橋本周延画　明治28年
大判３枚続　大宮司C

「幕末・明治の錦絵56」　９／10～12／８
１．和蘭陀　落合芳幾画　文久元年　竪大判１枚　阿部次郎C
２．英吉利　落合芳幾画　文久元年　竪大判１枚　阿部次郎C
３．亜墨利加　南京　落合芳幾画　文久元年　竪大判１枚
阿部次郎C
４．露西亜　落合芳幾画　文久元年　竪大判１枚　和泉C
５．アメリカ人遊行之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
阿部次郎C
６．異人座敷料理之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
７．外国人子供寵愛之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
８．外国人夜学之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
９．外国人酒宴之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
10. 外国写真鏡之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
11. 外国人男女子供遊　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
12. 外国人子供遊戯之図　歌川芳員画　万延元年　竪大判１枚
大宮司C
13. 魯西亜　歌川芳員画　文久元年　竪大判１枚　阿部次郎C
14. 亜墨利加国蒸気船中の写　歌川芳員画　文久元年
大判３枚続　阿部次郎C
15. 亜墨利加国蒸気車往来　歌川芳員画　文久元年　大判３枚続
大宮司C
16. 亜墨利加洲之内華盛頓府之景銅板之写生　歌川芳員画
文久元年　大判３枚続　館蔵
17. 外国人物尽　英吉利・魯西亜　歌川芳虎画　文久元年
横大判１枚　和泉C
18. 清国南京人之図　歌川芳虎画　文久元年　竪大判１枚
和泉C
19. 五箇国之内　和蘭人　歌川芳虎画　文久元年　竪大判１枚
阿部次郎C
20. 生写異国人物　阿蘭陀婦人挙觴愛児童之図　橋本貞秀画
万延元年　大判１枚　和泉C
21. 横浜商家異人之図　アメリカ人・アメリカ女　天竺産尾長猿
一名ヲラヲウタン　橋本貞秀画　文久元年　大判１枚
阿部次郎C
22. 横浜商家異人之図　フランス　橋本貞秀画　文久元年
大判１枚　阿部次郎C
23. 亜墨利加賑之図　歌川広重Ⅱ画　文久元年　大判３枚続
阿部次郎C
24. 東京築地ホテル館表掛之図　歌川広重Ⅲ画　明治２年
大判３枚続　大宮司C
25. 横浜海岸鉄道蒸気車図　歌川広重Ⅲ画　明治初年
大判３枚続　和泉C
26. かやうり・しづの男・しづの女・しづの女・ぞう兵
歌川国芳画　嘉永期　大判３枚続　大宮司C

27. 葛の葉狐　市川団十郎　月岡芳年画　明治24年　大判３枚続
山谷C
28. 植木売寺しまのまつ〔尾上松助〕・猿廻し三谷の三作〔尾上多見蔵〕・玉や新兵衛〔尾上菊五郎〕ほか　歌川豊国画　（文政４年）　大判３枚続　林C
29. 鬼ケ嶽〔市川海老蔵〕・秋津島〔沢村訥升〕　歌川国貞画　（天保10年）　大判２枚　大宮司C
30. 義正別室藤ノ方・仕女杉はえ・足利次郎ノ君　歌川豊国Ⅲ画　嘉永４年　大判３枚続　大宮司C
31. 西八条賢者功績　小松重盛〔三升〕　豊原国周画　明治23年　３枚続　山谷C

「幕末・明治の錦絵57」　12／10～2014.２／16
１．笠原遊龍軒〔尾上菊五郎〕・宮本無三四〔市村歌右衛門〕　歌川国貞画　（天保９年）　大判３枚続　大宮司C
２．四季ノ内　冬　市川海老蔵・沢村訥升　歌川国貞画　（天保10年）　大判３枚続　大宮司C
３．調布久松〔岩井粂三郎〕・鬼門喜兵衛〔市川団十郎〕・油屋おそめ〔岩井紫若〕　歌川国貞画　（文政８年）　大判３枚続　林C
４．富士見行列　歌川豊国画　寛政後期　大判３枚続　阿部次郎C
５．東海道五十三次ノ内　岡崎駅其二　政右衛門女房お谷　歌川豊国Ⅲ画　嘉永５年　大判３枚続　阿部次郎C
６．あやつり三番叟　歌川豊国Ⅲ画　嘉永６年　大判３枚続　大宮司C
７．源氏見立八景之内　空蝉暮雪　から衣　歌川豊国Ⅲ画　安政５年　大判３枚続　林C
８．渡シ守甚平・浅倉当吾　歌川豊国Ⅲ画　嘉永４年　大判３枚続　大宮司C
９．嶋返ノ染五郎・尾形惟渚・当吾女房お岑・白拍子桂木・難波村蜂右エ門・浅倉村当吾　歌川豊国Ⅲ画　嘉永４年頃　大判３枚続　大宮司C
10. せんざゐ・操り三番叟・をきな　歌川豊国Ⅲ画　嘉永６年　大判３枚続　大宮司C
11. 幼童席書会　歌川国芳画　大判３枚続　大宮司C
12. 全盛四季尽　冬　根津花やしき大松楼　月岡芳年画　明治16年　大判３枚続　大宮司C
13. 忠臣蔵　九段目　歌川芳虎画　嘉永期　大判３枚続　阿部次郎C
14. 三十六佳撰　雪見・寛文頃婦人　水野年方画　明治24年　大判３枚続　大宮司C
15. 大当　猟人名古平〔市川小団次〕・雪枝小織之助〔市村家橘〕・名古平女房お杣〔尾上菊ニ郎〕　豊原国周画　元治元年　大判３枚続　大宮司C
16. 徳川時代貴婦人の図　楊洲周延画　未詳　大判３枚続　大宮司C
17. 日野資勝卿雪夜　篠塚母子に遭ふ図　楊洲周延画　明治22年　大判４枚続　大宮司C
18. 名所江戸百景　日本橋雪晴　歌川広重画　安政３～５年　大判１枚　阿部次郎C
19. 名所江戸百景　大伝馬町ごふく屋　歌川広重画　安政３～５年　大判１枚　阿部次郎C
20. 名所江戸百景　霞がせき　歌川広重画　安政３～５年　大判１枚　阿部次郎C
21. 名所江戸百景　深川木場　歌川広重画　安政３～５年　大判１枚　阿部次郎C
22. 五十三次名所図会　13　沼津　歌川広重画　安政２年　大判１枚　阿部次郎C
23. 名所江戸百景　日本橋雪晴　歌川広重画　安政３～５年　大判１枚　阿部次郎C
24. 今様婦じの雪　隅田川の富士　渓斎英泉画　文化12～天保13年　大判１枚　阿部次郎C
25. はつ雪や　渓斎英泉画　文化12～天保13年　大判１枚　阿部次郎C
26. 茶の水雪　小林清親画　明治13年　大判１枚　館蔵
27. 日本橋雪晴　小林清親画　明治10年代　大判１枚　館蔵

コレクション展示室Ⅱ

「東東洋の絵画」　2013.12／３～2014.１／13
１．天保九如図　東東洋筆　細合半斎賛　寛政元年　１幅　館蔵
２．常盤雪行図　東東洋筆　江戸後期　１幅　亀田兵治C
３．蘆間吹笛図　東東洋筆　江戸後期　１幅　館蔵
４．四季山水図屏風　東東洋筆　享和２年頃　６曲１双　個人蔵
５．煙霞山水図　東東洋筆　天保５年　３幅対　甘柿舎C
６．荘子夢蝶図　東東洋筆　海保青陵賛　江戸後期　１幅　佐瀬くか子氏寄贈
７．福内鬼外図　東東洋筆　天保５年　１幅　伊文
８．夕陽人影長　東東洋筆　江戸後期　１幅　伊澤家C
９．花鳥雑画巻　東東洋筆　文化３年　１巻　館蔵

「菅井梅関の絵画」　2014.１／15～２／16
１．老松猛虎図　菅井梅関筆　文化９年　１幅　館蔵
２．高士観瀑図　菅井梅関筆　文化10年　１幅　館蔵
３．浅絳山水図　江稼圃筆　清時代　１幅　亀田兵治C
４．梅関高士送別会之図　荒木君瞻筆　金井莎邨賛　文政元年　１幅　館蔵
５．山水図　菅井梅関筆　文政４年　１幅　館蔵
６．秋冬山水図　菅井梅関筆　文政10年　双幅　伊澤家C
７．鯉魚図　菅井梅関筆　江戸後期　２曲１隻　館蔵
８．仏手柑に小禽図　菅井梅関筆　文政12年　１幅　館蔵
９．勝画楼望月図・五大堂観日図　菅井梅関筆　江戸後期　双幅　伊澤家C
10. 梅月図　菅井梅関筆　江戸後期　１幅　新津宗助C
11. 牡丹図　菅井梅関筆　南山古梁・舟山万年賛　天保４年　１幅　金ヶ崎二郎氏寄贈
12. 古城朝鮮梅図　菅井梅関筆　江戸後期　１幅　伊澤家C

13. 水亭午翠図　菅井梅関筆　天保13年　１幅
亀卦川浩氏・守氏寄贈

14. 水西荘真景図下絵　菅井梅関・頼山陽筆　江戸後期　１巻
山形敞一氏寄贈

15. 水西荘図帖　菅井梅関画　弘化３年刊　１帖　館蔵

梅月図　菅井梅関筆

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに17館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

１．重要文化財　銅竜頭　４頭のうち１頭
岩手県　極楽寺蔵

２．重要文化財　銅鏡　10面　山形県
月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵

３．重要文化財　銅造懸仏及び銅鏡　14面
宮城県　熊野那智神社蔵

４．重要文化財　太刀（銘備州長船住義光・建武四年十二月）１口　宮城県　亀岡八幡宮蔵

５．重要文化財　瑞巌寺本堂障壁画　10面
宮城県　瑞巌寺蔵

６．重要文化財　観瀾亭障壁画　檜槇図６面のうち２面
宮城県　松島町蔵

特別展・企画展

特別展　東日本大震災復興支援
「若冲が来てくれました
―プライスコレクション 江戸絵画の美と生命―」

本展覧会は平成24年度から25年度にかけて開催した。24年度分については当館年報前号に掲載済みであるが、概要把握の便に供するため、今号においては24年度分も併せて掲載する。

会　　期　平成25年３月１日(金)～５月６日(日)
開催日数　24年度：28日間(３月１日～31日)
　　25年度：32日間(４月１日～５月６日)
　　合　計：60日間
観覧者数　24年度：28,396人(一日平均1,014人)
　　25年度：75,823人(一日平均2,369人)
　　合　計：104,219人(一日平均1,737人)
観 覧 料　一般・大学生800円、高校生以下無料
主　　催　「若冲が来てくれました」仙台展実行委員会(仙台市博物館・ＮＨＫプラネット東北支社)、財団　心遠館、日本経済新聞社
共　　催　ＮＨＫ仙台放送局、河北新報社
特別協力　キヤノン
協　　力　ロサンゼルス・カウンティ美術館、京都文化協会、小学館、日本航空
後　　援　アメリカ大使館、南カリフォルニア日米協会、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、ＴＢＣ東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ東日本放送、DateFM、ラジオ３ＦM76.2

アメリカ在住のジョー・プライス、悦子・プライス夫妻が所有するコレクションは、優れた江戸絵画のコレクションとして世界的に知られている。本展覧会は、東日本大震災で被災した日本の人々の心を癒し、復興への活力を提供できるように、と夫妻が出品を申し出られたことによって実現したもので、宮城・岩手・福島の三県を巡回した。

出品作品100件の中には、伊藤若冲をはじめ、曽我蕭白、円山応挙、長沢芦雪、酒井抱一、鈴木其一ら個性派画家たちの選りすぐりの江戸絵画の名品があり、また純粋に心から楽しめる作品がそろっている。たくさんの子どもたちに江戸絵画の面白さを知ってほしい、というプライス夫妻の願いを受け、本展覧会では親しみやすい作品名称とわかりやすい解説などによって江戸絵画とプライスコレクションの魅力を紹介し、子ども向けのワークショップも行った。

また、プライス夫妻の尽力により、ＭＩＨＯ MUSEUM、国立美術館、国立博物館、宮内庁三の丸尚蔵館及び宮内庁正倉院事務所からも出品された。なお、平成24年度分の開催については、文化庁ミュージアム活性化支援事業として実施した。

展示構成

第１章　ようこそプライスワールドへ
　⑴　目がものをいう
　⑵　数がものをいう
　⑶　○と△
第２章　はる・なつ・あき・ふゆ
第３章　プライス動物園
第４章　美人大好き
第５章　お話きかせて
第６章　若冲の広場
第７章　生命のパラダイス

展示室風景

印刷物

24年度：ポスター　Ｂ２判2,530枚、Ｂ３判500枚
　　小・中学校向けポスター　Ｂ３判700枚
　　高校・大学向けポスター　Ｂ３判200枚
　　チラシＡ４判　134,300枚
　　割引券　150,000枚
　　図録Ｂ５判変形　264ページ
25年度：チラシＡ４判　20,000枚

Ｂ３ポスター

関連行事

24年度：

⑴　プライスさんスペシャルトーク
「楽しい江戸絵画の世界」
３月１日（金）13：30～15：30
参加276名
講師：ジョー・プライス氏
東京大学名誉教授　辻惟雄氏
コーディネーター：
明治学院大学教授　山下裕二氏

⑵　春休みこども企画
「ドキドキワクワク色々な光で絵を見ると…」
３月23日（土）13：30～15：00
参加35名（うち保護者15名）
講師：ジョー・プライス氏、悦子・プライス氏、
樋口智之（当館学芸員）

⑶　ギャラリートーク
３月１日（金）９：30～11：30
参加　中野小学校児童22名
講師：ジョー・プライス氏、悦子・プライス氏
※年報前号62頁「歴ネット被災校バスツアーの実施」参照

⑷　特別鑑賞プラン
３月18日（月）10：00～14：00
参加100名
ギャラリートーク講師：内山淳一（当館学芸室長）、樋口智之

⑸　ミュージアムセミナー
３月２日（土）、６日（水）　参加42名

⑹　友の会広報セミナー
３月４日（月）参加168名

⑺　各種団体への展示解説
合計５件参加122名

25年度：

⑴　記念講演会「若冲とプライスコレクション」
４月13日（土）13：30～15：00
参加210名
講師：東京大学名誉教授　辻惟雄氏

記念講演会

⑵　春休みこども企画「ミニ屏風を作ってみよう」
４月６日（土）　13：30～15：00
参加25名（うち保護者９名）
講師：ジョー・プライス氏、悦子・プライス氏、
山田貴史（当館指導主事）

春休みこども企画

⑶　特別鑑賞プラン
４月12日（金）18：00～20：00
参加94名
ギャラリートーク講師:内山淳一(当館副館長)、
樋口智之（当館学芸室長）

⑷　各種団体への展示解説
11件　参加591名

プライス夫妻のサイン会の様子

展示資料目録

※作品名の前に子ども向け作品名を掲載

※◎は重要文化財

※所蔵について記載のないものはプライスコレクション

第１章　ようこそプライスワールドへ

⑴　目がものをいう

１．アメを売るひと　飴売り図　鈴木其一筆　江戸(19C）　１幅

２．岩かげからトラ　虎図　谷鵬筆　江戸（18～19C）　１幅

３．のし歩くシャモ　軍鶏図　長沢芦雪筆　江戸（18C）　１幅

４．岩から下をのぞくサル　岩上猿猴図　渡辺南岳筆
江戸（18～19C）　１幅

５．ハチを見上げるサル　猿図　森狙仙筆　江戸（18～19C）
１幅

６．〈かんざん〉さんと〈じっとく〉さん　寒山拾得図
曽我蕭白筆　江戸（18C）　双幅

７．ヤナギのしたのゆうれい　柳下幽霊図　呉春・松村景文筆
江戸（18C）　１幅

８．ゆうれい　幽霊図　長沢芦雪筆　江戸（18C）　１幅

９．のめやうたえや、おおさわぎ　妓楼酒宴図　河鍋暁斎筆
江戸～明治（19C）　１幅

10.〈だるま〉さん　達磨図　河鍋暁斎筆　明治22年　１幅

11.〈だるま〉さんと〈ゆうじょ〉が着物をとりかえっこ
達磨遊女異装図　竹田春信筆　江戸（18C）　１幅

12.〈えんま〉さまと地獄もようの着物を着た〈ゆうじょ〉
閻魔と地獄太夫図　河鍋暁斎筆　江戸～明治（19C）　１幅

13. 福はうち、鬼はそと　お多福鬼図　柴田是真筆
江戸～明治（19C）　１幅

14. レストラン「ごどうりん」　料理屋梧桐林店頭図　歌川国直筆
文政８年　１幅

⑵　数がものをいう

15.〈おたふく〉がいっぱい　百福図　雅熙筆　江戸（18～19C）
１幅

16. 三十六人のうたの名人　三十六歌仙図屏風　酒井抱一筆
江戸（18～19C）　２曲１隻

17. 松・竹・梅にあつまるたくさんの鳥　松竹梅群鳥図
中住道雲筆　明治39年　１幅

18.「よしわら」のおまつり　吉原俄図　蹄斎北馬筆
江戸（19C）　１幅

22. 群鶴図屏風（左隻）　鈴木其一筆

19.〈おしゃかさま〉がお亡くなりになりました　仏涅槃図
中路定季筆　江戸（18C）　１幅

20. クリの木であそぶ手長ザル　栗樹猿猴図屏風　江戸（17C）
２曲１隻

21. よりそうツル　群鶴図　伊藤若冲筆　江戸（18C）　１幅

22. ツルの行列　群鶴図屏風　鈴木其一筆　江戸（19C）
６曲１双

23. 松をめざしてたくさんのツルがやってきた　松に鶴図屏風
森徹山筆　江戸（19C）　６曲１双

⑶　○と△

24. 雪の夜の白いウサギと黒いカラス　雪中松に兎・
梅に鴉図屏風　葛蛇玉筆　安永３年　６曲１双

25. 白いゾウと黒いウシ　白象黒牛図屏風　長沢芦雪筆
江戸（19C）　６曲１双

26. 春のムギと秋のイネ　麦稲図屏風　円山応震筆　江戸(19C）
６曲１双

第２章　はる・なつ・あき・ふゆ

27. 満開の梅の花　紅白梅図屏風　江戸（17C）　６曲１双

28. 夏のアオギリと秋のカエデ　青桐・紅楓図　鈴木其一筆
江戸（19C）　双幅

29. ケシとアザミとレンゲソウ　芥子薊蓮華草図「伊年」印
江戸（17C）　１幅

30. ヤナギとシラサギ　柳に白鷺図屏風　鈴木其一筆
江戸（19C）　２曲１隻

31. 貝と梅の実　貝図　鈴木其一筆　江戸（19C）　１幅

31. 貝図　鈴木其一筆

32. ヤナにかかったアユとカニ　簗図屏風　江戸（17C）
６曲１双

33. ナデシコとトンボ　撫子に蜻蛉図　亀岡規礼筆
江戸（18～19C）　１幅

34. 秋の草花　秋草図　鈴木守一筆　江戸～明治（19C）　１幅

35. 山奥の滝からながれくだる川　懸崖飛泉図屏風　円山応挙筆
寛政元年　４曲・８曲１双

36. すみだ川の渡し船　隅田川図　蹄斎北馬筆　江戸（19C）
１幅

37. 富士山と三保の松原と清見寺　富士三保清見寺図
曽我蕭白筆　江戸（18C）　１幅

38. 雪のつもった松　雪松図屏風　源琦筆　寛政４年　６曲１双

39. 夏のシラサギ、冬のシラサギ　夏冬白鷺図屏風　山口素絢筆
江戸（18～19C）　6曲1双
40. 扇に描いた季節の草花　草花図扇面貼交屏風　中村芳中筆
江戸（18～19C）　2曲1隻
41. 川にながれるさまざまな扇　扇面流し図屏風　鈴木守一筆
江戸～明治（19C）　2曲1双
42. 十二か月の花々と鳥たち　十二か月花鳥図　酒井抱一筆
江戸（18～19C）　12幅

第3章　プライス動物園

43. 月にほえるトラ　虎図屏風　江戸（17～18C）　2曲1隻
44. こちらを見るトラ　虎図　円山応挙筆　天明5年　1幅
45. のびあがるトラ　虎図　長沢芦雪筆　江戸（18C）　1幅
46. 毛づくろいをするトラ　虎図　源琦筆　江戸（18C）　1幅
47. 歩みよるトラ　虎図　亀岡規礼筆　江戸（18～19C）　1幅
48. 片足あげてほえるトラ　虎図　片山楊谷筆　江戸（18C）
1幅
49. 空想のライオン・カラジシ　唐獅子図　吉村孝敬筆
天保2年　1幅
50. 野をかけまわるウマたち　野馬図屏風　曽我蕭白筆
江戸（18C）　6曲1双
51. 梅の木であそぶサルの親子　梅花猿猴図　森狙仙筆
江戸（18～19C）　1幅
52. 二頭のラクダ　駱駝図　円山応震筆　文政7年　1幅
53. ボタンの花とクジャク　牡丹孔雀図屏風　長沢芦雪筆
天明2年　2曲1隻
54. サルを連れ去るタカ　鷹と猿図　柴田是真筆　明治18年　1幅

54. 鷹と猿図　柴田是真筆

55. ススキとウズラ　薄に鶉図　土佐光起筆　江戸（17C）1幅
56. 岩のうえのオウム　蘭石鸚鵡図　葛蛇玉筆　江戸(18C)　1幅
57. ツルの親子　鶴図　曽我蕭白筆　江戸（18C）　1幅
58. 雨にうたれるオンドリ　雨中雄鶏図　岸駒筆　江戸（18C）
1幅
59. 波立つ海をわたるツバメ　波浪飛燕図　岡本秋暉筆
江戸（19C）　1幅
60. 身をおどらせるコイ　鯉魚図　椿椿山筆　江戸（18C）1幅
61. 海をわたる仙人とカメ　神仙亀図　長沢芦雪筆　江戸(18C)
双幅
62. さまざまな鳥とコイ　鳥魚図巻　円山応瑞筆
江戸（18～19C）　2巻

第4章　美人大好き

63. 鳥とあそぶ美人　婦女遊楽図　伝岩佐又兵衛筆　江戸(17C)
1幅
64. ひじかけでやすむ美人　脇息に倚る遊女図　江戸（17C）
1幅
65. 髪をなおす美人　立美人図　懐月堂度辰筆　江戸（18C）
1幅
66. 雪のなかをあるく美人　雪中美人図　礒田湖龍斎筆
江戸（18C）　1幅

66. 雪中美人図　礒田湖龍斎筆

67. 筆をとめて思案する美人　二美人図　勝川春章筆
江戸（18C）　1幅
68. 五人の美人　五美人図（見立琴棋書画図）　勝川春鱗筆
江戸（18C）　1幅
69. 二人の美人　二美人図　喜多川菊麿筆　江戸（18～19C）
1幅
70. 子イヌと美人　美人に犬図　山口素絢筆　江戸（18～19C）
1幅
71. ラブレターを読む美人　文読む美人図　初代歌川豊国筆
江戸（19C）　1幅
72. 笠をもつ美人　笠持つ美人図　章蔵筆　江戸（19C）　1幅
73. むかしの中国の美人　唐美人図　岸駒筆　天明7年　双幅

第5章　お話きかせて

74. 〈ひかるげんじ〉のものがたり　源氏物語図屏風
江戸（17～18C）　6曲1双
75. 〈ひかるげんじ〉のものがたり　源氏物語図帖
江戸（19C）　1帖
76. 草花や動物と昔のものがたり　花鳥・物語図帖
伝　菱川師宣筆　江戸（17C）　1帖
77. 佐野の渡し場の雪の夕暮れ　佐野渡図屏風　酒井抱一筆
江戸（18～19C）　2曲1隻
78. オニの〈しゅてんどうじ〉を退治するものがたり
酒呑童子図屏風　江戸（17C）　6曲1双

79. 〈よしつね〉のものがたり　義経記図屏風　長谷川派
江戸（17C）　6曲1隻
80. ながめのいい「せきへき」で船あそび　赤壁図　円山応挙筆
安永5年　1幅
81. 〈おりひめ〉と〈ひこぼし〉　七夕図　鈴木其一筆
江戸（19C）　1幅
82. 悪いリュウとたたかう〈しょうき〉さま　鍾馗図
勝川春英筆　江戸（18～19C）　1幅
83. キツネのよめ入り　狐の嫁入り図　鈴木其一筆　江戸(19C)
1幅

第6章　若冲の広場

84. ブドウの木　葡萄図　伊藤若冲筆　江戸（18C）　1幅
85. 松にとまるタカ　松に鷹図　伊藤若冲筆　江戸（18C）1幅
86. ニワトリの親子　親鶏と雛図　伊藤若冲筆　寛政8年　1幅
87.「まんぷくじ」のながめ　黄檗山万福寺境内図　伊藤若冲筆
江戸（18C）　1幅
88. オンドリとバショウの葉　芭蕉雄鶏図　伊藤若冲筆
江戸（18C）　1幅
89. 飛びはねたコイ　鯉魚図　伊藤若冲筆　江戸（18C）　1幅
90. 波打つ岩のワシ　鷲図　伊藤若冲筆　寛政10年　1幅
91. ツルさまざま　鶴図屏風　伊藤若冲筆　江戸（18C）
6曲1双
92. 花や鳥、人や魚　花鳥人物図屏風　伊藤若冲筆　江戸（18C）
6曲1双
93. 足をなめるトラ　虎図　伊藤若冲筆　宝暦5年　1幅
94. 竹と梅と二羽のツル　竹梅双鶴図　伊藤若冲筆　江戸(18C)
1幅
95. 日の出を告げるオンドリ　旭日雄鶏図　伊藤若冲筆
江戸（18C）　1幅
96. 雪のつもったアシとオシドリ　雪芦鴛鴦図　伊藤若冲筆
江戸（18C）　1幅
97. アジサイの花と二羽のニワトリ　紫陽花双鶏図　伊藤若冲筆
江戸（18C）　1幅
98. 伏見でつくられたお人形　伏見人形図　伊藤若冲筆
寛政10年　1幅
99. バショウの葉　芭蕉図　伊藤若演筆　江戸(18～19C)　1幅

第7章　生命のパラダイス

100. 花も木も動物もみんな生きている　鳥獣花木図屏風
伊藤若冲筆　江戸（18C）　6曲1双

国内賛助出品作品

101. 牡丹孔雀図　円山応挙筆　安永5年　1幅
宮内庁三の丸尚蔵館
102. 御苑春雨　横山大観筆　大正15年　1幅
宮内庁三の丸尚蔵館
103. 正倉院宝物模造　青斑石鼈合子　詫間裕筆　平成10年
1合　宮内庁正倉院事務所
104. 人物図屏風　長沢芦雪筆　江戸（18C）　2曲1隻
東京国立博物館
105. ◎普賢十羅刹女像　鎌倉（14C）　1幅
奈良国立博物館
106. ◎如意輪観音像　鎌倉（14C）　1幅
奈良国立博物館
107. 奥の細道句抄絵「笠島はいづこさつきのぬかりみち」
小野竹喬筆　昭和51年　1面　京都国立近代美術館
108. 奥の細道句抄絵「五月雨をあつめて早し最上川」
小野竹喬筆　昭和51年　1面　京都国立近代美術館
109. 奥の細道句抄絵「涼しさやほの三か月の羽黒山」
小野竹喬筆　昭和51年　1面　京都国立近代美術館
110. 奥の細道句抄絵「象潟や雨に西施がねぶの花」
小野竹喬筆　昭和51年　1面　京都国立近代美術館
111. ゾウとクジラの呼び交わし　象と鯨図屏風　伊藤若冲筆
寛政7年　6曲1双　MIHO MUSEUM

97. 紫陽花双鶏図　伊藤若冲筆

企画展

「仙台藩主　勢ぞろい！
初代伊達政宗から13代慶邦まで」

会　　期　平成25年５月21日（火）～６月30日（日）
前期：５月21日（火）～６月９日（日）
後期：６月11日（火）～６月30日（日）
※前期と後期で具足・画像の展示替
開催日数　36日間
入館者数　15,742人（一日平均437人）
観 覧 料　常設展観覧料金
会　　場　テーマ展示室Ⅰ、コレクション展示室Ⅱ、企画展示室
主　　催　仙台市博物館
共　　催　河北新報社
後　　援　毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、ＮＨＫ仙台放送局、ＴＢＣ東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ東日本放送、DateFM、ラジオ３ＦＭ76.2

慶長５年（1600）、伊達政宗が仙台の地に城と町を築いたことに始まる仙台藩は、御家騒動や相次ぐ飢饉などの困難に直面しながらも、江戸時代を通じて62万石の所領を治め続けた。この展覧会では、仙台藩の基礎を築いた初代藩主政宗から、戊辰戦争での敗戦によって藩主の座を降りた13代慶邦までの人物像を絵画や自筆書状、具足などを通して紹介した。本展覧会は歴代藩主の画像が一堂に会し、歴代藩主の具足が、前期・後期に分けて全て展示される貴重な機会となった。また、当年４月に南魚沼市の個人から寄贈された「仙台領分名所手鑑」が展示され話題を呼んだ。市民の方からは初代政宗以外の藩主の政治や人物像を知ることができ、身近に感じるようになったとご好評いただいた。

展示構成

第１章　仙台藩主勢ぞろい！初代　伊達政宗
第２章　仙台藩主勢ぞろい！
　　２代伊達忠宗から７代重村まで
第３章　仙台藩主の具足と甲冑像が勢ぞろい！
第４章　仙台藩主勢ぞろい！
　　８代伊達斉村から13代慶邦まで
第５章　歴代藩主たちの重要文書と印章勢ぞろい！

印刷物

ポスター	Ｂ２判　1,000部	Ｂ３判　400部
チラシ	Ａ４判　20,000部	
リーフレット	Ａ４判６頁　16,000部	

Ｂ３ポスター

リーフレット「仙台藩主勢ぞろい！　とらのまき」

関連行事

(1)　しろ・まち講座
５月25日（土）13：30～15：00　博物館ホール
参加281名
展示解説「13人の仙台藩主」
講師：水野沙織（当館学芸員）

(2)　記念講演会・討論会
６月15日（土）13：30～16：00　博物館ホール
参加202名
講演①「伊達家奥向の女性と藩政」
講師：菊池慶子氏（東北学院大学教授）
講演②「少年藩主と天保の危機」
講師：佐藤大介氏（東北大学准教授）
討論会「仙台藩を守る－藩主と夫人たち－」
参加者：講師両名、菅野正道（市史編さん室長）、
菅原美咲・水野沙織（当館学芸員）

記念講演会・討論会

(3) 親子参加型イベント
「仙台市博物館＆武将隊からの挑戦状！」
クイズにこたえてステージを見よう
6月9日（日） 9：00～11：30
クイズ：企画展会場　ステージ：博物館ホール
クイズ参加223名　ステージ観覧200名

(4) ミュージアムセミナー
5月29日（水） 参加13名

(5) 友の会広報セミナー
5月27日（月） 参加99名

(6) 市民センター・市民団体等への展示解説
9件　参加308名

展示室風景

展示資料目録

※◎は重要文化財　○は重要美術品　□は仙台市指定文化財
◇：松島町指定文化財　伊文：伊達家寄贈文化財

第1章　藩主勢ぞろい！　伊達政宗

仙台藩を始めた　初代　政宗

1．□伊達政宗甲冑像　狩野探幽筆　江戸初期　1幅　伊文
2．伊達政宗夫妻像　狩野玄徳筆　雲居希膺賛　江戸前期　1幅　個人蔵
3．□性山公治家記録　永禄10年8月3日条　1冊　伊文
4．陽徳院画像（伊達政宗夫人）　岡倉秋水模写蘭洲彝徳原図　明治26年（1893）　1幅　伊文
5．徳川家康領知覚書　大崎少将（伊達政宗）宛　慶長5年8月22日　1巻　伊文
6．刈田郡以下七ケ所知行目録　（伊達政宗）宛　（慶長5年・1600）　伊文
7．徳川家光領知判物　仙台中納言（伊達政宗）宛　寛永11年8月4日　1巻　伊文
8．近江領知行目録写　松平陸奥守（伊達政宗）宛　寛永11年8月17日　1通　伊文
9．□伊達政宗和歌詠草「入りそめて」　伊達政宗筆　江戸初期　1幅　伊文
10．黒羅背板地胴服　伊達政宗所用　江戸初期　1領　館蔵
11．◎黒漆五枚胴具足　兜名「宗久」　伊達政宗所用　桃山　1領　伊文
12．□黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用　桃山～江戸　1領　館蔵
13．○菊花図屏風　伊達政宗和歌書き込み　寛永5年　4曲1隻　館蔵
14．大崎八幡来由記　松原探水筆　享保元年　1巻　大崎八幡宮蔵
15．御修復帳のうち樋森与左衛門屋敷の図　江戸中～後期　1冊　東北大学大学院工学研究科
16．伊達政宗書状　菅野勝三郎（重成）宛　年月日未詳　1幅　館蔵
17．伊達政宗書状　おさ五宛　（元和6年）5月18日　1通　伊文
18．伊達政宗書状　牟宇姫宛　（元和8年）4月22日　1幅　館蔵
19．道の記　伊達政宗筆　江戸初期　1巻　伊文
20．□金製ブローチ　瑞鳳殿発掘資料　17世紀　1点　館蔵
21．□太刀拵　瑞鳳殿発掘資料　江戸初期　1口　館蔵
22．□伊達政宗画像　狩野安信筆　延宝4年頃　1幅　伊文

第2章　藩主勢ぞろい！　2代忠宗から7代重村まで

藩の基礎を固めた　2代　忠宗

23．□伊達忠宗像画像　狩野安信筆　延宝4年頃　1幅　伊文
24．伊達忠宗書出写　古内主膳正（重広）ほか5名宛　寛永13年11月20日　1通　伊文
25．江戸幕府老中奉書　松平越前守（伊達忠宗）宛　（寛永15年）7月16日　1通　伊文
26．名取郡馬場村検地帳　寛永19年　1冊　仙台市教育委員会蔵
27．和歌戯筆「里とをき」　伊達忠宗筆　江戸前期　1幅　伊文

28. 桜花貼込料紙和歌書込「桜色に」 伊達忠宗筆　江戸前期　1面　伊文
29. 仙台神社絵図のうち東照宮　江戸後期　1帖　伊文
30. 伊達忠宗・天麟院和歌色紙　江戸前期　1幅　伊文
31. 伊達忠宗書状　松平美作（伊達綱宗）宛　（明暦2年）正月18日　1通　伊文

隠居生活は芸術三昧？　3代　綱宗

32. ◇伊達綱宗画像　筆者不明・天嶺性空賛　江戸前期　1幅　瑞巌寺蔵
33. 大条宗頼他十三名連署状案　立花飛騨守（忠茂）・伊達兵部太輔（宗勝）宛　万治3年7月9日　1通　伊文
34. 久我通誠書状　冬君（長松院）宛　（正徳元年）2月9日　1通　伊文
35. 長松院（伊達吉村夫人）消息　嘉志ん（伊達綱宗）宛　正徳元年頃　1通　伊文
36. 霊昭女・花鳥図　伊達綱宗筆　江戸前期　3幅対　伊文
37. 孔雀鳳凰図　江戸前期　双幅　伊文
38. 波に燕図　伊達綱宗筆　江戸前期　1面　伊文
39. ◎帯　三沢初子所用　寛文・延宝年間　3条　伊文
40. 伊達綱宗書状　陸奥守（伊達綱村）宛　（貞享3年）2月8日　1通　伊文

32. 伊達綱宗画像　瑞巌寺

歴史・芸術・信仰に尽くした　4代　綱村

41. □伊達綱村画像　無明浄明筆・香国道蓮賛　享保4年　1幅　伊文
42. ◇伊達綱村画像　筆者不明・天嶺性空賛　享保17年　1幅　瑞巌寺蔵
43. 伊達綱村謝罪状　安芸（伊達宗元）・左京（三沢宗直）宛　（元禄6年）3月26日　1通　個人蔵
44. 両足山志　忌峰海晧筆　享保19年（1734）　1冊　館蔵
45. 山号・寺号「両足山大年禅寺」 伊達綱村筆　元禄10年　2月18日　1幅　館蔵
46. 学恵茶湯志　伊達綱村題箋　江戸（18世紀）　1冊　館蔵
47. 伊達綱村治家記録編纂意見状　田辺氏宛　（元禄15年・1702）閏8月24日　1通　伊文
48. □伊達綱村が編さんを命じた書物「治家記録」「伊達出自世次考」「伊達正統世次考」 江戸前期　3冊　伊文
49. 金塗軍配団扇　伝伊達朝宗所用　室町　1握　伊文
50. 蓮図　伊達綱村筆　江戸前期　1幅　伊文
51. 伊達綱村釈迦堂建立本願覚書　年未詳3月4日　1通　伊文
52. 浄眼院消息　（伊達綱村宛）（天和3年）4月29日　1通　伊文
53. 伊達綱村遺言覚書　（伊達吉村筆）（享保4年）6月22日　1通　伊文

藩財政を黒字に！歌・絵・書・気配りの達人　5代　吉村

54. □伊達吉村自画像　伊達吉村筆　江戸中期　1幅　伊文
55. □長松院画像（伊達吉村夫人）　忠岡三千子筆　江戸中期　1幅　伊文
56. 伊達宗房画像　絵所徳栄貞綱筆　鵬雲東搏賛　貞享3～4年　1幅　覚照寺蔵

56. 伊達宗房画像　絵所徳栄貞綱筆　覚照寺

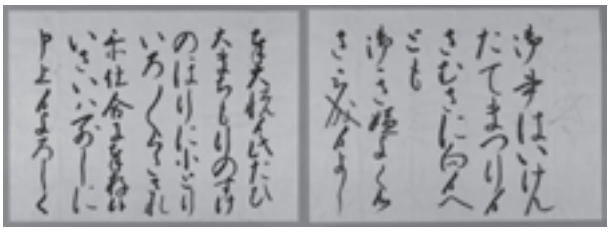
57. 伊達宗房書状　伊達卯之助（吉村）宛　（貞享2年か）6月28日　1通　伊文
58. □獅山公治家記録より「百姓条目」 享保4年2月6日条　1巻　伊文
59. □獅山公治家記録より「学式」 元文元年11月1日条　1冊　伊文
60. 伊達吉村意見状　越前守（伊達宗村）宛　（寛保3年）7月21日　1通　伊文
61. 久我通誠口上書　（伊達吉村宛）（宝永7年）11月19日　1通　伊文
62. 聖徳太子孝養像　伊達吉村筆　正徳元年～享保5年　1幅　伊文
63. 六歌仙図帖　伊達吉村筆　詞書：堂上方　元文元年（1736）2月　1帖　伊文
64. 六所玉河和歌御手鑑　伊達吉村筆　江戸中期　1帖　伊文
65. 伊達吉村書状　勝千代（伊達宗村）宛　（享保9年）7月15日　1通　伊文
66. 隣松集　左近中将吉村（伊達吉村）作　近衛基熙他5名点添削　享保3年閏10月下旬　7冊　伊文

倹約続行、父譲りの歌の腕前　6代　宗村

67. □伊達宗村画像　菊田栄羽筆　江戸中期　1幅　伊文

68. 雲松院画像(伊達宗村夫人)　忠岡三千子筆　江戸中期　1幅　伊文

69. 伊達勝千代（宗村）書状　大ゑたけんもつ（大条道頼）宛（享保9年）10月5日　1通　伊文



69. 伊達勝千代書状（部分）　大ゑたけんもつ宛

70. 長松院（伊達吉村夫人）教訓状　藤原ノむね村（伊達宗村）宛　享保17年初春　1巻　伊文

71. □忠山公治家記録　延享元年5月19日条　1冊　伊文

72. 伊達吉村意見状　（伊達宗村宛）（元文2年）5月7日　1通　伊文

73. 伊達宗村書状　上（伊達吉村）宛　（寛延3年）5月23日　1通　伊文

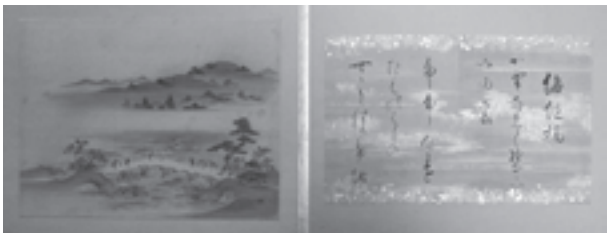
74. 仙台領分名所手鑑　伊達宗村筆・狩野栄川画　江戸中期　1帖　館蔵

75. 花影集　伊達宗村作・吉村添削　明和9年冬識　3冊　伊文

76. 馬図　伊達宗村筆　江戸中期　1幅　伊文

77. 江戸上屋敷絵図　寛保3年以降　1幅　館蔵

78. 伊達宗村遺言状　奉行衆中宛　（宝暦4年）　伊文



74. 仙台領分名所手鑑　伊達宗村筆・狩野栄川画

養賢堂の名付け親　7代　重村

79. □伊達重村画像　狩野栄鶴筆　江戸後期　1幅　伊文

80. 観心院画像（伊達重村夫人）　土井利徳筆　江戸後期　1幅　伊文

81. 書「蓬海」　羽林重村（伊達重村）筆　宝暦6年以降　1幅　伊文

82. 柴田成義遠藤善信連署意見書　伊達重村宛　（宝暦6年）9月1通　伊文

83. 伊達重村書状案　（堀田正亮宛）　年未詳5月19日　1通　伊文

84. 伊達重村書状案　（岡村左門宛）（宝暦10年）9月26日　1通　伊文

85. 伊達重村教諭書案　中村日向（景貞）宛　年未詳3月10日　1通　伊文

86. 御奥方格式　天明7年頃　10冊　伊文

87. 字指　伊達宗村・重村所用　江戸中期　2本　伊文

88. 掬月集　（伊達重村作）　近衛内前他3名添削　江戸中期　12冊　伊文

第3章　藩主の具足と甲冑像が勢ぞろい！

89. □黒漆五枚胴具足　伊達忠宗所用　江戸前期　1領　伊文

90. □黒漆五枚胴具足　伊達綱宗所用　江戸前期　1領　伊文

91. □黒漆五枚胴具足　伊達綱村所用　江戸前期　1領　伊文

92. □金小札五枚胴具足　伊達吉村所用　江戸中期　1領　伊文

93. □黒漆鳩胸五枚胴具足　伊達宗村所用　江戸中期　1領　伊文

94. □黒漆五枚胴具足　伊達重村所用　江戸中期　1領　伊文

95. 金小札五枚胴具足　伊達斉村所用　江戸中期　1領　東北歴史博物館

95. 金小札五枚胴具足　伊達斉村所用　東北歴史博物館

96. 白糸威腹巻　伊達斉村所用　江戸中期　1領　館蔵

97. □金小札五枚胴具足　伊達周宗所用　江戸後期　1領　伊文

98. □黒漆五枚胴具足　伊達斉義所用　江戸後期　1領　伊文

99. □黒漆五枚胴具足　伊達斉邦所用　天保9年　1領　館蔵

100. □紺糸威銅丸具足　伊達慶邦所用　元治2年　1領　伊文

101. ◇伊達吉村甲冑像　狩野古信筆　江戸中期　1幅　瑞巌寺蔵

102. ◇伊達宗村甲冑像　菊田栄羽筆　江戸中期　1幅　瑞巌寺蔵

103. ◇伊達重村甲冑像　土井利徳筆　江戸中期　1幅　瑞巌寺蔵

104. ◇伊達斉村甲冑像　土井利徳筆　江戸後期　1幅　瑞巌寺蔵

105. ◇伊達周宗甲冑像　荒川養湖筆　江戸後期　1幅　瑞巌寺蔵

106. ◇伊達斉宗甲冑像　荒川養湖筆　江戸後期　1幅　瑞巌寺蔵

107. ◇伊達斉義甲冑像　菊田伊徳筆　江戸後期　1幅　瑞巌寺蔵

108. ◇伊達斉邦甲冑像　菊田伊徳筆　江戸後期　1幅　瑞巌寺蔵

第4章　8代伊達斉村から13代慶邦まで

改革の道半ばにして…　8代　斉村

109. □伊達斉村像画像　土井利徳筆　江戸後期　1幅　伊文

110. □信証院画像（伊達斉村夫人）　土井利徳筆　江戸後期　1幅　伊文

111. 椿図　伊達斉村筆　天明６年　１幅　個人蔵
112. 枝柿図　伊達斉村筆　江戸後期　１幅　伊文
113. 伊達斉村申渡状控　平賀蔵人（義雅）・古田舎人（良智）（寛政２年）12月８日　１通　伊文
114. 佐伯是保風俗等書上　（伊達慶邦宛）（嘉永５年12月）１冊　伊文
115. □六代治家記録　桂山公十二　寛政６年４月16日条　１冊　伊文
116. 二十首組題和歌「沢蛍」 斉村（伊達斉村） 筆・（伊達重村点添削） 江戸後期　３点　伊文
117. 古歌小色紙　三夕暮　（伊達斉村筆） 江戸後期　３枚　伊文

生後６ケ月で藩主　９代　周宗

118. □伊達周宗像画像　奥山常雄筆　江戸後期　１幅　伊文
119. 伊達周宗書状　御祖父宛　年未詳２月　１通　伊文
120. 堀田正敦書状　政千代（伊達周宗）宛　（文化５年）12月22日　１通　伊文
121. 書「咸寧」 松平政千代（伊達周宗）筆　文化元年　１枚　伊文
122. 和歌短冊　政千代（伊達周宗）筆　江戸後期　数点　伊文

105. 伊達周宗甲冑像　荒川養湖筆　瑞巌寺

女性たちに支えられた　10代　斉宗

123. □伊達斉宗画像　手戸盛之筆　江戸後期　１幅　伊文
124. □信恭院画像（伊達斉宗夫人） 手戸盛之筆　江戸後期　１幅　伊文
125. 伊達斉宗書状　摂津守（堀田正敦）宛　年未詳12月23日　館蔵
126. 信恭院（伊達斉宗夫人）消息　（伊達斉宗宛）（文化13年）７月　１通　伊文
127. 本光院（伊達斉宗側室）消息　（伊達斉宗宛）文化12～13年頃　１通　伊文
128. 正操院（伊達重村側室）消息　（伊達斉宗宛）（文化13年）６月12日　１通　伊文
129. 正操院（伊達重村側室）消息　（伊達斉宗宛）（文政元年）４月22日　１通　伊文
130. 雉矢篇　伊達斉宗作・伊達斉義編　文政６年３月識　３冊　伊文
131. 羨花集　伊達斉宗作　江戸後期　９冊　伊文

伊達家に婿入り　11代　斉義

132. □伊達斉義画像　堀田正衡筆　江戸後期　１幅　伊文
133. □真明院画像（伊達斉義夫人） 小田島椿所筆　江戸後期　１幅　伊文
134. 伊達斉義申渡書付控　奉行中宛　（文政８年）９月12日　１通　伊文
135. 和歌詠草「詠心静酌春酒」 左少将斉義（伊達斉義）筆　江戸後期　１通　伊文

飢饉で危機　自ら摂食　12代　斉邦

136. □伊達斉邦画像　菊田伊徳筆　江戸後期　１幅　伊文
137. □勁松院画像（伊達斉邦夫人） 江戸後期　１幅　伊文
138. 馬図　伊達藤三郎（斉邦）筆　江戸後期　１面　個人蔵
139. 伊達斉邦申渡書控　奉行中宛　（天保５年）３月　１通　伊文
140. 伊達斉邦書付控　（天保７年）８月　１通　伊文
141. 真明院（伊達斉義夫人）消息　中将（伊達斉邦）宛（天保９年）　１通　伊文
142. 伊達斉邦書状　（伊達慶邦宛）　年未詳７月晦日　１通　伊文
143. 伊達宗充書状　上（伊達斉邦）宛　（天保８年）３月16日　１通　伊文
144. 天保六年伊達斉邦江戸登城行列図　原本：武藤弘毅筆　明治31年（1898）写　１巻　館蔵
145. □六代治家記録　龍山公二十二　天保９年８月29日～９月20日条　１冊　伊文
146. 和歌短冊「鷹狩」「恨恋」 斉邦（伊達斉邦）筆　江戸後期　２点　伊文

137. 勁松院画像（伊達斉邦夫人）

62万石の幕引き　13代　慶邦

147. 伊達慶邦画像　　明治　１幅　伊文
148. □備晃院画像（伊達慶邦夫人） 堀田正衡筆　江戸末期　１幅　伊文
149. □伊達慶邦画像　印藤真楯筆　明治　１面　伊文
150. 伊達慶邦藩政改革覚　　江戸後期　１通　伊文
151. 伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控　（安政３年７月）１通　伊文

152. 開成丸調練帰帆図　三浦乾也画　安政５年　１幅　館蔵
153. 伊達慶邦布告控　慶応４年５月　１通　伊文
154. 行政官沙汰書　伊達亀三郎宛　明治元年12月12日　１通　伊文
155. 楽山公御遺稿　伊達慶邦著・伊達邦宗編　明治44年　数点　伊文

第５章　藩主の知行宛行状・印章が勢ぞろい！

156. 伊達政宗領知黒印状　菅野正三郎宛　寛永４年５月24日　１通　館蔵
157. 伊達忠宗領知黒印状　菅野満太郎宛　寛永21年８月14日　１通　館蔵
158. 伊達綱村領知朱印状　菅野正左衛門宛　天和３年　１通　館蔵
159. 伊達吉村領知朱印状　菅野庄左衛門宛　宝永元年６月　１通　館蔵
160. 知行割目録　菅野庄左衛門宛　宝永元年６月　１通　館蔵
161. 伊達宗村領知朱印状　菅野正左衛門宛　延享元年６月　１通　館蔵
162. 伊達重村領知朱印状　菅野牛之助宛　宝暦８年７月　１通　館蔵
163. 伊達斉村領知朱印状　菅野勝三郎宛　寛政４年７月　１通　館蔵
164. 伊達斉宗領知朱印状　菅野勝治宛　文化９年10月　１通　館蔵
165. 伊達斉義領知朱印状　菅野勝治宛　文政３年６月　１通　館蔵
166. 伊達斉邦領知朱印状　菅野牛之助宛　文政11年６月　１通　館蔵
167. 伊達慶寿（慶邦）領知朱印状　菅野牛之助宛　天保13年８月　１通　館蔵
168. 伊達政宗所用印　象牙製　江戸前期　１顆　伊文
169. 伊達忠宗所用印　木製　江戸前期　１顆　伊文
170. 伊達綱宗所用印　象牙製　江戸前期　１顆　伊文
171. 伊達綱村所用印　蠟石製　江戸前期　１顆　伊文
172. 伊達宗村所用印　蠟石製　江戸中期　１顆　伊文
173. 伊達宗村所用花押印　木製　江戸中期　１顆　伊文
174. 伊達重村所用印　蠟石製　江戸中期　１顆　伊文
175. 伊達重村所用花押印　木製　江戸中期　１顆　伊文
176. 伊達斉村所用印　蠟石製　江戸後期　２顆　伊文
177. 伊達斉村所用花押印　木製　江戸後期　１顆　伊文
178. 伊達周宗所用印　象牙製　江戸後期　１顆　伊文
179. 伊達斉宗所用印　蠟石製　江戸後期　１顆　伊文
180. 伊達斉宗所用花押印　木製　江戸後期　１顆　伊文
181. 伊達斉義所用印　蠟石製　江戸後期　１顆　伊文
182. 伊達斉義所用花押印　木製　江戸後期　１顆　伊文
183. 伊達斉邦所用印　蠟石製　江戸後期　１顆　伊文
184. 伊達慶邦所用印　蠟石製　江戸後期　１顆　伊文
185. 伊達慶邦所用花押印　木製　江戸後期　１顆　伊文
186. 徳川家綱一字状　松平美作守（伊達綱宗）宛　承応３年12月22日　１通　伊文
187. 徳川家斉一字状　松平美作守（伊達斉村）宛　天明７年９月28日　１通　伊文
188. 徳川家斉一字状　松平陸奥守（伊達斉宗）宛　文化９年３月15日　１通　伊文
189. 徳川家斉一字状　松平陸奥守（伊達斉義）宛　文政２年８月11日　１通　伊文
190. 徳川家斉一字状　松平陸奥守（伊達斉邦）宛　文政11年２月18日　１通　伊文
191. 徳川家慶一字状　松平筑前守（伊達慶邦）宛　天保９年２月19日　１通　伊文
192. 伊達綱村一字状　伊達助三郎宛　元禄３年12月14日　１通　伊文
193. 伊達斉義一字状　伊達安芸宛　文政３年７月朔日　１通　個人蔵

特別展
滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美
「近江巡礼　祈りの至宝展」

会　　期　平成25年７月12日（金）～８月25日（日）
開催日数　40日間
観覧者数　18,917人（１日平均　473人）
観 覧 料　一般1,100円（900円）、高校・大学生500円、小・中学生200円
※10名以上の団体は当日料金の各100円引。（　）内は前売り料金。
主　　催　「近江巡礼　祈りの至宝展」仙台展実行委員会（仙台市博物館、ＴＢＣ東北放送、河北新報社、滋賀県、滋賀県立琵琶湖文化館
後　　援　産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、ＮＨＫ仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ東日本放送、DateFM、ラジオ３ＦＭ76.2、ＩＢＣ岩手放送、テレビユー山形、テレビユー福島
企画協力　毎日新聞社
協　　賛　富士通株式会社、野崎印刷紙業株式会社

かつて「近江」と呼ばれた滋賀県は、豊かな琵琶湖の恵みによって古くから文化や産業が栄えてきた地域である。奈良や京都の都に近く、大津京や紫香楽宮といった宮城が営まれた歴史に加えて、琵琶湖を望む比叡山は日本仏教の一大中心として、様々な宗派が生み出される母体となった。滋賀県には仏教美術を中心に現在も多くの文化財が伝えられており、それらの文化財を守り伝えるうえで大きな役割を果たしてきた施設が、滋賀県立琵琶湖文化館である。

多くの県民の寄附によって昭和36年（1961）に開館した同館には、実に滋賀県内の国指定文化財の１割、県指定文化財の４分の１が寄託されている。本展覧会では、現在休館中である同館の寄託品・収蔵品を中心として、日本の文化が集約されたような滋賀県の至宝を紹介した。

なお、本展は静岡市美術館・仙台市博物館・島根県立古代出雲歴史博物館の３館を巡回するものであり、当館が２会場目であった。

また関連事業として、滋賀県・滋賀県立琵琶湖文化館主催による写真パネル展「水と神と仏の近江」が、展覧会に先立つ７月２日（火）～８月25日（日）にかけて開催された。当館１階エントランスホールとギャラリーを会場として、写真家・寿福滋氏が撮影した滋賀の風景写真や文化財写真50点を大型パネルで紹介し、たいへん好評であった。

展示構成
第１部：近江の仏教美術、神道美術
第２部：近世絵画

印刷物
ポスター　Ｂ２判　1,820枚、Ｂ３判1,170枚
チラシ　　Ａ４判　135,000枚
割引券　　160,000枚
図録　　Ａ４判　180ページ

Ｂ２ポスター

記念行事・関連行事
⑴　記念講演会
①「近江　祈りの至宝　―神仏の美―」
７月13日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加180名
講師：井上ひろ美氏
（滋賀県立琵琶湖文化館学芸員）
②「近江の霊場と信仰世界」
８月３日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加170名
講師：佐藤弘夫氏
（東北大学大学院文学研究科教授）

③しろ・まち講座
「近江巡礼　滋賀の風景と文化財の魅力」
８月10日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加141名
講師：酒井昌一郎（当館学芸員）

記念講演会②

(2)　夏休みこどもギャラリートーク
「近江（滋賀県）の文化をしらべよう」
７月20日（土）・21日（日）
特別展会場　参加25名

夏休みこどもギャラリートーク

(3)　特別展記念コンサート
「姫神コンサート」
７月27日（土）13：30～14：30
博物館ホール　参加172名
出演：姫神／星吉紀

(4)　ミュージアムセミナー
７月17日（水）・20日（土）　参加33名

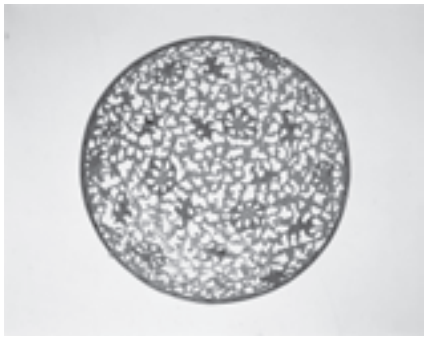
(5)　友の会広報セミナー
７月16日（火）　参加116名

(6)　各種団体への展示解説
３件　参加72名

展示資料目録

※●は国宝、◎重要文化財、□は県指定文化財、
◇は市指定文化財

1．◎両界曼荼羅図　南北朝　２幅　園城寺
2．◎釈迦十六善神像　鎌倉　１幅　園城寺
3．鎮宅霊符神像　室町　１幅　園城寺
4．◎孔雀文磬　平安　１面　園城寺
5．◎園城寺尺　室町　２枚　園城寺
6．□智証大師像　南北朝　１幅　園城寺
7．仏供盤　鎌倉　２枚　園城寺
8．金剛盤　室町　１面　園城寺
9．五鈷鈴　室町　１口　園城寺
10．羯磨　鎌倉　１口　園城寺
11．五鈷杵　鎌倉　１口　園城寺
12．●六道絵　15幅のうち　人道生老病死四苦相図　鎌倉　１幅　聖衆来迎寺
13．六道絵（国宝模本）　江戸　文政５年　15幅　聖衆来迎寺
14．◎薬師如来立像　奈良　１軀　聖衆来迎寺
15．□大黒天像　南北朝　暦応２年　１軀　聖衆来迎寺
16．◎紺紙銀字法華経８巻のうち　平安　１巻　延暦寺
17．◎紺紙金銀交書法華経８巻のうち　平安　１巻　延暦寺
18．□真盛上人像　室町　文亀３年　１幅　西教寺
19．◎六道絵　中国・南宋　６幅　新知恩院
20．◎帝釈天立像　平安　１軀　正法寺
21．●透彫華籠　16枚のうち　平安～鎌倉　２枚　神照寺



21．国宝　透彫華籠　神照寺

22．◇二天立像（持国天・多聞天）　平安　２軀　光照寺
23．◎透彫華鬘　鎌倉　寛元元年　１面　長命寺
24．◎菊花螺鈿鞍　前輪欠　黒漆鞍　黒漆鐙　平安～鎌倉　２背・１双　大嶋神社奥津嶋神社
25．◎釈迦如来立像　鎌倉　１軀　荘厳寺
26．◎空也上人立像　鎌倉　１軀　荘厳寺
27．◎聖観音像（寺伝山越観音像）　平安　１軀　荘厳寺
28．□普賢菩薩坐像　鎌倉～南北朝　１軀　志那神社
29．□聖観音立像　鎌倉　建暦３年　１軀　観音寺
30．◇誕生釈迦仏像　奈良　１軀　大光寺
31．□僧形八幡神坐像　平安　１軀　金勝寺
32．□女神坐像　平安　１軀　金勝寺
33．□紺紙金字金光明経　巻第一　平安　１巻　金勝寺

34. □不動明王二童子像　鎌倉　1幅　柏木神社
35. □薬師如来坐像　平安　1軀　大日寺
36. □版本法華経（百済寺版）　室町　明徳2年　8巻　櫟野寺
37. ◎如意輪観音像　鎌倉　1幅　法蔵寺
38. □相撲人形　鎌倉　1組　御上神社
39. 神馬　口取添　鎌倉　1組　御上神社
40. ◎千手観音二十八部衆像　鎌倉　1幅　大清寺
41. ◎仏涅槃図　鎌倉　1幅　正法寺
42. ◎阿弥陀如来坐像　平安　1軀　洞照寺

42. 重要文化財　阿弥陀如来坐像　洞照寺

43. ◎寂室元光墨蹟　南北朝　貞治5年　2幅　退蔵寺
44. ◎日吉山王神像　鎌倉　1幅　百済寺
45. ◎唐草文磬　平安　1面　百済寺
46. ◎不動明王二童子像　鎌倉　1幅　成菩提院
47. □普賢十羅刹女像　南北朝　1幅　成菩提院
48. ◎地蔵菩薩立像　平安　1軀　東南寺
49. □薬師十二神将像　南北朝　1幅　新宮神社
50. ◎山王権現像　鎌倉～南北朝　1幅　浄厳院
52. ◎透彫華鬘　鎌倉　1枚　金剛輪寺
53. □文殊菩薩像　鎌倉　1幅　西明寺
54. 仏涅槃図　南北朝　1幅　西明寺
56. □日吉山王曼荼羅図　南北朝　1幅　正源寺
57. 両界曼荼羅図　鎌倉　2幅　琵琶湖文化館
58. 源平合戦図　江戸　6曲1双　琵琶湖文化館
59. 山法師強訴図　江戸　6曲1隻　琵琶湖文化館
60. 洋犬図　波多野等有筆　江戸　2曲1隻　琵琶湖文化館
61. 牡丹図　中国・明　2幅　琵琶湖文化館
62. 日吉山王祭礼図　江戸　六曲1双　個人
63. 南山寿星図　狩野栄信筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
64. 巌上咆哮猛虎図　岸岱筆　江戸　文久2年　1幅　琵琶湖文化館
65. 寒華傲雪図　山本梅逸筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
66. 夏山飛瀑図　中林竹洞筆　江戸　天保12年　1幅　琵琶湖文化館
67. 鳥禽図　伊藤若冲筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
68. 長春孔雀図　張月樵筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
69. 十八名家図　横井金谷筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
70. 蓬莱群仙図　紀楳亭筆　江戸　享和3年　1幅　琵琶湖文化館
71. 楽山楽水図　塩川文麟筆　明治　明治9年　2幅　琵琶湖文化館
72. 猪図　松村呉春筆　江戸　享和3年　1幅　琵琶湖文化館
73. 琵琶湖図　円山応震筆　江戸　文政7年　1幅　琵琶湖文化館
74. 猿猴図　森狙仙筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
75. 十二月図　月岡雪鼎筆　江戸　6曲1双　琵琶湖文化館
76. 柳汀双禽図　宋紫石筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
77. □叡山図　曾我蕭白筆　江戸　1幅　琵琶湖文化館
78. ◎楼閣山水図　曾我蕭白筆　江戸　6曲1双　近江神宮
79. 花鳥図（フェノロサ寄贈）　室町　1幅　園城寺
80. 瀟湘八景図　狩野安信・狩野益信筆　江戸　2巻　聖衆来迎寺
81. □東王父西王母図　海北友松筆　桃山　6曲1双　浄信寺

※作品番号は図録に掲載された番号であり、当館で展示していないNo.51、No.55は欠番である。

展示室風景

特別展　慶長遣欧使節出帆400年・ユネスコ世界記憶遺産登録記念

「伊達政宗の夢
―慶長遣欧使節と南蛮文化」

会　　期　平成25年10月４日（金）～11月17日（日）
前期：10月４日（金）～10月27日（日）
後期：10月29日（火）～11月17日（日）

開催日数　40日

観覧者数　25,590人（１日平均640人）

観 覧 料　一般・大学生800円（前売600円）
高校生600円　小・中学生400円

主　　催　「伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」実行委員会（仙台市博物館、河北新報社、ＴＢＣ東北放送）、宮城県ミュージアム復興事業実行委員会

共　　催　ＮＨＫ仙台放送局

協　　力　イタリア大使館、スペイン大使館、メキシコ大使館、キューバ大使館、エールフランス航空、アリタリアーイタリア航空、日本貨物航空

協　　賛　キヤノンマーケティングジャパン、ふじや千舟、サントリーホールディングス

後　　援　宮城県、宮城県教育委員会、毎日新聞社仙台支局、朝日新聞社仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ東日本放送、DateFM、ラジオ３ＦＭ76.2

慶長遣欧使節と呼ばれるその一行は、慶長18年（1613）、スペイン領メキシコとの直接貿易と領内への宣教師派遣を要請するため、家臣支倉常長と宣教師ルイス・ソテロとを大使として、メキシコ、スペイン、ローマへと外交使節を派遣した。これが慶長遣欧使節である。

今年は、使節出帆から400年目を迎えるとともに、国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち「支倉常長像」など３点がユネスコ記憶遺産へ登録される記念の年ともなった。

この展覧会では、国宝「慶長遣欧使節関係資料」をはじめ、日本国内およびヴァチカン・イタリア・スペインに残る使節関連資料やキリスト教・南蛮文化に関わる多彩な文化財によって、伊達政宗を使節派遣へと駆り立てた社会的・文化的背景や使節の実像について紹介した。

非常に熱心に観覧される方が多く、来館者の滞留時間が長かったことが特徴的であった。なお本展は、平成25年度文化庁・地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業である。

展示構成

第Ⅰ章　南蛮の異風
第Ⅱ章　武将たちの憧憬―貿易と信仰―
第Ⅲ章　いざ西欧へ！
　　―支倉常長と慶長遣欧使節―
第Ⅳ章　禁教政策とキリシタン文化
エピローグ　慶長遣欧使節のその後

印刷物

ポスター　　Ｂ２判　2,000枚、Ｂ３判　700枚
チラシ　　Ａ４判　110,000枚
割引券　　182,000枚
図録　　Ａ４判　224ページ

ポスターＢ２

関連行事

(1)　記念講演会
①「支倉常長に託した政宗の夢と徳川家康の思惑」
10月５日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加217名
講師：平川新氏（東北大学教授）
②「支倉常長の旅、肖像画の謎」
10月26日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加197名
講師：石鍋真澄氏（成城大学教授）

記念講演会①

(2) しろ・まち講座
「伊達政宗と慶長遣欧使節」
11月９日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加218名
講師：佐々木徹（当館学芸員）

(3) ミュージアムセミナー
10月９日（水）、12日（土）　参加30名

(4) 友の会広報セミナー
10月７日（月）　参加111名

(5) 各種団体・学校等への展示解説
58件（40団体、18校）　参加3,301名

※同時開催
「日本スペイン交流400周年記念写真展
支倉の道　関口照生写真展」
会場：博物館２階ミュージアムストリート内
関連講演会「支倉の道を旅して」
11月16日（土）13：30～15：00
参加100名
講師：関口照生氏（写真家）

展示室風景

展示資料目録

※●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品、■は県指定文化財、□市指定文化財、【MoW】はユネスコ記憶遺産（日本・スペイン）

1　南蛮の異風

1．日本図　ベネデット・ボルドーネ作　1528－1547年　１枚　館蔵
2．日本図　テシェイラ作　オルテリウス、アントワープ刊（1595　年初版）　１面　館蔵
3．地球儀　江戸（17世紀か）　１個　南蛮文化館
4．天球儀　江戸（17世紀か）　１個　南蛮文化館
5．◎坤輿万国全図　マテオ・リッチ作　1602年刊　６幅　宮城県図書館
6．十二都市図・世界図屏風　江戸初期（17世紀初期）　６曲１双　南蛮文化館
7．◎聖フランシスコ・ザヴィエル像　江戸初期（17世紀初期）　１面　神戸市立博物館
8．■マリア十五玄義図　桃山（17世紀初期）　１面　個人蔵
9．都の南蛮寺図　狩野宗秀筆　桃山（16世紀後半）　１面　神戸市立博物館
10．◎南蛮屏風　桃山（16世紀後半～17世紀初期）　６曲１双　南蛮文化館
11．南蛮屏風　狩野内膳筆　江戸初期（17世紀初期）　６曲１隻　文化庁
12．唐船・南蛮船図屏風　狩野孝信筆　江戸初期　（17世紀前半）　６曲１双　九州国立博物館
13．◎洋人奏楽図屏風　桃山～江戸初期（17世紀初期）　６曲１双　ＭＯＡ美術館
14．◎泰西王侯図屏風　桃山（17世紀初期）　６曲１双　長崎歴史文化博物館
15．出陣図　江戸初期（17世紀初期）　２曲１隻　神戸市立博物館
16．老師父図　江戸初期（17世紀前半）　１面　神戸市立博物館
17．●婦女遊楽図屏風（松浦屏風）　江戸前期（17世紀）　６曲１双　大和文華館

7．◎聖フランシスコ・ザビエル像　神戸市立博物館

2　武将たちの憧憬―貿易と信仰―

2－1　南蛮文化に魅せられた武将たち

18. 大友宗麟書状　岩坊宛　（永禄５年～天正２年）12月23日
　１通　斎藤報恩会
19. 大友宗麟書状　城蔵人大夫宛　（天正４年）正月11日　１通
　南蛮文化館
20. 国崩図巻　宮本高範筆　江戸時代（17～19世紀）　１巻
　南蛮文化館
21. 大友宗麟書状（断簡）　ローマ教皇グレゴリオ13世宛
　天正12年11月７日　１通　京都大学総合博物館
22. 松東院（松浦メンシア）像　狩野安信筆・江月宗玩賛
　寛永12年　１幅　松浦史料博物館
23. 大村純忠書状　イエズス会総長宛　天正10年１月27日　１通
　京都大学総合博物館
24. 有馬晴信書状　アントニオ・カラハ宛　天正19年８月20日
　１通　京都大学総合博物館
25. 伊東マンショ肖像　1585年　１枚　長崎歴史文化博物館
26. メスキータ神父肖像　1585年　１枚　長崎歴史文化博物館
27. 天正遣欧使節記　グイード・グアルティエリ著　ローマ刊
　1586年　１冊　福岡市博物館
28. 黒田如水ローマ字印書状　真鍋次大夫宛
　（慶長８年以降）正月19日　１幅　福岡市博物館
29. 御鉄砲之書（部分）　黒田甲斐守宛　稲富祐直著
　慶長２年２月　15冊１巻　福岡市博物館
30. 細川忠興ローマ字印書状　魚住加介宛　（年未詳）３月12日
　１幅　日本二十六聖人記念館
31. ◎南蛮胴具足　徳川家康所用　16世紀後半
　（仕立は桃山時代・17世紀初期）　１領　紀州東照宮

31．◎南蛮胴具足　紀州東照宮（和歌山県立博物館寄託）

32. ◎火縄銃（徳川家康関係資料）　付属品共　慶長17年　１挺
　久能山東照宮博物館
33. ◎びいどろ薬壺（徳川家康関係資料）　桃山～江戸初期
　（16世紀後半～17世紀初期）　３点　久能山東照宮博物館
34. ◎目器（徳川家康関係資料）　桃山～江戸初期
　（16世紀後半～17世紀初期）　１掛　久能山東照宮博物館
35. ◎鋏（徳川家康関係資料）　桃山～江戸初期
　（16世紀後半～17世紀初期）　１挺　久能山東照宮博物館
36. ◎鉛筆（徳川家康関係資料）　桃山～江戸初期
　（16世紀後半～17世紀初期）　１点　久能山東照宮博物館
37. ◎金銀象嵌けひきばし（徳川家康関係資料）
　桃山～江戸初期（16世紀後半～17世紀初期）　１点
　久能山東照宮博物館
38. ■金唐革陣羽織　徳川家康所用　桃山～江戸初期
　（16世紀後半～17世紀初期）　１領　紀州東照宮
39. 黒漆塗南蛮鉢歯朶前立兜　徳川家康所用、黒田長政拝領
　桃山（16世紀）　１頭　福岡市博物館
40. 白茶天鵞絨地陣羽織　伝徳川家康所用　山岡志摩重長拝領
　桃山（16世紀後半～17世紀初期）　１領　館蔵
41. ◎蒲生氏郷画像　元和７年５月７日賛　１幅　西光寺
42. 蒲生氏郷書状　蒲生郷成宛　（天正18年）11月10日　１幅
　福島県立博物館
43. 蒲生氏郷起請文　伊達政宗宛　天正18年11月28日　１通
　館蔵
44. 蒲生記　江戸（17～19世紀）　２冊　福島県立博物館
45. 黒羅紗地木綿縫取織陣羽織　桃山～江戸初期
　（16世紀後半～17世紀初期）　１領　館蔵
46. ◎緋地羅紗合羽　伝　南部信直所用　桃山
　（16世紀後半～17世紀初期）　１領　もりおか歴史文化館
47. ◎白地天鵞絨陣羽織　南部信直または利直所用　桃山
　（16世紀後期～17世紀初期）　１領　もりおか歴史文化館

2－2　宗教用具と南蛮漆器

48. 磔刑のキリスト図（片面／神の子羊図）聖牌　装飾･銅版画：
　ヨーロッパ製　17世紀初期　１点　神戸市立博物館
49. 聖フランチェスコ像（片面／聖人像）聖牌　装飾・銅版画：
　ヨーロッパ製　17世紀初期　１点　神戸市立博物館
50. 十字架を担うキリスト図聖牌　装飾・銅版画：ヨーロッパ製
　17世紀初期　１点　神戸市立博物館
51. 笞打ちのキリスト図聖牌　装飾：ヨーロッパ製、銅版画：
　日本製　17世紀初期　１点　神戸市立博物館
52. 刺繍マリア聖牌　ヨーロッパ製（スペインか）　17世紀初期
　１点　神戸市立博物館
53. 金製十字架　ヨーロッパ製　17世紀初期　１点
　神戸市立博物館
54. 磔刑キリスト像十字架　ヨーロッパ製　17世紀初期　１点
　神戸市立博物館
55. メダル付赤色十字架　ヨーロッパ製　17世紀初期　１点
　神戸市立博物館
56. 赤地刺繍心臓形聖遺物入れ　ヨーロッパ製　17世紀初期
　１点　神戸市立博物館
57. 十字文聖牌　装飾・銅版画：ヨーロッパ製　17世紀初期
　１点　神戸市立博物館
58. メダル各種　ヨーロッパ製　17世紀初期　15点
　神戸市立博物館
59. 指輪三種　ヨーロッパ製　17世紀初期　３点
　神戸市立博物館
60. ◎浮彫キリスト像(長崎奉行所キリシタン関係資料)　外国製

16世紀後期～17世紀初期か　1個　東京国立博物館

61. 貝製メダイ「聖イグナチオ」 天草（崎津）伝来
江戸時代初期（17世紀初期） 1個　日本二十六聖人記念館

62. ◎三聖人像（長崎奉行所キリシタン関係資料） 外国製
16世紀後期～17世紀初期　1面　東京国立博物館

63. ◎聖母子像(長崎奉行所キリシタン関係資料） ヨーロッパ製
16世紀後期～17世紀初期　1面　東京国立博物館

64. ◎板踏絵　無原罪の聖母（長崎奉行所キリシタン関係資料）
ヨーロッパ製　銅牌は16世紀後期～17世紀初期　1枚
東京国立博物館

65. ◎板踏絵　聖母子像（ロザリオの聖母）
（長崎奉行所キリシタン関係資料） 銅牌は16世紀後期～
17世紀初期　1個　東京国立博物館

66. ◎板踏絵　聖母子像（ロザリオの聖母）
（長崎奉行所キリシタン関係資料） 銅牌は17世紀　1個
東京国立博物館

67. ◎花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕（磔刑像） 桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　東京国立博物館

68. 花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕（磔刑像） 桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　名古屋市博物館

69. 秋草蒔絵螺鈿聖龕（聖人と天使像） 桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基
太平洋セメント株式会社蔵　津久見市寄託

70. 花鳥蒔絵螺鈿聖龕（三位一体） 桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　京都国立博物館

71. 花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕（聖母子像） 桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　九州国立博物館

71．花鳥蒔絵螺鈿聖龕　九州国立博物館

72. ＩＨＳ桜葛桐橘蒔絵螺鈿書見台　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　サントリー美術館

73. ＩＨＳ七宝繋蒔絵螺鈿書見台　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　東京国立博物館

74. ＩＨＳ花入籠目文蒔絵螺鈿書見台　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　京都国立博物館

75. ＩＨＳ草花蒔絵螺鈿聖餅箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　サントリー美術館

76. ＩＨＳ椿蒔絵螺鈿聖餅箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　京都国立博物館

77. 貝貼書簞笥　桃山～江戸初期(16世紀後半～17世紀初期)
1基　神戸市立博物館

78. 花樹鳥獣蒔絵螺鈿書簞笥　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　館蔵

79. 花樹鳥獣蒔絵螺鈿書簞笥　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1基　名古屋市博物館

80. 貝貼洋櫃　インド製　16世紀後半～17世紀初期　1合
サントリー美術館

81. 秋草蒔絵螺鈿洋櫃　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　名古屋市博物館

82. 草花蒔絵螺鈿洋櫃　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　津久見市

83. 花鳥蒔絵螺鈿洋櫃　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　東京国立博物館

84. 草花蒔絵螺鈿洋櫃　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　館蔵

85. 花樹鳥獣蒔絵螺鈿洋櫃　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合
スペイン国マドリード市、王立跣足派女子修道院
（デスカルサス・レアレス）

86. 鮫皮貼洋櫃　桃山～江戸初期（16世紀後半～17世紀初期）
1合　館蔵

87. 山水鳥獣蒔絵鞍袋形箱　桃山～江戸
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　岐阜市歴史博物館

85．花樹鳥獣蒔絵螺鈿洋櫃 王立フランシスコ
会跣足派女子修道院（デスカルサス）

88. 草花蒔絵螺鈿水盤　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1口　岐阜市歴史博物館

89. ◎楓桐菊蒔絵薬味壺　桃山（16世紀） 1個　高台寺

90. 縞蒔絵螺鈿茶箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　サントリー美術館

91. 花鳥蒔絵螺鈿角徳利及び櫃　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 6本1合　京都国立博物館

92. 南蛮人双鶏蒔絵硯箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　津久見市

93. 南蛮人蒔絵文箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　神戸市立博物館

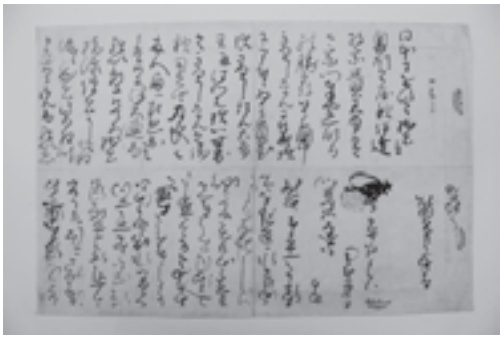
94. 南蛮人蒔絵鞍　慶長9年　1背　神戸市立博物館

95. 天正かるた版木硯箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1合　岐阜市歴史博物館

96. 天正かるた版木重箱　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期） 1組　神戸市立博物館

3　いざ西欧へ！　―支倉常長と慶長遣欧使節―

97. ◎黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用　桃山（16世紀）　1領　館蔵
98. 北条氏照書状　伊達政宗宛　（天正17年）7月29日　1通　館蔵
99. ◎山形文様陣羽織　伊達政宗所用　桃山（16世紀）　1領　館蔵
100. 御物之帳　慶長6年頃　2冊のうち1冊　館蔵
101. 青ガラスモール鉢片（仙台城本丸跡出土）　ヨーロッパ製（ヴェネツィア製か）　ガラス製　17世紀　仙台市教育委員会
102. エナメル彩ガラス片（仙台城本丸跡出土）　ヴェネツィアまたは北ヨーロッパ製　ガラス製　17世紀　仙台市教育委員会
103. 南蛮人人形　江戸初期（17世紀）　1躯　東北大学埋蔵文化財調査室
104. □煙管（瑞鳳殿発掘資料）　17世紀　2点　館蔵
105. 鉛筆（復元）（原資料：瑞鳳殿発掘資料）　17世紀　2点　館蔵
106. □金製ブローチ（瑞鳳殿発掘資料）　17世紀　1点　館蔵
107. □銀製装飾品（瑞鳳殿発掘資料）　17世紀　1点　館蔵
108. 伊達政宗上洛供衆注文　天正19年（1591）頃　1冊　館蔵
109. □貞山公治家記録　巻之十八上　文禄元年正月5日条　元禄16年編纂　1冊　館蔵
110. 伊達政宗使番之衆注文　文禄2年～慶長5年頃　1冊　館蔵
111. 仙台藩奉行知行割状　慶長13年10月22日　1面　館蔵
112. 伊達政宗書状　茂庭石見宛　（慶長17～18年）8月12日　1幅　館蔵
113. 平姓伊藤一家支倉氏系図　江戸中期（18世紀）　1巻　館蔵
114. 支倉家家譜書出　支倉右仲筆　安永2年3月14日　1帖　館蔵
115. ◎異国渡海御朱印帳・異国御朱印帳・異国近年御書草案　以心崇伝筆　江戸前期（17世紀初期）　1冊　金地院
116. 徳川家康朱印状　レルマ公宛　【MoW】　慶長14年12月28日　1通　スペイン国セビリア市、インディアス文書館
117. ◎異国日記　以心崇伝筆　江戸前期（17世紀）　2冊　金地院
118. ◎異国日記御記録雑記　正徳3年　1冊　金地院
119. ◎濃比須般国へノ返書案　以心崇伝筆　慶長17年6月　1幅　金地院
120. 木村宇右衛門覚書　上巻　木村宇右衛門可親著　慶安5年頃　1冊　館蔵
121. □貞山公治家記録　巻之二十三　元和6年8月26日条　元禄16年編纂　1冊　館蔵
122. 慶長十八年元和二年南蛮へ之御案文　江戸初期（17世紀前半）　1冊　個人蔵
123. ガレオン船模型　昭和46年11月　1点　館蔵
124. 支倉常長書状　セビリア市宛　【ＭｏＷ】　1614年9月30日　1通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
125. 支倉常長書状　レルマ公宛（フェリーペ3世への披露状）　【ＭｏＷ】　慶長19年8月26日付　1通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館



125. 支倉常長書状（和文、レルマ公宛、フェリペ3世披露状）　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館

126. ソテロ書状　レルマ公宛　【ＭｏＷ】　1614年9月30日　1通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
127. ソテロ書状　スペイン国王宛　【ＭｏＷ】　1614年10月1日　1通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
128. 世界都市図帳　ドイツ語版　ゲオルグ・ブラウン、フランツ・ホーヘンベルフ著　1572～1618年刊　6巻3冊のうち2冊　神戸市立博物館
129. 伊達政宗書状　セビリア市宛　（複製）　慶長18年9月4日　1通　館蔵
130－1. 伊達政宗によるヌエバ・エスパーニャ副王との間の和平協定案　【ＭｏＷ】　1613年10月16日　1通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
130－2. 幕府と伊達家の使節からヌエバ・エスパーニャ副王に提示された覚書　【ＭｏＷ】　※パネル資料　（1614年3～4月頃ヵ）　1通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
131. フェリーペ3世像　ペドロ・アントニオ・ビダール筆　1617年　1面　スペイン国マドリード市、プラド美術館
132. 甲冑　フェリーペ3世所用 ポンペオ・デラ・チェサ作　1590年頃　1領　スペイン国マドリード市、プラド美術館
133. 支倉常長像　アルキータ・リッチ筆　1615～1618年　1面　イタリア国、個人蔵
134. ●支倉常長像（慶長遣欧使節関係資料）【ＭｏＷ】　クロード・デリュエ　1615年頃　1面　館蔵
135. クロード・デリュエ父子の肖像　ジャック・カロー画　1632年　1面　個人蔵
136. 教皇庁日記　パオロ・アラレオーネ著　18世紀写　1冊　福岡市博物館
137. 伊達政宗遣欧使節･ローマ教皇接見記　1615年刊　1冊　館蔵
138. ●ローマ教皇パウロ五世像（慶長遣欧使節関係資料）　【ＭｏＷ】　1615年頃　1面　館蔵

139. 伊達政宗書状　ローマ教皇パウロ５世宛（和文）
慶長18年９月４日　１通
ヴァチカン市国、ヴァチカン・アポストリカ図書館
140. 伊達政宗書状　ローマ教皇パウロ５世宛（ラテン語文）
慶長18年９月４日　１通
ヴァチカン市国、ヴァチカン・アポストリカ図書館
141. 牡丹唐草薄蒔絵文箱　江戸初期（17世紀初期）　１合
ヴァチカン市国、ヴァチカン・アポストリカ図書館
142. □伊達政宗所用印章　江戸初期（17世紀初期）　１顆
館蔵
143. 伊達政宗遣欧使節記（伊達政宗遣使録）　イタリア語版
シピオーネ・アマーティ著　ジャコモ・マスカルディ刊
1615年　１冊　館蔵
144. 慶長遣欧使節ローマ行記　ジャコモ・マスカルディ刊
1615年　１冊　南蛮文化館
145. 伊達政宗遣欧使節記（伊達政宗遣使録）　ドイツ語版
シピオーネ・アマーティ著　インゴルシュタット刊　1617年
１冊　館蔵
146. 伊達政宗遣使録　ドイツ語版　シピオーネ・アマーティ著
1617年刊　１冊　天理大学附属天理図書館
147. 支倉常長銅版画　ラファエル・サデレル父あるいは子画
1615年頃　１点　館蔵
148. 支倉常長銅版画　1615年頃　１点　館蔵
149. ●ローマ市公民権証書　支倉常長宛
（慶長遣欧使節関係資料）【ＭｏＷ】　1615年11月　１面
館蔵
150. 健康的飲み物に関する論文　フランチェスコ・スカッキ著
1622年刊　１冊　館蔵
151. 燭道具　江戸後期（19世紀）　１基　瑞巌寺
152. 支倉常長・ソテロ連署書状　ヴェネツィア総督宛
1616年１月６日　１通
イタリア国ヴェネツィア市、ヴェネツィア国立文書館
153. 支倉常長・ソテロ連署書状　ヴェネツィア元老院宛
1616年２月24日　１通
イタリア国ヴェネツィア市、ヴェネツィア国立文書館
154. 支倉常長書状　スペイン国王宛　【ＭｏＷ】　1617年４月24日
１通　スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
155. 聖フランシスコ会跣足派修道士一名によって記された報告書
【ＭｏＷ】　1616年頃　１通
スペイン国シマンカス市、シマンカス文書館
156. ◎本光国師日記　巻二十一　以心崇伝筆
元和２年６月14日条　１冊　金地院
157. 支倉常長書状　勘三郎宛　（元和４年）６月22日　１通
東京大学史料編纂所
158. ●ロザリオの聖母像（慶長遣欧使節関係資料）
17世紀初期　１面　館蔵
159. ●十字架像（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１個
館蔵
160. ●十字架及びメダイ（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
１組　館蔵
161. ●十字架(慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１口　館蔵
162. ●ロザリオ（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
木製３連　館蔵
163. ●ロザリオ（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
骨製２連　館蔵
164. ●メダイ残欠（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
６片　館蔵
165. メダイ（洗礼者聖ヨハネ）　19世紀　１口　館蔵
166. ●レリカリオ（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１口
館蔵
167. ●テカ及び袋（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１具
館蔵
168. ●ディスチプリナ（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
１口　館蔵
169. ●鞍（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
木製革張り１背　館蔵
170. 鞍　ヨーロッパ製　16世紀後半　１背
スペイン国マドリード市、王宮武器庫博物館
171. ●鞍（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１背　館蔵
172. ●鐙（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　真鍮製　１双
館蔵
173. ●鐙（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　鉄製　１隻
館蔵
174. ●四方手（慶長遣欧使節関係資料）　江戸初期か
（17世紀初期）　４箇　館蔵
175. ●野沓（慶長遣欧使節関係資料）　江戸初期か
（17世紀初期）　１具　館蔵
176. ●轡（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　２口　館蔵
177. ●留金具(慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　10点　館蔵
178. ●印章（慶長遣欧使節関係資料）　江戸初期
（17世紀初期）　２顆　館蔵
179. ●短剣（慶長遣欧使節関係資料）　カスターネ形（護拳付)、
クリス形　17世紀初期　２口　館蔵
180. ●マント・ズボン（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期
１組　館蔵
181. ●祭服（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１領　館蔵
182. ●壁掛（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１枚　館蔵
183. ●縞模様布（慶長遣欧使節関係資料）　17世紀初期　１枚
館蔵
184. 駝鳥の卵　17世紀　１点　個人蔵
185. □貞山公治家記録　巻之二十八　元和６年８月26日条
元禄16年編纂　１冊　館蔵

４　禁教政策とキリシタン文化

186. ■豊臣秀吉キリシタン禁制定書　天正15年６月19日　１巻
松浦史料博物館
187. 豊臣秀吉朱印状　鍋島飛騨守宛　天正16年４月２日　１通
神戸市立博物館
188. 殉教三聖人図　スペイン製ヵ　17世紀中葉　１面
九州国立博物館

189. 伊達政宗書状　柳生又右衛門宛　（慶長18年）12月晦日
1幅　館蔵

190. 奥羽キリシタン奉答書　ローマ教皇パウロ５世宛
元和７年８月14日　１通（５通のうち）
ヴァチカン市国、ヴァチカン・アポストリカ図書館

191. イエズス会士フランシスコ報告書　ペドロ･モレホンら２名宛
（1622年）月日未詳　１通　館蔵

192. 石母田大膳宗頼書状案　ルイス・ソテロ宛　（元和９年）
７月24日　１通　天理大学附属天理図書館

193. 長谷川権六郎藤正書状　石母田大膳宛　（元和９年）
閏８月27日　１通　天理大学附属天理図書館

194. キリシタン詮索覚書　（元和10年）正月２日　１通
天理大学附属天理図書館

195. 江戸幕府老中奉書　伊達政宗宛　（寛永12年）８月27日
１通　館蔵

196. 支倉六右衛門召仕古切支丹与五右衛門改帳
支倉藤五郎常角筆　元禄６年６月晦日　１冊　館蔵

197. 切支丹不分明者支倉六右衛門死失帳　支倉藤五郎（常角）筆
元禄５年12月１日　１冊　館蔵

198. キリシタン処刑者覚書　（寛永17年ヵ）３月５日　１通
天理大学附属天理図書館

199. □義山公治家記録　巻之ニ　寛永16年12月19日条　１冊
館蔵

200. 日本殉教の精華　カルディム編　1646年初版　1650年刊
１冊　館蔵

201. 日本におけるキリスト教の勝利　ニコラス・トリゴー著、
ラファエル・サドレル画、ミュンヘン刊　1627年　１冊
神戸市立博物館

202. 細川忠利自筆絵入書状　松野織部他２名宛　（寛永15年）
３月22日　１通　天草キリシタン館

203. 島原一揆夜打覚書　（寛永15年）１通　館蔵

204. 原城図　（寛永15年）１枚　館蔵

205. ■原城攻囲陣営並城中図　江戸初期（17世紀）１幅
松浦史料博物館

206. 原城で発掘された鉄砲弾　（寛永15年）
日本二十六聖人記念館

207. ◎聖体秘蹟図指物（天草四郎陣中旗）　江戸初期
（17世紀初期）　１旒　天草キリシタン館

207. ◎天草四郎陣中旗　天草キリシタン館

208. □蓋付椀　桃山～江戸初期（16世紀後半～17世紀初期）
１合　個人蔵

209. □ヂシピリナ　ヨーロッパ製　16世紀末～17世紀初期
１口　個人蔵

210. □ロザリオと壺（マリア像）　江戸初期（17世紀）　５点
天草キリシタン館

211. 十字文瀬戸黒茶碗　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期）　１口　館蔵

212. 花鳥蒔絵螺鈿聖龕（聖母子像）　桃山～江戸初期
（16世紀後半～17世紀初期）　１基　南蛮文化館

213. マグダラのマリア像　１面　南蛮文化館

214. □悲しみのマリア像　17世紀初期　１面　館蔵

215. ◎板踏絵　キリスト像（ピエタ）
（長崎奉行所キリシタン関係資料）　日本製　銅牌は17世紀
１個　東京国立博物館

216. ◎踏絵　キリスト像（エッケ・ホモ）
（長崎奉行所キリシタン関係資料）　日本製　銅牌は17世紀
１枚　東京国立博物館

217. ◎踏絵　キリスト像（十字架上のキリスト）
（長崎奉行所キリシタン関係資料）　日本製　銅牌は17世紀
１枚　東京国立博物館

218. 絵踏の図（シーボルト『日本』図版編１（初版復刻本）より）
※資料パネル　フィリップ･フランツ･フォン･シーボルト著
原本：1832～58年　復刻版昭和50年　１冊　館蔵

エピローグ　その後の慶長遣欧使節

219. 伊達譜　下巻　内藤以貫編　寛文４～10年頃　１冊　館蔵

220. 高祖父輝宗曾祖父政宗祖父忠宗記録抜書之五
貞享２年提出　９冊のうち１冊　館蔵

221. 伊達綱基知行宛行黒印状　支倉丹助（常信）宛
寛文10年７月９日　１通　館蔵

222. 高野家記録　安永三甲午退隠記　秋
安永３年７月23日条　１冊　個人蔵

223. 遠藤陸郎撮影写真　※資料パネル　明治17年頃　18枚
館蔵

224. 政宗・ソテロ・常長会見図　佐久間徳郎筆　明治　１幅
館蔵

225. 支倉常長像　児島虎次郎模写　明治39年頃　１面
東京藝術大学

特別展

東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年

「法隆寺　―祈りとかたち」

会　　期　平成26年３月１日（土）～４月13日（日）
開催日数　25年度：26日間（３月１日～３月30日）
　　26年度：12日間（４月１日～４月13日）
　　合　計：38日間
観覧者数　25年度：19,038人（１日平均732人）
　　26年度：16,440人（１日平均1,370人）
　　合　計：35,478人（１日平均934人）
観 覧 料　一般1,300円（1,100円）、
　　高校・大学生1,000円、小・中学生600円
　　※10名以上の団体各100円引き、（　）内は
　　前売り料金
主　　催　「法隆寺―祈りとかたち」仙台展実行委員会（仙台市博物館、河北新報社、ＴＢＣ東北放送）、法隆寺
後　　援　毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、ＮＨＫ仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、DateFM、ラジオ３FM76.2、ＩＢＣ岩手放送、テレビユー山形、テレビユー福島
監　　修　水野敬三郎氏（東京藝術大学名誉教授・新潟県立近代美術館名誉館長）
特別協力　朝日新聞社
協　　力　日本通運、塩竈港運送
特別協賛　清月記
協　　賛　大伸社、富士通

開会式風景

法隆寺は、天智天皇９年（670）の落雷により全焼したと『日本書紀』に記されており、その再建には約40年を要した。その間、金堂中央には釈迦三尊像、東の間には薬師如来像と聖徳太子に関わる仏像が安置され、同寺は太子信仰寺院としての性格を強めていく。以後、法隆寺は各時代を通じて多くの信仰を集め、1993年に日本で初めて世界文化遺産に登録された。

本展では、法隆寺が大火災から復興して1300年を迎える歴史を踏まえ、法隆寺宝物をはじめとする様々な美術品を一堂に紹介した。また、岡倉天心以来、宝物の保存と継承に携わってきた東京藝術大学（東京美術学校）関係者が同寺へ奉納した絵画や工芸品をあわせて展示した。

なお、本展は仙台市博物館、東京藝術大学大学美術館、新潟県立近代美術館の３会場で開催する巡回展であり、当館が最初の会場であった。

展示構成

第１部：法隆寺―その美と信仰　法隆寺の仏教美術
第２部：法隆寺と東京美術学校
第３部：法隆寺と近代日本美術

印刷物

ポスター　Ｂ２判　1,800枚、Ｂ３判　770枚
チラシ　　Ａ４判　　130,000枚
割引券　　150,000枚
図録　　Ｂ５判　216ページ

Ｂ２チラシ

関連行事

(1)　記念講演会
　①「聖徳太子の教えと法隆寺の歴史」
　講師：大野玄妙氏（法隆寺管長）
　　「法隆寺の美術　展示作品を中心に」

講師：水野敬三郎氏（東京藝術大学名誉教授・
新潟県立近代美術館名誉館長・本展監修者）
３月１日（土）13：00～15：30
博物館ホール　参加237名
②「法隆寺　祈りと美」
３月８日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加202名
講師：長岡龍作氏
（東北大学大学院文学研究科教授）

講演会①法隆寺　大野玄妙氏

③しろ・まち講座
「展覧会のみどころ　法隆寺の美術と聖徳太子」
３月22日（土）13：30～15：00
博物館ホール　参加203名
講師：当館学芸員　酒井昌一郎

⑵　ミュージアムセミナー
３月５日（水）、８日（土）　参加37名（教員）

⑶　友の会広報セミナー
３月３日（月）　参加139名

⑷　その他一般団体・学校団体へのセミナー
平成25年度：４件　参加153名
平成26年度：１件　参加52名
合　　計：５件　参加205名

展示風景

展示資料目録

※●は国宝、◎は重要文化財、□は秋田県指定文化財
※所蔵の記載のないものはすべて法隆寺蔵

特別出品　壁画片　法隆寺若草伽藍跡出土　飛鳥（７世紀）
13点

1．◎菩薩立像　飛鳥（７世紀）　１軀
2．鋳出如来三尊像　飛鳥（７世紀）　１面
3．◎天人（金堂天蓋附属）　飛鳥（７世紀）　１軀
4．◎鳳凰（金堂天蓋附属）　飛鳥（７世紀）　１軀
5．持国天立像　飛鳥（７世紀）　１軀
6．多聞天立像　飛鳥（７世紀）　１軀
8．◎阿弥陀三尊像　奈良（８世紀）　３軀
9．●地蔵菩薩立像　平安（９世紀）　１軀
13．◎薬師如来坐像　平安（12世紀）　１軀
14．◎観音菩薩立像（伝金堂阿弥陀来脇侍）　鎌倉
貞永３年　１軀
15．聖徳太子立像（二歳像）　鎌倉（14世紀）　１軀
16．◎聖徳太子立像（孝養像）　鎌倉（14世紀）　１軀
17．◎舞楽面　平安～鎌倉（10～13世紀）　５面
18．◎法華曼荼羅　平安（12世紀）　１幅
19．聖徳太子像（水鏡御影）　鎌倉（14世紀）　１面
20．聖徳太子四天王図　鎌倉～南北朝（14世紀）　１幅
21．飾金具（金堂天蓋付属）　飛鳥（７世紀）　２枚
22．灌頂幡垂飾　飛鳥（７世紀）　２連
23．獅子鎮柄香炉　奈良（８世紀）　１柄
25．◎金銅鉢　奈良（８世紀）　１口
26．響銅香水壺　奈良（８世紀）　１口
27．響銅鋺　奈良（８世紀）　３口
28．響銅皿　奈良（８世紀）　１口
29．◎布薩水瓶　鎌倉～南北朝（14世紀）　１口
30．文欟木厨子　奈良（８世紀）　１基

9．国宝　地蔵菩薩立像

18. 重要文化財　法華曼荼羅

31. ◎布薩手洗　南北朝　建武５年　１口
35. 黄地平絹幡（戊子年銘）　飛鳥　持統天皇２年　１旒
36. 綾幡足残欠　飛鳥～奈良（７－８世紀）　４条
37. 幡足残欠　飛鳥～奈良（７－８世紀）　６条
38. 百万搭・陀羅尼　奈良（８世紀）　５基
40. ◎星曼荼羅　平安（12世紀）　１幅
41. ◎五尊像　鎌倉（13世紀）　１幅
44. ◎聖徳太子勝鬘経講讃図　鎌倉（13世紀）　１面
45. 釈迦十六羅漢図　鎌倉（14世紀）　１幅
46. 不動明王二童子像　鎌倉（14世紀）　１幅
47. ◎蓮池図　鎌倉（13世紀）　２曲１隻
48. 阿弥陀三尊像　鎌倉～南北朝（14世紀）　１幅
49. 赤童子像　南北朝～室町（14～15世紀）　１幅
50. ◎十六羅漢図　鎌倉（13世紀）　８曲１双のうち１隻
51. 聖徳太子像（摂政像）　森鳳聲作　大正15年　１軀
52. 聖徳太子像（摂政像）　高村光雲作　昭和２年　１軀
54. 聖徳太子像（摂政像）　平櫛田中彫刻・前田青邨彩色
昭和36年　１軀
55. 定胤和上像　高村光雲作　昭和５年　１軀
56. 華籠　牧光弘作　大正10年　１枚
57. 華瓶　香取秀真作　昭和15年　２口
58. 火舎　香取秀真作　昭和15年　１口
59. 如意　清水南山作　大正10年　１柄
60. 香合　清水南山作　昭和８年　１口
61. 香合　六角紫水作　大正10年　１口
62. □法隆寺金堂壁画模写　鈴木空如筆　昭和７年―昭和11年頃
５幅　大仙市
63. 法隆寺金堂壁画模写　第６号大壁（阿弥陀浄土図）部分
阿弥陀如来像：新井政明筆　勢至菩薩像：高橋新三郎筆
観音菩薩像：藁谷実筆　昭和57年度　３面　台東区
65. 聖徳太子像　安田靫彦筆　大正９年　１幅
67. 聖徳太子図　菊池契月筆　制作年不詳　１幅
静嘉堂文庫美術館
69. 上宮皇子　安村行雲筆　明治43年　１幅
東京藝術大学大学美術館
70. 来迎　武井輝三筆　大正６年　３幅
東京藝術大学大学美術館
72. 山背王入滅図　生田花朝筆　昭和初期　１幅
75. 聖徳太子像　大村西崖作　明治26年　１軀
東京藝術大学大学美術館
76. 聖霊会行列図　文豊筆　大正10年　１幅
77. 法隆寺夢殿　中川紀元筆　昭和８年頃　１面　中野美術館
79. 法隆寺夕景図（法隆寺暮色）　平塚運一筆　昭和17年　１面
81. 夢殿桜　中庭煖華筆　昭和27年　２曲１隻　個人蔵
82. 残照　後藤純男筆　昭和47年　１面　東京国立近代美術館
85. 観世音菩薩　荒井寛方筆　昭和19年頃　１幅
栃木県立美術館
86. 観世音菩薩　太田聴雨筆　昭和30年頃　１幅　宮城県美術館
87. 炎上　吉岡堅二筆　昭和51年　１面　東京国立近代美術館

※番号は展示図録によるものであり、記載のない作品は当館では展示していない。

54. 聖徳太子像　平櫛田中彫刻・前田青邨彩色

2. 資料の収集保管

国宝「慶長遣欧使節関係資料」のユネスコ記憶遺産登録について

平成25年（2013）６月19日、仙台市博物館所蔵の「ローマ市公民権証書」「支倉常長像」「ローマ教皇パウロ五世像」（いずれも国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち）の３点が、スペインから共同推薦されていた使節関係記録94点とともに「慶長遣欧使節関係資料」の名称でユネスコ記憶遺産（Memory of the World）に登録された。これは、館蔵資料が世界遺産になったことを意味している。

ユネスコ記憶遺産事業とは、世界のドキュメント（記録）遺産の保護および利用促進を目的にユネスコ（ＵＮＥＳＣＯ、国連教育科学文化機関）が行う世界遺産事業の一つで、1992年から開始されている。登録物件は、２年毎に開催されるユネスコ記憶遺産国際諮問委員会（ＩＡＣ）で審議され、ユネスコ事務局長により決定されることになっている。前回審議が行われた平成23年（2011）時点で、アンネの日記やフランスの人権宣言など245件が登録されていた。今回、その審議は韓国（光州）で開催された第11回国際諮問委員会で行われ、それにより登録物件は299件となった。

平成24年３月、日本ユネスコ国内委員会は、「慶長遣欧使節関係資料」と「御堂関白記」（公益財団法人陽明文庫蔵）の２件を日本国内推薦物件にすると発表・申請しており、今回ともにユネスコ記憶遺産として登録された。これは、福岡県田川市から推薦され、平成23年に登録された「山本作兵衛炭坑記録画・記録文書」に続くもので、日本国内では３例目となる。また、共同推薦されていたスペイン側登録資料94点は、日本側が提出する資料３点を補完する慶長遣欧使節関係の公文書で、国立インディアス文書館及びシマンカス文書館に所蔵される文書群である。支倉常長書状（スペイン国王フェリーペ３世宛）や徳川家康及び秀忠の朱印状（国王の側近レルマ公宛）、使節団への対応に関するスペイン国内での会議録などからなっている。

当館所蔵の国宝「慶長遣欧使節関係資料」24件47点は、いずれも仙台藩主伊達政宗がヨーロッパに派遣した支倉常長が持ち帰った遺品で、キリスト教関連資料だけでなく、さまざまな文物が含まれているのが特徴である。キリスト教に対する禁教と弾圧の時代を生き延びたこれらの資料群は、仙台藩と海外との交流を今に伝える貴重な生き証人であるのみならず、日本初の日欧外交使節に関わる資料としても高く評価されており、平成13年（2001）に国宝に指定されていた。今回登録された３点は、日本の使節が直接ローマ教皇パウロ５世らに謁見し、その交渉過程の中でもたらされたものであり、いずれもユネスコ記憶遺産の基準を満たし、登録にふさわしいと評価を受けたものである。これらの資料は、鎖国直前の日欧交渉の様子を直接伝える記録であるとともに、大航海時代における東西文化圏の外交史上あるいは文化交渉史上、一級の遺産であるとの理由から登録にいたった。

「日本の宝」から「世界の宝」へと評価が高まった当該資料を、今後とも後世に永く伝えていくとともに、その歴史的意義を日本のみならず広く世界へと発信していくことが、今後ますます重要な意味をもってくるように思われる。

受贈資料

平成25年度は13の個人及び団体から153件157点の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

中嶋成夫／「仙台領分名所手鑑」伊達宗村書、狩野栄川画／１点

株式会社アイショウ／黒漆五枚胴具足／１点

佐藤勝五郎／留守景宗判物　遠藤弥左衛門尉宛　天文14年12月16日／１点

宮城紀美／千葉あやの作　麻地正藍染糸菊文単衣ほか／２件２点

齋藤隆／伊達政宗書状　牟宇姫宛　（年月未詳）廿三日／１点

武市通則／高木善次郎正成書状　武市佐左衛門宛　（元和元年・1615）12月26日／１点

松本昭彦／鈴木家系図／１点

石母田晃／石母田家資料（古文書）／83件83点

石森寿幸／佐伯家系譜書　大正丁巳６年３月15日ほか／２件２点

齋藤常正、Martin Janal／伊達邦宗写真ほか／７件７点

庄司眞／「山水図」渡辺玄対筆／６件９点

桑島和典／桑島家資料（古文書）ほか／46件46点
藤縄達夫／百万塔　附陀羅尼／１件２点

下記の資料は、平成23年度に寄贈されたが､23年度の年報に記載していなかったため、本号に記載する。
勝又紳一郎／江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立　司馬江漢筆／１基

購入資料

本年度は１件３点の資料を購入した。
※資料名／数量の順に記載
「海国兵談」（稿本）　林子平著／３冊

寄託資料

平成25年度、当館では113人9779件の寄託を受け付けた。

資料修理

平成25年度は７件56点の修理を行なった。
⑴　改装
　伊達朝宗画像（伊達家寄贈文化財）　１幅
⑵　裏打ち
　奥州仙台領白石城並城下絵図(片倉家資料)　１鋪
　日新館絵図（片倉家資料）　１鋪
⑶　修理
　明治元年現状仙台城市之図　１面
　聖徳太子孝養像　伊達吉村筆　１幅
⑷　浮世絵台紙貼り
　月岡芳年画および歌川豊国三世画　１枚25点
　３枚続25点
⑸　被災ミュージアム再興事業による修理
　江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立
　司馬江漢筆　１基

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびＬＥＤを使用している。

また虫菌害対策としては、以下のように⑴加害生物及び浮遊菌調査や⑵くん蒸による殺虫・殺菌処理を行った。

⑴　加害生物及び浮遊菌調査
　目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定
　　塵埃・浮遊菌の数量把握
　実施日：①平成25年８月７日～８月21日
　　②平成25年10月９日～23日
　　③平成25年12月11日～25日
　　④平成26年２月５日～19日
　調査方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。
　　菌類はエアーサンプラーによる採集と培養による系統同定。
　調査場所：展示室･収蔵庫など館内226箇所に粘着トラップを設置。同じく25箇所においてエアーを採取。
　効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。
⑵　くん蒸庫におけるくん蒸
　目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。
　実施日：①平成25年４月13日～19日
　　②平成25年８月18日～22日
　　③平成25年５月18日～21日
　　④平成25年９月21日～25日
　　⑤平成26年２月21日～25日
　方法:すべてエキヒュームＳ（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。
　効果:供試虫･供試菌はいずれも殺滅され、殺虫･殺菌効果は100パーセントと判定された。
　その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

本年度は13館に51件64点の資料貸出を行った。
※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載
仙台市歴史民俗資料館／特別展「おやつ～今や昔の甘味事情」／百人一首の落雁型（石橋コレクショ

ン）等　2件2点／平成24年10月17日～4月19日
府中市美術館／「かわいい絵画」展／花鳥押絵貼屏風　東東洋筆等　7件8点／平成25年2月27日～5月9日
米沢市上杉博物館／特別展「戦国のメモリー～合戦図屏風と上杉の記録と」／伊達政宗書状　文禄2年3月14日（伊達家寄贈文化財）等　14件20点／平成25年3月14日～6月22日
一関市博物館／テーマ展「お姫様のお国入り－イギリスに渡った一関藩の風景画」／塩竈松島図巻等　3件3点／平成25年4月10日～6月25日
サントリー美術館／特別展「生誕250年　谷文晁」／松島真景図巻　谷文晁画等　8件11点／平成25年6月18日～9月11日
東京国立博物館／特別展「和歌の書」／重要美術品萩に鹿図屏風等　2件3点／平成25年6月24日～9月24日
郡山市立美術館／文化講座アート・テック「モノをみる力―若冲登場」／高精細複製品　白象黒牛図屏風（原品：長沢芦雪筆　エツコ＆ジョー・プライスコレクション）　1件2点／平成25年7月22日～7月25日
多賀城市教育委員会／企画展「仙台藩準一家天童氏」／貞山公治家記録巻十二等　3件3点／平成25年10月7日～12月17日
徳島城博物館／特別展「狩野栄川院と徳島藩の画人たち」／唐獅子図屏風　狩野典信筆等　4件5点／平成25年10月8日～11月27日
大阪歴史博物館／特別展「戦国アバンギャルドとその昇華　変わり兜×刀装具」／　重要文化財　黒熊毛椎形兜等　2件2点／平成25年10月22日～平成26年1月3日
東京国立博物館／「人間国宝展－生み出された美、伝えゆくわざ」／縞地仙台平袴　小松家作等　3件3点／平成25年12月12日～平成26年3月7日
佐野美術館／特別展「戦国アバンギャルドとその昇華　変わり兜×刀装具」展／　黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用　菅野重成拝領　1件1点／平成26年1月4日～平成26年2月19日
茨城県立歴史館／特別展「常陸南北朝史－そして動乱の中世へ－」／　伊達行朝像　1件1点／平成26年1月16日～3月25日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。申込は257件742点であった。

「重要文化財　黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用」はのべ26回、「国宝　支倉常長像」はのべ77回の利用があった。

重文　黒漆五枚胴具足

国宝　支倉常長像　ユネスコ記憶遺産

表２　収蔵資料一覧

平成26年３月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,077
石川洽行コレクション	東北の陶磁器	17
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥邃関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	255
小松家資料	仙台平等裂地	10
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,048◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾、工芸	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	（一括）
書跡	書跡、文芸等	353
工芸	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,595
絵画	絵画	921
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	15,994▽

総計　92,801点

（新規収蔵資料254点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く）

点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。

◇整理が完了した点数のみを記載 ▽資料の一部を市史編さん室に移管

表３　当館収蔵指定文化財一覧

国指定文化財（国宝）

平成26年３月31日現在

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年６月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の３点はユネスコ記憶遺産（平成25年６月19日登録）

国指定文化財（重要文化財）

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	１領	昭和53年６月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足　兜・小具足付（伊達政宗所用） 附　黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織　１領 旗　１旒	１領	昭和54年６月６日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足　兜・小具足付 附　兜巾　１頭 頭巾　１頭 団扇　３握 軍扇　２握	１領	昭和54年６月６日
工芸品	帯（三沢初子所用） 附　総鹿子裂　２枚 入日記（正徳２年４月）　１通	12条	平成３年６月21日
書　跡	塵芥集	１冊	平成15年５月29日

宮城県指定文化財

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
絵　画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	６曲１双 ２曲１双	平成５年12月24日
考古資料	土偶／鍛冶沢遺跡出土	１箇	平成24年５月１日
歴史資料	国絵図　正保年間奥州仙台領絵図（写）	１軸	平成20年５月２日

仙台市指定文化財

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
絵　画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	１幅	昭和44年７月31日
絵　画	菊絵和歌屏風	２隻	昭和51年７月１日
絵　画	躑躅ケ岡花見図屏風	６曲半双	昭和51年７月１日
絵　画	菅井梅関　水亭午翠図	１幅	昭和51年７月１日
絵　画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図（２曲屏風） 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図（東東洋筆）	 １双 ６面 ４面	昭和60年９月４日
絵　画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅２面	昭和60年９月４日
絵　画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図（伊達綱宗筆）	３幅	昭和60年９月４日
絵　画	紙本著色河図之図（東東洋筆）	１幅	昭和60年９月４日
絵　画	銅板油彩悲しみのマリア像	１面	昭和60年９月４日
絵　画	瀟湘八景図（雪村周継筆）	６幅	平成７年３月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年９月４日
工芸品	服飾類（伊達政宗所用） 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	 １具 １領 １領 １領 １腰 １腰 １腰 １条	昭和60年９月４日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織（伊達重村所用）	１領	昭和60年９月４日
工芸品	茶杓　仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作　２筒 伊達忠宗作　２筒 伊達綱宗作　６筒 伊達綱村作　７筒 伊達吉村作　36筒 仙台藩主作　７筒　（以上茶杓箪笥入） 伊達忠宗作　１筒	61筒	昭和60年９月４日

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	 1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附　黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱　1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領）	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱皺漆六枚胴具足　三宝荒神形兜付（伝上杉謙信所用）	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附　金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月34日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盥	1具	平成24年12月21日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章（仙台藩歴代藩主所用）	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録（仙台市博物館本）	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及続編（仙台市博物館本）	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考（仙台市博物館本） 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附　御代々考考證　遊佐好生筆　10冊	 1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附　六無斎遺詠　1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身　1口 糸巻太刀拵　1腰 黒漆葛蒔絵文箱　1合 青龍付文鎮（文箱内容品）　1点 墨（文箱内容品）　1挺 黒漆白梅蒔絵箱　1合 梨地菊蒔絵箱　1合 黒漆鉄線蒔絵香合　1合 梨地梅笹蒔絵硯箱　1合 筆入（硯箱内容品）　1点 墨（硯箱内容品）　1挺 硯（硯箱内容品）　1面 水滴（硯箱内容品）　1点 梨地煙管箱　1合 煙管羅宇（煙管箱内容品）　2点 梨地菊蒔絵印籠　1具 皮袋　1点 慶長1分金（皮袋内容品）　3枚 携帯用磁石（皮袋内容品）　1点 金製ブローチ（皮袋内容品）　1点 練玉（皮袋緒締）　1点 銀製服飾品　1点 円鏡　1点 毛抜　2点 雲母製菜板　5枚 葵紋金製菜板　1枚 金具　一括 残欠類　一括	一括	昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	仙台城下絵図（推定天明6～寛政元年）	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附　春慶塗印籠蓋造箱　1合	1幅	平成13年3月22日

3. 教育・普及

講座・イベント

1．リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布　　4月1日（日）～継続中

配布場所　　情報資料センター

表4　参加数

年度	新規参加者	特典進呈
H25	379人	28人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名に付き、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に対し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。

2．博物館七夕飾り

平成25年7月9日（火）～8月18日（日）

エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網･屑籠）を作り、展示した。短冊は、プレイミュージアムにて事前に来館者に願いを書いていただいたものを使用した。

3．仙台っ子歴史探検隊

仙台っ子歴史探検隊①「伊達政宗を探検しよう！」

平成25年8月24日（土）　13：30～15：00

講習室・常設展示室　　参加11名

小学生4年生から6年生を対象に、仙台の歴史と文化に親しみながら、地域理解を深めることを目的として実施しているイベント。

1回目の探検は、「展示室のクイズラリー」と「政宗のよろい調べ」を行った。子どもたちを2つのグループに分け、博物館実習生をリーダーとしてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、メンバーと話し合いながら真剣に問題に取り組む姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいを身に付けてみたり、気が付いたことをグループごとに発表したりするなど、楽しく活動していた。

仙台っ子歴史探検隊②「政宗の人生を探検しよう!」

平成25年10月14日（月・祝）　9：30～12：00

講習室・常設展示室・特別展示室　　参加7名

2回目の探検は、「展示室のクイズラリー」と「政宗・常長の寸劇」を行った。特に、政宗の人生にスポットを当て、慶長遣欧使節としてヨーロッパに渡った支倉常長との関わりについて学習した。

ペアやトリオになって、展示室で「支倉常長像」「パウロ五世像」「ローマ市公民権証書」などの資料を見学しながら、クイズに回答した。今回は子どもたちとともに、保護者もクイズラリーに参加した。

その後、慶長遣欧使節を派遣した政宗の思いや常長の思いを考えてワークシートに記入した。そして、保護者たちが見守る中、政宗役と常長役に分かれて寸劇を行った。当時の2人の思いを考えながら演じる中で、楽しく学ぶことができた。

4．親子体験イベント

夏休み工作教室

「からくり玩具　ぺたくたをつくろう」

平成25年７月28日（日）　10：00～12：00

講習室　　参加45名（子供24名、大人21名）

小中学生を対象とした夏休みの工作教室を行った。今年度は「ぺたくた」と呼ばれる、面を傾けるとぱたぱたと面が変わっていく、からくり玩具を製作した。親子で協力しながら製作し、最後は皆で楽しく遊ぶ姿が見られた。

5．企画・特別展関連イベント

企画・特別展を、より多くの市民に見学してもらうことを目的としたイベント。これらのイベントを通して、博物館をより身近に感じてもらうことができた。

仙台市博物館と伊達武将隊からの挑戦状！

「クイズに参加してステージを見よう♪」

平成25年６月９日（日）　９：00～12：00

展示室、ホール

クイズ参加者223名、ホール観覧者200名

伊達武将隊と連携し、展示室でクイズラリーを行った。クイズの答え合わせは、伊達武将隊が担当し、クイズ参加者にはホールでの武将隊ステージを観覧できるという特典を用意した。親子での参加が多く、クイズを解いた子どもたちにはプレゼントも準備した。

ステージ終了後、好天の中イベント広場で武将隊との記念撮影を行い、多くの参加者が撮影を楽しんだ。

6．しろまち講座15～19

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めるために講座を実施した。いずれも13：30～15：00、ホールで開催した。

表５　平成25年度　しろまち講座

N0.	月日	講師　・　演題	参加者
15	５／25（土）	水野沙織（当館学芸員）「13人の仙台藩主」	281人
16	８／10（土）	酒井昌一郎（当館学芸員）「近江巡礼　滋賀の風景と文化財の魅力」	141人
17	９／14（土）	樋口智之（学芸室長）「仙台藩に関わる肖像画と画家たち」	101人
18	11／９（土）	佐々木徹（当館学芸員）「伊達政宗と慶長遣欧使節」	218人
19	３／22（土）	酒井昌一郎（当館学芸員）「展覧会のみどころ紹介　法隆寺と聖徳太子」	202人

7．生涯学習推進（館内講師・館外講師派遣）

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合とがあった。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書（館内･館外）」を基に作成した講師派遣状況である。なお、学習推進という観点から、学校関係を対象とした講師派遣（館内・館外）は、ここでは除外した（学校関係については、「学校教育との連携」の頁を参照）。

表６　平成25年度館内外講師派遣状況

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館　内　講　師 ○企画展、特別展の解説	102件	4,055人
館　外　講　師 ※市政出前講座も含む	41件	3,482人
合　　計	143件	7,537人

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（１名）と解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物の２種類がある。当室では前者を常設展示、後者をイベントと称している。

１．常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

表７　平成25年度主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居			
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・ぺたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形			
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈷鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯰・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器			
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や復刻版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）		
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）		
はかる	長さ	物差し（曲尺･鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー		
	量	枡（一升・五合・一合）／軽量カップ		
	重さ	ヘルスメーター／台秤		
織る	平織機（カランコ） 織りの組織見本		編む	百足編み 花結び
変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖		
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋（わらじ）／お面（仙台張子）／手拭		
考える	からくりの復元	二挺天府式和時計		
	アイ・トリック	ゆがみ絵／トロンプルイユ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類		
	ゲーム	投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ		
	パズル	組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチュアパズル日本地図		
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書			

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

(1)　入場者数

平成25年度　41,203人

(2)　配布物

配　布　物（枚）	H25
①よろいのワークシート	2,294
②トレーシングペーパー	18
③折紙	66
④テキスト	57

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

(3)　破損、修理状況

状　　況（点）	H25
破損や汚れのための撤去	0
紛失	24
修理による復帰	87
修理不可能での廃棄	1
同種で交換や追加したもの	22
新規展示	1

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

(4)　デジタルデータの活用

システム名	H25
来館者用情報提供システム	7,327

来館者用情報提供システムとは、Ｑ＆Ａ形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは情報資料センターにも設置されている。

2．イベント

1　変身イベント「変身タイム1330」

よろいや小袖などを着て変身するイベント。以下の内容で年３回実施している。

⑴　館内での変身タイム

第１回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

●伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製

●豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足（重文）の複製

平成25年６月２日（日）13：30～15：00

第２回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

●伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製

●伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

平成25年９月28日（土）13：30～15：00

第３回「桃山時代のお姫様や支倉常長に変身！」

●打掛・小袖または支倉常長の衣装（復元）

平成26年２月22日（土）13：30～15：00

表８　参加者（人）（子供は中学生以下）

	回	募集	応募	参加内訳			
				大人	子供	合計	聴講者
H25	1	12	27	5	7	12	42
	2	8	30	3	5	8	26
	3	25	9	6	3	9	20
	計	45	66	14	15	29	88

平成14年度から上記の内容で年３回実施している。戦国ブームやアニメキャラクターなどの影響もあって、子どもから高齢者まで幅広い世代の応募が見られる、人気の高いイベントである。平成25年度は政宗のよろいの着付け希望者が多く、定員の２倍を超える応募があった。

2　特別イベント

イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

⑴　入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。

⑵　表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。

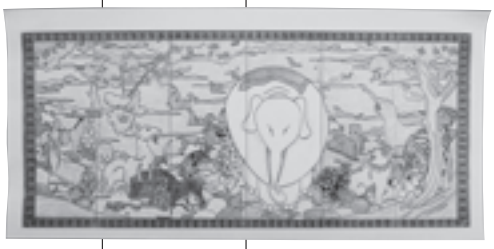
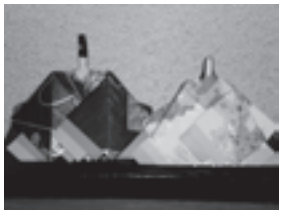
⑶　内容は以下に分類されるものを取り上げる。

●常設展示資料に焦点をあてたもの

○年中行事や季節にあわせたもの

◎特別展や企画展にちなんだもの

表９　平成25年度特別イベント一覧

期　間	参加者	内　　容
◎若冲に挑戦！マス目ぬり絵パズル		
３／１（金） ～５／６ （月･祝） 60日間	大人　990人 子ども924人 計　1,914人	・特別展に出品される伊藤若冲の「鳥獣花木図屏風」をモチーフに、ぬり絵で「マス目描き」を体験しながら、オリジナルのパズルに仕上げた。ユニークな表現技法である「マス目描き」に触れることで、特別展への関心を高め、江戸絵画に関する理解を深めてもらった。 
◎和綴じで歴代藩主集め		
５/21（火） ～６/30（日） 36日間	大人　294人 子ども134人 計　428人	・日本の伝統的な本の綴じ方である「四ッ目綴じ」の方法で、和装本をつくった。日本の伝統的な本の綴じ方である「和綴じ」を体験させることで、来館者の企画展に対する関心を高めるとともに、日本の伝統文化について理解を深めてもらった。
○短冊に願いを…		
７/９（火） ～８/４（日） 24日間	380枚	・和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わうイベント。柳生和紙の短冊に願い事を書き、笹竹（造花）に結んでもらった。
◎白描画を楽しもう		
７/12（金） ～８/25（日） 40日間	大人　436人 子ども442人 計　878人	・特別展に展示されている仏像、または絵巻物に描かれている動物が薄く印刷されたハガキ大の紙を、筆ペンでなぞり描きした。日本美術の伝統的な技法である「白描」で、展示資料などを描く体験を通して、展示資料に興味を持ってもらい、地域の歴史や伝統について理解を深めてもらった。
◎慶長気分でオリジナルアクセサリー		
10/４（土） ～11/17（日） 40日間	大　人330人 子ども468人 計　798人	・慶長遣欧使節関係資料に見られるメダイなどをモチーフに、銅板レリーフでアクセサリーをつくった。展示資料を描き、銅版レリーフでアクセサリーをつくることを通して、展示資料に対する関心を高め、地域の歴史や慶長遣欧使節関係資料等について理解を深めてもらった。
○とべとべ！するめてんばた		
12/17（火） ～１/26（日） 29日間	大　人　29人 子ども139人 計　168人	・郷土に伝わる玩具の一つとして「するめてんばた」を取り上げ、製作を通して来館者に宮城県の伝統文化について理解を深めてもらった。
○折りびなで桃の節句		
２/４（火） ～３/２（日） 23日間	大人　61人 子ども24人 計　85人	・和紙を使い、男女２体の折り雛を作るイベント。日本の年中行事や伝統文化について理解を深めてもらった。 

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積され、その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するために図書や映像などといった二次資料のかたちで提供する場が必要となってくる。一方、歴史的分野における市民の自主的な学習を通した生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の重要な要素であり、情報資料センターを実践の場と位置付けている。

当センターは、利用者のニーズにも対応できるよう運営されている。ミュージアムアシスタント２名（うち司書１名）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表10参照）。

提供資料

1. 図書資料

当センターで自由閲覧を可能とした部屋になっている。自由閲覧以外の蔵書も要望により閲覧に供しているが、貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。

今年度の受入図書は1,539冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は81,487冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は5,035冊（うち新規配架図書21冊）である。

また、センター内の企画として特別展・企画展と関連した特設図書コーナーを随時設けている。

今年度は４回設置し、延べ設置冊数は123冊であった。

2. 映像資料

申込み制の利用とし、主に館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

3. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心として、絵巻物・浮世絵等について写真を添付したカードを作成し、整冊して開架書架に配している。

4. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。コインベンダー式のマイクロリーダープリンター１台を設置し、有料（申込制）でプリントが可能である（利用件数は表10参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示･行事の情報、また全国の博物館･美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

総合展示室に設置された情報提供システム（５台）と同様のものが１台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品・関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている（同プレイミュージアム）。

今年度のアクセス数は、総合展示室46,095件、プレイミュージアム7,327件、当センターでは1,830件であった。

表10　平成25年度情報資料センター利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数（人）		922	799	706	592	952	462	725	717	335	346	338	602	7,496
相談質問（件）		42	42	39	39	74	43	53	45	27	27	23	49	503
外線問合せ（件）		1,083	590	420	429	430	377	466	343	241	246	353	479	5,457
映像利用	利用	0	0	1	2	3	3	1	2	0	0	1	0	13
	利用者	0	0	1	3	3	3	2	2	0	0	2	0	16
図書複写利用	（件）	37	41	63	48	67	44	65	43	32	40	42	47	569
	（枚）	544	423	530	482	1,500	413	630	373	256	382	453	503	6,489
マイクロフィルム利用	利用（件）	1	3	9	1	4	5	3	1	6	6	1	3	43
	複写（枚）	167	243	1,932	52	313	35	123	11	373	36	11	223	3,519
画像提供装置利用者数（情報資料センター調べ）		48	59	55	58	73	27	30	28	8	10	5	22	423
収蔵資料検索アクセス数		5,649	6,360	5,691	4,650	9,501	4,891	4,235	4,748	2,298	2,214	1,373	3,642	55,252

※　平成25年12月28日～平成26年1月4日まで休館

学校教育との連携

1．学校の博物館利用状況

表12から分かるように、平成25年度の学校による博物館の総利用状況は499件･14,939人（前年度比件数増減なし・689人増）であった。市内学校の利用状況は142件・6,413人（前年度比15件減・149人増）と、前年度と比較し件数は若干減少しているが、来館人数は増加している。

市内の小学校の年間を通しての来館件数は77件であり、市内公立小学校（126校）の約61％にあたる。市内の中学校の来館件数は年間を通して17件であり、市内公立中学校（65校）の約26％にとどまっている。平成27年の地下鉄東西線開業により、館への交通手段が確保される学校も多く、今後、学習のつながりをより意識したプログラムの改善を図るなど、市内小･中学校の学習利用を促進する必要がある。

市外学校の来館件数は351件（前年度比30件増）と昨年度と比較し、増加している。震災から３年が経過し、近県の学校状況が比較的落ち着き、県外での校外学習が可能となったことが理由として考えられる。また、市外の学校の来館件数は修学旅行が実施される４月～７月が多い（小学校110件、中学校134件）。

市内外に関わらず、児童・生徒たちがグループごとに学習計画を立て、各施設を自主研修する学習形態は多い。博物館にも一斉に来館する形態が176件であったのに対し、グループで来館する件数は320件と多く、今後もこの傾向は続くものと思われる。

表11　来館児童生徒数（人）

	H23	H24	H25
小　学　校	4,589	6,960	7,126
中　学　校	3,346	4,798	4,977
高校･大学等	1,885	2,492	2,836
合 計 者 数	9,820	14,250	14,939

2．学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げようと、当館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学・職場訪問・貸出教材リスト・出前授業･教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料として、年度末に学校に対して館内外授業プログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを送付している。

3．学校教員対象講座

(1)　博物館活用研修会　８／１(木) 9：30～12：00
ホール・講習室　参加24名

市内小中学校の教員を対象に、博物館学習に関する研修会を実施した。社会科では仙台藩の参勤交代について、貸出教材や仙台市史を活用した授業づくりについて紹介、図工・美術科では「するめてんばたづくり」を体験させ、活用のヒントとなるような研修の場を提供した。最後に学芸員が特別展の解説

平成25年度　学校における博物館利用状況（上段：平成25年度　下段：平成24年度　単位：件・人）

表12　概況

	内　訳	件数	人数
利用数	市　内	142	6,413
		157	6,264
	市　外	351	8,526
		321	7,986
	合　計	493	14,939
		478	14,250
学習形態数	一　斉	176	
		145	
	グループ	320	
		335	
	合　計	496	
		480	
利用目的数	常設展	214	6,432
		227	5,813
	企画展	136	2,868
		180	5,039
	特別展	149	5,639
		92	3,398
	合　計	499	14,939
		499	14,250

表13　月別状況

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合　計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
仙台市内	小	4	165	9	408	3	113	2	76	2	169	14	983	13	838	11	432	9	492	3	244	4	96	3	127	77	4,143
		6	247	5	221	6	296	6	369	0	0	10	468	11	651	18	804	8	409	1	66	7	264	4	167	82	3,962
	中	2	9	2	84	0	0	3	74	0	0	1	6	0	0	6	244	1	19	1	7	1	6	0	0	17	449
		1	7	2	32	0	0	5	177	1	2	0	0	1	6	6	207	1	128	0	0	2	8	3	88	22	655
	高	5	421	1	218	3	26	2	18	0	0	0	0	2	104	3	68	1	7	4	359	0	0	2	94	23	1,315
		3	318	0	0	2	53	5	175	4	133	0	0	2	41	1	47	1	13	2	217	0	0	2	17	22	1,014
	他	3	85	2	73	5	66	2	31	1	5	0	0	1	26	6	175	2	13	1	8	1	11	1	13	25	506
		0	0	1	15	8	59	2	26	2	71	1	16	3	202	6	104	2	22	4	89	2	29	0	0	31	633
	小計	14	680	14	783	11	205	9	199	3	174	15	989	16	968	26	919	13	531	9	618	6	113	6	234	142	6,413
		10	572	8	268	16	408	18	747	7	206	11	484	17	900	31	1,162	12	572	7	372	11	301	9	272	157	6,264
仙台市外	小	3	18	20	411	77	1,162	10	217	0	0	24	242	13	223	11	612	1	21	0	0	2	77	0	0	161	2,983
		4	153	21	357	75	1322	4	38	1	13	15	277	12	372	8	290	0	10	1	1	2	75	2	90	145	2,998
	中	46	1,111	68	1,982	10	517	10	261	2	32	13	328	10	193	7	99	0	0	0	0	0	0	1	5	167	4,528
		43	1,267	59	1,608	10	291	10	261	0	0	11	290	8	182	9	142	1	33	1	8	1	54	1	7	154	4,143
	高	3	305	1	170	2	32	3	74	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	35	11	622
		0	0	3	205	1	26	3	42	0	0	2	103	1	203	2	82	1	0	0	0	2	14	0	0	15	675
	他	1	17	0	0	3	37	0	0	1	12	2	12	1	29	2	266	1	6	1	14	0	0	0	0	12	393
		0	0	0	0	2	69	1	30	0	0	0	0	2	58	1	12	0	0	0	0	1	1	0	0	7	170
	小計	53	1,451	89	2,563	92	1,748	23	552	4	50	39	582	24	445	20	977	2	27	1	14	2	77	2	40	351	8,526
		47	1,420	83	2,170	88	1,708	18	371	1	13	28	670	23	815	20	526	2	43	2	9	6	144	3	97	321	7986
合計		67	2,131	103	3,346	103	1,953	32	751	7	224	54	1,571	40	1,413	46	1,896	15	558	10	632	8	190	8	274	493	14,939
		57	1,992	91	2,438	104	2,116	36	1,118	8	219	39	1,154	40	1,715	51	1,688	14	615	9	381	17	445	12	369	478	14,250

※1　人数は、園児・児童・生徒・学生の数である（引率者の数は除外してある）。
※2　利用目的が複数あった学校があるため、目的件数と利用件数は一致しない。
※3　仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
※4　仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
※5　他は、大学、高等専門学校、幼稚園、特別支援学校、ろう学校、盲学校、杜のひろば等とした。

を行い、その後自由観覧とした。

⑵　ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に行う、宮城県内の教員を対象としたセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的とする。当館学芸員が見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。

教員が対象のセミナーであるが、特別展「伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」から、希望する三の丸会ボランティアの参加も可能とした。

• 企画展

「仙台藩主勢ぞろい!初代伊達政宗から13代慶邦まで」

5／29（水）　参加：12名

• 特別展

「近江巡礼　祈りの至宝展」　①、②

7／17(水)参加：5名、7／20(土)参加：28名

• 特別展

「伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」　①、②

10／9(水)参加：教員14名、ボランティア64名

10／12(土)参加：教員16名、ボランティア20名

• 特別展

「法隆寺　祈りとかたち」　①、②

3／5(水)参加：教員13名、ボランティア11名

3／8(土)参加：教員24名、ボランティア13名

⑶　各種教育機関と共催事業

①　宮城県中学校社会科研修会

6／7(金)9：30～16：00　講習室　参加22名

宮城県内の小中学校の社会科教諭を対象に、博物館資料や自治体史を活用した授業づくりについて講話と模擬授業を行った。午後は文部科学省の樋口雅夫教育課程調査官による「社会科評価とその課題」についての講話が行われた。

②　仙台市小学校教育研究会図画工作部会研修会

6／19(水)15：00～17：00　ホール　参加100名

仙台市内の小学校教諭を対象に「図画工作科における博物館の活用」について講話を行った。

③　仙台市中学校学校図書館研究会定例会

9／26(木)15：00～17：00　ホール　参加70名

仙台市内中学校の図書担当教諭を対象に「仙台平野の災害の記憶」と題して講話を行った。

④　仙台市小学校教育研究会社会科部会

2／5(水)14：00～16：45　ホール　参加102名

仙台市内の小学校教諭を対象に、博物館職員と地底の森ミュージアム職員が、館資料を活用した授業作りについて講話を行った。

⑤　その他の研修会

・千葉市花見川区教頭会研修会

7／17(水)9：00～12：00　ホール　参加20名

・仙台市立南光台小学校研修会

8／23(金)14：00～16：00　ホール　参加25名

各研修会の事後アンケートから、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学習の具体例について紹介するなど学校教育における博物館の活用を促す機会としていきたい。

4．展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説については解説ボランティアが対応した。見学の際にボランティアによる解説を希望する学校は多く、展示室で疑問を解決できることや即時に対応してもらえることから、子どもたちにも好評であった。

5．職場訪問（見学、体験も含む）

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場訪問を12件・71名を受け入れた。1日のみの活動が3件・33名。2日間の活動が3件・14名、3日間の活動が6件・24名であった。活動内容は、館内授業プログラムの補助、アシスタント業務の体験、館内イベントのチラシづくりや広報活動等を行った。

6．博物館教材の貸出

博物館教材の貸出は、23件・61点（前年度比5件増・28点増）であった。最も件数の多かった貸出教材は「楽山公行列図巻」（9件）、次いで「縄文土器や石包丁など出土品複製一式」（5件）であった。小中学校の教員を対象とした各種研修会にて、「楽山公行列図巻」「縄文土器や石包丁など出土品複製一式」を活用した授業づくりについて紹介しているためと思われる。写真パネル等他資料の貸出状況においては、「支倉常長」のパネルやＤＶＤの貸し出しがあった。

7．館内講師・館外講師派遣

充実した博物館学習を行うために、館職員と学校関係者とによる事前打合せを行ってきた。展示見学における解説ボランティアとの連携やスタディシー

トの活用法、館職員による講話など、学習活動に関する内容が主である。

学校からの依頼を受けて、児童生徒や学生、教職員向けに館職員が館内及び館外で講話を行った。表14は、当館で受理された「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）。

表14　講師派遣一覧

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師　（内訳）	73件	3,491人
○特別展・企画展の解説	4件	84人
○講話・講義	40件	2,097人
○講話・体験	28件	1,310人
館外講師（内訳）	8件	853人
○小学校（出前授業）	5件	460人
○中学校（出前授業）	3件	393人
合　計	81件	4,344人

館内講師については、社会科プログラムでは「伊達政宗と仙台」「くらべてみよう城下町」についての講話を希望する学校が多く、市内の学校からは修学旅行先（会津若松、盛岡など）の歴史や城下町についても話をしてほしいという相談が多かった。また、図工・美術科プログラムでは「もんきりがた（15件）」「土人形の絵付け（７件）」など、体験とともに展示を見る視点につながるものを希望する学校が多かった。

館外講師については、市内の小中学校を対象に出前授業を行った。社会科プログラムでは、「参勤交代について（１件）」「政宗と仙台（１件）」「よろいの着付け（１件）」の利用があった。また、図工･美術科プログラムでは、地域の伝統と関連付けた「土人形の絵付け（２件）」「するめてんばた（１件）」の利用があった。その他、地域の歴史についての講話も実施した。児童・生徒の反応がよく、地域に伝わる文化について楽しく学ぶことができたと好評であった。

表15　学習プログラム一覧

	プログラム名	内　容
社会科	くらべてみよう城下町仙台と会津若松	城や城下町を比較しながら修学旅行で役立つ内容を学ぶ
	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	行列の様子や持ち物を調べたり目的を考えたりする
	縄文のむらから古墳のくにへ①	狩猟・採集時代を展示資料を活用して学ぶ
	縄文のむらから古墳のくにへ②	農耕によりむらが大きくなっていく様子を学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして堤人形の歴史や特徴を学ぶ
	日本の美意識－よろいの美しさを感じよう－	具足を見ながら当時の職人の技術や美しさを味わう
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

8．博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、７／31（水）から８／31（土）まで博物館実習を行った。11大学から24名の実習生を受入れた。実習日程については２グループに分け、それぞれ５日間の実習（合同実習１日、グループ別実習４日）を行った。庶務係、学芸室などで分担して実施した。

9．ジュニアリーダー交流会・研修会

平成25年８月25日（日）に、「仙台市嘱託社会教育主事研修協議会青葉区部会、青葉区中央市民センター」と共催し「青葉チャレンジキッズin博物館～ジュニアリーダー交流会及び研修会～」を実施した。当日は、ジュニアリーダー７名、嘱託社会教育主事14名が参加し、展示室でクイズラリーを行ったり、もんきり遊びを楽しんだりするなど、交流を深め、仙台の歴史や文化について楽しく学ぶことができた。

10．キャンパスメンバーズ制度の導入

大学や専門学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生や教職員が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的として、平成25年４月１日からキャンパスメンバーズ制度を開始した。

初年度は年度途中の加入も含め、12校が加入した。今後、メンバー校の学生に対し出前授業や館内イベント等への協力など、キャリア形成の場を提供することも検討している。

平成25年度　加入校一覧（五十音順）

- 尚絅学院大学
- 仙台白百合女子大学
- 東北学院大学
- 東北生活文化大学
- 東北生活文化大学短期大学部
- 東北大学
- 東北福祉大学
- 東北文化学園専門学校
- 東北文化学園大学
- 東北薬科大学
- 宮城学院女子大学
- 宮城教育大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台･宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

参加機関

- せんだいメディアテーク
- 仙台市博物館
- 仙台市科学館
- 仙台市縄文の森広場
- 仙台市天文台
- 仙台市富沢遺跡保存館
- 仙台市八木山動物公園
- 仙台文学館
- 仙台市歴史民俗資料館
- 宮城県美術館
- 東北大学総合学術博物館
- 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- 仙台市教育委員会（生涯学習部）

1．12館大集合！SMMAミュージアムユニバース ～すてき・ふしぎ・おもしろい～

1）日時：平成25年12月20日(金)13：00～20：00、21日（土）11：00～17：00　参加者数：1,375名（延べ）

2）会場：せんだいメディアテーク１階オープンスクエア

3）内容：ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、ＳＭＭＡ参加館が一堂に集まり実施したイベント。参加館の専門家によるトークやクイズを行う「トークとイベントの広場」、ものづくりや実演などによって味わうことができる「体験の広場」、ミュージアムを楽しむための情報が集まった「展示の広場」を展開した。

4）当館の協力：当館は、「トークとイベントの広場」においては２つのプログラムに参加した。12月20日開催の「ＳＭＭＡ企画　学芸員と話そう！ミュージアムの夢」では、当館学芸員・佐々木徹が学芸員の仕事に興味のある学生などとディスカッションを行い、12月21日開催の「仙台市博物館からの挑戦状【冬の陣】～君も政宗通！～」では、教育普及班が伊達政宗に関するクイズイベントを行った。

また、「展示の広場」では博物館収蔵資料の紹介や、平成26年度の展覧会予定を掲示するとともに、展覧会チラシやパンフレット等を配布した。

クイズイベントの様子

展示風景

2．ＳＭＭＡ研修会事業への参加

ＳＭＭＡ参加12館の職員を対象とした研修会事業は、ミュージアムの分野を越えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員が集まり、個々の問題解決のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招聘した講習会等を実施するもので、平成25年度は「①子供との接し方・話し方の技術」、「②学校連携」、「③広報戦略」の３つのテーマでグループを作り意見・情報交換や研修メニューの企画等を行った。

当館からは「①子供との接し方・話し方の技術」に指導主事・竹田幸司がメンバーとして参加するとともに、平成26年１月22日実施のグループ講習会には講師として発表を行った。また「③広報戦略」グループには主事･南部英湖がメンバーとして参加し、同グループが実施するミニイベント「ＳＭＭＡ参加館ポスター展」等の企画・運営に携わった。

仙台歴史ミュージアムネットワーク

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内８つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。

参加施設

- 仙台市富沢遺跡保存館
- 仙台市縄文の森広場
- 仙台市博物館
- 仙台城見聞館
- 瑞鳳殿
- 仙台市歴史民俗資料館
- 仙台文学館
- 仙台市戦災復興記念館

１．歴ネットシートの作成・配布

今年度に作成したシートは以下のとおりである。

施設名	シート名
仙台市富沢遺跡保存館	• 名取川と広瀬川ぞいの横穴墓－黄泉国からのメッセージ－ • 縄文海幸－3000年前の人と海－１ • 縄文海幸－3000年前の人と海－２
縄文の森広場	• 縄文人のくらしと道具～弓矢や土器が使われはじめた頃～ • ひらけ！縄文人の道具箱　使い方① • 縄文人はおしゃれ？アクセサリーがいっぱい！使い方② • 縄文人のくらしと道具－縄文から弥生へ－
仙台市歴史民俗資料館	• 衣生活について
仙台城見聞館	• 仙台城の歴史 • 東日本大震災の被害

※配布総数　　99,980枚（H26.2月21日現在）

２．歴ネット通信の発行

歴ネットの活動・取り組みなどを周知するため、学校の休み前をねらって広報紙を発行した。参加施設の行事の紹介、及び歴ネットのイベント報告などを掲載し、７号（11月）、８号（１月）、９号（２月）の計３号を発行した。

３．「商い・流通・交流・集いin仙台なびっく」の開催

日時：平成25年11月３日（日）・４日（月・祝）

会場：仙台なびっく

東北復興交流ツインステーションの「仙台なびっく」の協力を得て、仙台中心部商店街の歴史や文化を中心に「商い・流通・交流・集い」というコンセプトで、昔の人々が歩んできた生き方を分かりやすく解説した。仙台中心部商店街の奥深さや新しい発見が生まれ、商店街をより愛着を持って接してもらうことができた。

＜リレートーク＞

11月４日（月・祝）　①10：30～　②13：30～

担当	題目
仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）	大昔の人とモノの動き
仙台市博物館	仙台城下の商人たち
仙台市歴史民俗資料館	明治から昭和初期の商い
仙台市戦災復興記念館	子供の目から見た戦後の商店街
仙台市博物館	コーディネーター

レジュメ配布数150部

また今回はリレートークのほか、次の３つの行事も行った。

＜商店街クイズラリー＞11月４日（月・祝）

商店街にある銘店や歴史を今に伝える場所にちなんだクイズを解いて、「仙台なびっく」でプレゼントをもらうクイズラリー（台紙配布250部、クイズ達成者38名）

＜武将隊パフォーマンス＞11月４日（月・祝）

リレートークの理解を深めるための城下町仙台に関するクイズを行った。（２回公演　参加78名）

＜展示コーナー＞

歴ネット参加８館の紹介と、「商い・流通・交流・集い」のテーマに関連した資料の紹介をした。

当日の様子を、発表要旨集として冊子にし、各館に置いている。

5．歴ネットクイズラリーの実施

平成25年12月１日～平成26年２月28日に開催した。各館の有料ゾーンにある各館オリジナルクイズに答え、正解するとオリジナルスタンプを押し、各館を巡って仙台の歴史・文化を学ぶ企画をした。展示室内の問題を解答することで、参加者は展示物を深く観察し、仙台の歴史・文化に親しんでいた。（参加数約5,000名、３館達成者412名、８館達成者15名）

6．歴ネット被災校バスツアーの実施

平成25年11月から平成26年３月に仙台市の沿岸部被災校の３校を対象にバスツアーを行った。どの小学校のプログラムも普段の授業では味わえない体験となり、子どもたちに学習の面白さを伝えることができた。また、仙台の歴史・文化に触れたことで郷土に対する愛着が芽生え、復興への希望を醸成する一助として有効であった。

①　仙台市立荒浜小学校１・２・３年生

11月８日：【テーマ】縄文人になりきろう

仙台市縄文の森広場で弓矢体験・粘土でお面と笛づくり体験活動と展示室及び屋外展示見学を行った。

②　仙台市立東六郷小学校１・２・３年生及び保護者

１月17日：【テーマ】むかしの人の知恵と工夫と技を感じよう

仙台市歴民俗資料館で、石臼による粉ひき体験・行燈の光体験・展示室見学を行った。

仙台市縄文の森広場では、勾玉づくり体験と展示室及び屋外展示見学を行った。

③　仙台市立中野小学校６年生

２月25日：【テーマ】歴史を伝える人に触れ合い郷土の歴史を伝える心を持とう

仙台市博物館で郷土玩具「するめてんばた」作り体験を行い、展示室で仙台の歴史の流れを追う学習をした。

仙台市縄文の森広場では、勾玉作りを通して、昔の人の技や工夫点に気付き、そのことが現代にもつながっている歴史の流れを感じ取った。

7．仙台の伝統門松復元事業（実施館：仙台市縄文の森広場・瑞鳳殿・仙台文学館・仙台市博物館・仙台市歴史民俗資料館・仙台市戦災復興記念館）

かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現した。今年度は、歴ネット職員研修で飾りを作成したり、各館職員が協力し合い門松復元を行った。復元公開した門松の前で記念写真の撮影をしたり、解説パネルを熟読している来館者が多数見られた。仙台の歴史・文化に関する来館者の知識を深化させることができた。

8．体験学習用復元品作製

瑞鳳殿出土の政宗所用金製ブローチのレプリカを作成した。学校などの体験学習で使用していきたい。

9．歴ネットフェスタ

１月４日～２月23日にかけて開催した。各館の冬のイベントを共通のチラシなどで相互に広報・宣伝するなどして実施した。今年度は、クイズラリーを並行して行ったり、歴ネットシートカラー版を各館200部ずつ印刷し来館者に配布したりするなど新しい試みを行った。

施設名・期日・イベント名
仙台市博物館　　12月３日（火）～２月９日（日） 旬の常設展2013－2014冬「かたちでわかる古文書入門」ほか
仙台市富沢遺跡保存館 １月21日（火）～３月16日（日） 企画展「地底の森ミュージアム2013－つながりをはぐくむ－」
仙台市縄文の森広場　２月１日・８日・15日（土） 「音でたのしむ　冬のじょうもん」
仙台市歴史民俗資料館 １月５日（日）～１月26日（日） 季節展示「仙台の正月」
仙台文学館　１月10日（金）～２月11日（火・祝） 新春ロビー展「100万人の年賀状展」 １月18日（土）～４月20日（日） 企画展「白球と青空・戦争と自由～井上ひさしの野球」 井上ひさし資料特集展Vol. 3
仙台市戦災復興記念館　　２月16日（日） 2013年度第６回オオマチシアター 落語三遊亭小遊三「船徳」「宿屋の仇討」ＤＶＤ上映会

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本的に以下のような広報活動を行っている。また、最近は学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、特別展「若冲が来てくれました―プライスコレクション　江戸絵画の美と生命―」では、全国的に大変注目されたこともあり、会期中の雑誌・新聞掲載など多くの媒体に取り上げられた。さらに、ＮＨＫ「日曜美術館」、ＢＳ日テレ「ぶらぶら美術博物館」、テレビ東京「美の巨人たち」と、知名度の高い美術番組で取り上げられたことで、大変効果的な広報となった。

１．広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下２種類の印刷物を発行・配布した。平成19年からはじめたＰＤＦファイルによるホームページへの掲載も継続し、いつでもどこからでも自由に閲覧できるようにしている。

⑴　博物館だより（隔月発行）　№158～163
　　225×420ｍｍ　四つ折り　観音開き
⑵　展覧会案内（平成26年度版）
　　225×420ｍｍ　四つ折り　観音開き

広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

２．広報資料発送

マスコミをはじめとする広報関係機関等への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのちらし、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。今年度は、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌･フリーペーパー等出版社など）約130社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、25年度は約330件となった。

３．ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件を検索できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

情報更新は、毎月３回を目安に随時行っており、平成25年度の当館ホームページへの総アクセス数は、1,936,396件であった。特に特別展「若冲が来てくれました」期間は閉幕が近づくにつれアクセス数が増加し、５月は47万７千件／月を超えるなど、過去最大のアクセス数を記録した。22年度以降、アクセス数は急激に増加しており、ホームページによる情報提供の重要性が高まっていることがうかがえる。

4．文化庁ミュージアム活性化支援事業広報業務

平成25年度に被災地への情報発信およびミュージアムの活性化を図ることを目的とした、特別展「伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」などミュージアム活性化支援事業の広報業務委託を実施した。ＴＶＣＭ、仙台駅構内ｉステーションや地下鉄通路でのアドピラー広告など多様な広報媒体を利用し、複合的に活用した。

■実施内容

⑴「伊達政宗の夢」公式ＨＰ開設・運営
（パソコン版・スマートフォン版）
平成25年８月14日開設

⑵　仙台市地下鉄仙台駅構内アドピラー広告
期間：平成25年10月１日～10月10日
地下鉄仙台駅東西通路／14本

⑶　仙台駅３階デジタルサイネージ広告
期間：平成25年10月１日～10月31日
30秒映像をランダム表示

⑷　ＪＲ仙台駅構内大型ビジョン（ｉステーション）掲出
期間：平成25年10月１日～14日
７：00～22：00／９分間に１回・30秒

⑸　ＴＶＣＭ作成
期間：平成25年９月16日～11月17日
放送回数：90本　放送局：ＴＢＣ東北放送

⑹　ラジオＣＭ作成
期間：平成25年９月17日～11月17日
放送回数：150本　放送局：ＴＢＣラジオ

地下鉄仙台駅通路アドピラー

刊行物・グッズ等

平成25年度は、下記のとおり３種の刊行物を発行した。（市史編さん室の刊行物については、「5．市史編さん事業」参照）

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、25年度は、Ａ４クリアファイル（ローマ市公民権証書）、ミニクリアファイル（水玉模様陣羽織、三沢初子の帯）、風呂敷およびハンカチ（ともに水玉模様陣羽織デザイン）を増刷した。

また、新たに子供向けとして、まーくんＬＥＤライト、まーくんめごちゃん付箋を製作した。

1．刊行物

⑴「仙台市博物館年報」第40号
平成25年６月30日発行　Ａ４判　94ページ

⑵「仙台市博物館調査研究報告」第34号
平成26年３月31日発行　Ｂ５判　62ページ

⑶　特別展図録
「伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」
平成25年10月２日発行
Ａ４判　224ページ

特別展図録

2．オリジナルグッズ

平成25年度製作・増刷は以下のとおり

⑴　まーくんＬＥＤライト（380円）
⑵　まーくんめごちゃん付箋（200円）
⑶　Ａ４クリアファイル（350円）
⑷　ミニクリアファイル（200円）
⑸　水玉文様陣羽織デザイン風呂敷（2,000円）
⑹　水玉模様陣羽織デザインハンカチ（800円）

※平成26年３月31日現在

まーくんLEDライト、
まーくんめごちゃん付箋

4. 調査・研究

平成25年度「仙台市博物館調査研究報告」第34号には、以下の論文を掲載した。

1. 屏風のなかの動物たちー伊藤若冲とその周辺作品をめぐってー

内山淳一

当館は特別展「大江戸動物図館－子・丑・寅…十二支から人魚･河童まで－」（平成18年）をはじめとして、江戸時代の動物画に関わる展覧会をたびたび開催してきた。本稿は、それらの機会に出品された個性あふれる屏風作品の特質を、動物の渡来時期や画像の出典といった観点から論じたもの。特に、伊藤若冲筆「鳥獣花木図屏風」（プライス･コレクション）については、登場するいくつかの動物の出典を明らかにすることで、その制作期を絞り込める可能性を提起する。

2. 資料紹介―「伊達の黒箱」文書について（二）―

菅原美咲

本稿は平成22年度「仙台市博物館調査研究報告」第31号に引き続き、伊達家寄贈文化財に含まれる「伊達の黒箱」とよばれる寛文事件関係資料群の一部を翻刻し、その内容を紹介した。「伊達の黒箱」には寛文11年（1671）年３月27日に仙台藩奉行の原田甲斐宗輔が、一門伊達安芸宗重を斬った刃傷事件について、その事後処理に関する文書397通が一括して収められている。本稿では４月３日から４月７日までの62通を翻刻した。

3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題―大使支倉の名乗りと「震災復興派遣説」 について―

佐々木徹

本稿では、慶長遣欧使節に関わる幾つかの論点の中で、大使支倉六右衛門の名乗り（仮名）の問題と近年提起されている慶長一六年の地震・津波からの「震災復興派遣説」について若干の検討を加えた。

その結果、家譜・系図類で同一人物とされる支倉六右衛門と支倉五郎左衛門・支倉与市については、同時代資料との不整合が甚だしいため、それぞれ別の人物とみるのが妥当であると結論づけた。

次に、「震災復興派遣説」については、現状では資料的な裏付けが全くない上に状況証拠もいまだ希薄と言わざるを得ず、受け容れがたい見解であると述べた。特に、仙台藩のみならず全国各地で凶作や飢饉といった様々な災害が頻発する前近代社会にあって、慶長遣欧使節の派遣を震災復興政策の一環であると特化させることは、かえってこの使節の意義を矮小化させてしまうのではないかとも指摘した。

◇　平成26年度研究テーマ　◇

平成26年度の仙台市博物館学芸員・指導主事の研究テーマは以下のとおりである。

中世・近世の伊達家と仙台藩の研究　菅原　美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究　寺澤　慎吾
近世・近代の都市仙台の研究　水野　沙織
図画工作科・美術科における博物館の活用について　山田　貴史
古代・中世仏教彫刻・工芸史の研究　酒井昌一郎
古代から近世東北地方史研究　佐々木　徹
日本肖像画史の研究　樋口　智之
博物館を活用した社会科の学習について　山澤　一郎

表16　仙台市博物館調査研究報告書一覧

No.	所　収　タ　イ　ト　ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 仙台城本丸の障壁画をめぐって 大槻磐渓書翰集について 伊達政宗の印章・印影について 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鵜飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年３月　完売
No.2	養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 伊達家旧蔵の印章について （史料紹介）　宮城県の自由民権運動に関する新史料 名取市熊野神社蔵　木造狛犬調査報告	鵜飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年３月　完売
No.3	角懸鹿谷の美術 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 大槻俊斎の書状について 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鵜飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年３月　完売
No.4	仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析－ 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 旧支倉家関係資料について	鵜飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年３月　完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具４点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・ 鈴木治平	昭和60年３月　完売
No.6	仙台城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年３月（平成10年３月増刷）1,210円
No.7	円山応挙試論 伊達の黒箱文書について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（一） 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鵜飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年３月　完売
No.8	ローマ、ボルゲーゼ宮　「支倉常長」像の作者について 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 「支倉常長追放文書」の年代について 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（二）	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年３月　完売
No.9	新博物館への一考察－反省と展望－ 学校教育における博物館利用学習 もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（三） 仙台藩関係の婚礼調度について 慈光明院蔵　種子華鬘について 柴田町金谷貝塚出土の櫂状木製品 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 伊達政宗の「鉛筆」調査報告　Ⅰ～Ⅴ	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.ｺｯﾗﾃﾞｨｰﾆ・ 芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年３月　完売
No.10	東北地方における山伏笈 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（四） 館蔵考古資料の紹介Ⅰ トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成２年３月　1,870円
No.11	「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（五） 館蔵考古資料の紹介Ⅱ－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成３年３月　1,870円
No.12	戦国期奥羽の在家をめぐって 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 朱皺漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（六） 画像情報提供装置の導入について 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 仙台城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成４年３月　完売
No.13	東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 財団法人斎藤報恩会所蔵　「遠藤山城文書」について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（七）	K.H.ﾌｨｵｰﾚ・ 小関史絵　訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成５年３月　完売

No.	所　収　タ　イ　ト　ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.14	観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 東京国立博物館所蔵の「小袖図」（伊達家旧蔵）などについて 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書の修理について 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成６年３月　完売
No.15	『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 観瀾閣宝物目録について（二）－仙台伊達家における什器保存の試み（補遺） 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成７年３月　完売
No.16	「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 「古川状」について 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 伊達政宗の使節団（1614年）	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成８年３月　2,460円
No.17	博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 宮城県仙台市青山二丁目Ｂ遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成９年３月　完売
No.18	円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局面－ 仙台藩の小人について 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年３月　1,710円
No.19	伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 資料紹介　戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 資料紹介　仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野拓大 磯目隆夫・篠遠喜彦	平成11年３月　完売
No.20	新収資料・国分家資料について 伊達家文書の形成過程（一） 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年３月　2,020円
No.21	百富士画をめぐって－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 資料紹介　仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年３月　2,460円
No.22	仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について ローマ教皇パウロ５世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 佐藤家本について（補遺）	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年３月　1,260円
No.23	陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 調査報告　大崎八幡宮石の間天井画について 仙台市博物館における広報活動について 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年３月　1,330円
No.24	仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年３月　2,180円
No.25	絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巌寺僧関係作品を中心に－ 伊達氏における印判状の成立 資料紹介　佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年３月　非売品
No.26	ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚（ベネチア東洋美術館蔵）・厨子棚（鍋島報效会蔵）・書棚（仙台市博物館蔵）－ 伊達家文書の形成過程（二） 資料紹介　文化三年御屏風本帳附渡帳 資料紹介　尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・齋藤潤 舩渡崇	平成18年３月　非売品

No.	所　収　タ　イ　ト　ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.27	陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年３月　非売品
No.28	支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説の検証を兼ねて－ 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 資料紹介　御証文方御本牒手控－仙台藩における資料管理の一側面－	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年３月　非売品
No.29	1. 失われたみちのく図巻－谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐって－ 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山淳一 水野沙織	平成21年３月　非売品
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」－伊達吉村の軍制整備との関係から－ 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年３月　非売品
No.31	1. 奥の正法寺と偽綸旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） 3. 新「スタディシート」の一年－その構成と活用方法を中心に－ 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年３月　非売品
No.32・33合併号	1.「御奥方格式」について－美術工芸的アプローチ- 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3.「葦名靭負戊辰記事」に関する一考察 4. 花嶽神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」-特に著保内野遺跡出土国宝「土偶」との比較から－	髙橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍千春・西脇対名夫	平成25年３月　非売品
No.34	※内容については、本年報68ページ参照		平成26年３月　非売品

（平成26年３月31日現在、以下続刊）

5. 市史編さん事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成２年度から当館内に市史編さん室を置き作業を進めている。

平成24年度以前に刊行された市史は、通史編が『原始』『古代中世』『近世１』『近世２』『近世３』『近代１』『近代２』『現代１』『現代２』の９冊、資料編が『古代中世』『近世１　藩政』『近世２　城下町』『近世３　村落』『近代現代１　交通建設』『近代現代２　産業経済』『近代現代３　社会生活』『近代現代４　政治・行政・財政』『仙台藩の文学芸能』『伊達政宗文書１』『伊達政宗文書２』『伊達政宗文書３』『伊達政宗文書４』の13冊、特別編が『自然』『考古資料』『美術工芸』『市民生活』『板碑』『民俗』『城館』『慶長遣欧使節』の８冊で、計30冊となる。

平成25年度は、第31回配本として特別編の最終巻となる『特別編９　地域誌』を刊行した。この『地域誌』は、旧仙台城下（明治22年に市制を実施した地域）を除く現仙台市域を明治時代の町村域にしたがって14の地域に区分し、仙台市が政令指定都市になり区制が実施されるまでのそれぞれの地域の沿革を、多様・豊富なカラー図版を用いながら、わかりやすく紹介したものである。

また、本編さん事業の最終巻となる『年表･索引』については、平成26年度の刊行を目指して、年表に収める項目の選択、調整や、索引作成のための語句の拾いだし作業などを行った。

このほか、市域に関する歴史資料についても継続的に収集、調査、分析を行い、その成果については機関誌『市史せんだい』などに発表するほか、各種の普及活動などに活用している。

１．委員

市史編さん事業においては、学識経験者、市職員などで構成される11名の仙台市史編さん委員の指導・助言のもと、編集や監修などを行う専門委員15名によって随時協議が行われている。また調査分析を行う担当者として、在仙の研究者を中心に調査分析委員18名を委嘱して作業を進めている。これらの委員は、地域誌または年表・索引の部会に属して、調査分析および執筆作業を行っている。

２．資料調査

資料調査は専門委員および各部会の要望、市民からの情報提供などに基づいて実施されている。

平成25年度は『特別編９　地域誌』に関連して仙台市関係機関などで調査を行い、『伊達政宗文書』の補足調査で県外の調査も行っている。

〔主な調査箇所〕
仙台市／秋保市民センター
　　秋保総合支所
　　県政情報センター
　　市政情報センター
　　仙台市民図書館
　　宮城県公文書館
　　宮城県図書館
福島県／福聚寺
　　三春町歴史民俗資料館
東京都／国立国会図書館
　　総務省統計局統計図書館
京都府／井伊美術館

※このほかにも、多数の個人宅での調査および市内各所での調査を行った。

３．資料レスキュー

⑴　活動内容

平成24年度に引き続き、東日本大震災で被害をうけた歴史資料を対象にレスキュー活動（救出・一時保管、整理など）を行い、個人が所蔵する資料の保全処置を実施したほか、個人宅の資料調査を行った。

また、市内巡回による資料所蔵の有無や保管状態の聞き取り調査を行った。

なおレスキュー活動については、ＮＰＯ法人宮城歴史資料保全ネットワークと緊密な連携をとりなが

ら実施し、また宮城県被災文化財等保全連絡会議の幹事役としての役割も担った。

⑵　活動の報告・紹介

- 『土と文字が語る仙台平野の災害の記憶―仙台平野の歴史地震と津波―』の増補改訂版を発行（平成26年３月11日）
- 『仙台市博物館の資料レスキュー活動―東日本大震災後の取り組み―』を刊行（平成26年３月31日）

⑶　震災関連パネル展・パネル貸し出し

平成25年３月１日（金）～６月30日（日）の期間、当館ギャラリーおよびロビーにおいて、パネル展「仙台の歴史と震災～土と文字が語る仙台平野の災害の記憶～」を開催した。

パネルについては平成24年度に引き続き、市民センターや市内外の社会教育施設等に貸し出して展示した。貸し出し施設および貸し出し期間は下記の通りである。

横浜市歴史博物館　平成25年７月30日～10月７日
ひょうご環境体験館　平成25年８月１日～９月６日
仙台なびっく（仙台青年会議所）
平成25年８月６日～８月26日
若林区中央市民センター　平成25年９月16日
宮城野区中央市民センター　平成25年12月８日

⑷　パネルおよび現物展示

震災関連のパネルとレスキューされた歴史資料を市民に公開する展示を開催した。展示の詳細は下記の通りである。

- 「仙台の歴史と震災
～東日本大震災と地域史の発見～」

会　期：平成25年３月５日（火）～５月12日（日）
場　所：電力ビルグリーンプラザ
「とうほく文化情報コーナー」
主　催：仙台市博物館、東北電力グリーンプラザ
展示品：パネル15枚、スギ円盤標本、六郷村行政文書などの文書資料、絵画など16点。

- 「3.11をこえて
～ふるさとの記憶・記録を伝えるために～」

会　期：平成26年３月11日（火）～16日（日）
場　所：東北電力グリーンプラザ
「プラザ・ギャラリー」
主　催：仙台市博物館、東北電力グリーンプラザ
共　催：ＮＰＯ法人20世紀アーカイブ仙台、宮城県被災文化財等保全連絡会議、六郷・七郷コミネット、ＲＥ：プロジェクト、ＮＰＯ法人宮城歴史資料保全ネットワーク
協　力：河北新報社
展示資料：パネル140枚（参加団体合計）、スギ円盤標本、民具など計４点。

- 「震災の歴史をひもとく
～仙台平野の地震と津波～」

会　期：平成26年３月11日（火）～５月11日（日）
場　所：東北電力グリーンプラザ
「とうほく文化情報コーナー」
主　催：仙台市博物館、東北電力グリーンプラザ
展示資料：パネル６枚、遺跡面剥ぎ取りパネル、地層標本、歴史地震の記録史料など計８点。

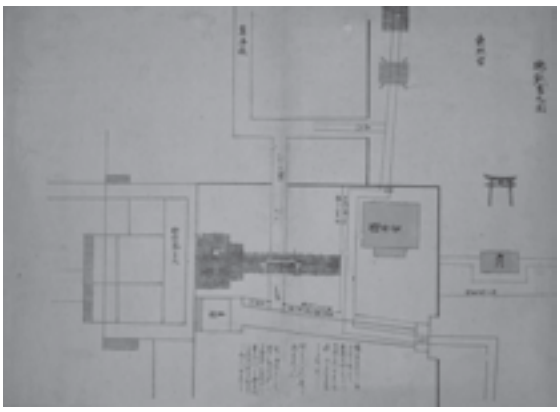
４．資料収集

資料調査を行った資料の一部については、所蔵者の同意を得て借用し、館内で調査・整理作業を行っている。こうした資料については随時くん蒸を実施して虫菌類による損傷を防ぐとともに、原則として目録を作成し、マイクロフィルムやデジタルカメラなどによる撮影を行っている。

また、古書店などを通して仙台関係の近世の古文書などの資料の収集も行っている。

⑴　購入資料

- 仙台東照宮仙岳院御用方絵図　１帖
- 亘理家臣家列帳　１冊
- 伊達政宗書状（伊達忠宗宛）　１幅



仙台東照宮仙岳院御用方絵図

⑵　寄贈資料

※寄贈者（敬称略）／内容／数量
遠藤すみ子／六丁目愛郷婦人部関係資料／２冊

小山勝彦／ふすま裏張り／一括
泉市誌編さん関係資料／７冊
土生浩／郷土史関係収集資料／一括

⑶　整理作業を行った借用資料
秋保総合支所広報誌関係資料
秋保町教育委員会関係資料
七郷神社所蔵文書
仙台藩士今村家文書
仙台藩士太田家文書
仙台藩士倉兼家文書
仙台藩士山路家文書
多賀城吉田氏収集文書（第一次受入）
種次村肝入家資料
中田宿検断家資料
室家資料

５．仙台市史セミナー

仙台市史セミナーは、市史編さん事業で得られた調査分析成果を市民へ発表することを目的に平成３年度から年１回実施しているイベントである。

平成25年度は『仙台城の御殿』と題して２名の講師による講演を行い、208名の参加があった。併せてセミナー終了後、常設展示室において当館学芸員による関連資料の展示解説を実施した。

第22回仙台市史セミナー
日　時：平成26年２月１日（土）13：00～15：30
場　所：当館ホール
参加者：208名
内　容　『仙台城の御殿』
⑴「仙台城本丸と若林城」
地底の森ミュージアム館長　金森安孝氏

⑵「絵図に見る仙台城二の丸」
仙台市博物館学芸員　水野沙織

６．仙台市史講座

仙台市史講座は、市内60カ所に設置されている市民センターとの共催によるイベントで、『仙台市史』編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に年２回実施している。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択している。平成25年度はそれぞれ以下の２カ所で講演を行った。

第27回仙台市史講座
日　時：平成25年９月16日（月）13：30～15：30
場　所：若林区文化センター
（若林区中央市民センター）
参加者：76名（応募152名）
テーマおよび講師
「仙台を支えた近郊農村
－南小泉・七郷・六郷の近世－」
市史編さん室長　菅野正道

第28回仙台市史講座
日　時：平成25年12月８日（日）14：00～16：00
場　所：宮城野区文化センター
（宮城野区中央市民センター）
参加者：106名（応募113名）
テーマおよび講師
『近世・近代　蒲生の記憶』
⑴「近世仙台平野のクロマツ海岸林」
東北学院大学教授　菊池慶子氏

⑵「明治前期の蒲生の風景」
仙台市歴史民俗資料館学芸員　畑井洋樹氏

7．古文書読解講座

東北大学上廣歴史資料学研究部門との共催で、古文書読解講座「はじめて古文書講座」を開催した。

日　程：平成26年１月17日（金）／１月24日（金）
　　１月31日（金）／２月７日（金）
　　（全４回の連続講座）
場　所：当館講習室
講　師：東北大学上廣歴史資料学研究部門教員および市史編さん室員
受講者：50名（受講申込者122名）

8．講師派遣

市史編さん事業の成果を広く市民などへ普及・還元することを目的に、学校や各種の団体、機関などから依頼を受けた場合、職員を派遣して仙台の歴史に関する講話を行っている。また、市政出前講座として広聴相談課を通して講話の依頼を受けて職員を派遣する場合もある。

- 平成25年度の実施状況
　館内講師　　８回
　館外への講師派遣　39回

9．学校教育との連携事業

- 小中学校教員向け研修会で「仙台市史」の利活用に関する講演を４回、震災の歴史に関する講演を１回実施
- 小中学校を対象とした館内授業、出前授業の実施
　館内授業：生出中学校、富谷第二中学校、
　　閖上中学校
　出前授業：荒浜小学校、五城中学校、八木山中学校

10．広報・展示活動

刊行された市史や事業の広報を目的に、年間を通じて広報・展示活動を行っている。市史刊行の広報はチラシやポスター等の広報物作成のほか、博物館ホームページへの情報掲載、市史講座や市史セミナーなどの普及イベント会場における『仙台市史』『市史せんだい』の見本展示を実施している。

これらに加え、25年度は仙台市消防音楽隊と連携し、サンモール一番町・仙台駅ペデストリアンデッキの２か所で、「ふれあいコンサート」の幕間を活用した最新刊の広報を行ったほか、「通史編全９巻」「資料編　伊達政宗文書」のセット販売を企画し販促活動にも力を入れた。

また、仙台城が国の史跡指定を受けて10年になることを機に、仙台市史『特別編７　城館』で取り上げた仙台城に関わる内容や、東日本大震災による石垣の被害状況、修復の経過などを紹介するパネルや資料を展示し、仙台城の歴史的価値について紹介した。

「史跡指定10周年記念　仙台城関係資料パネル展」
期　間：平成25年12月17日（火）
　　～平成26年１月17日（金）
場　所：仙台市役所　１階ギャラリーホール

11．刊行物

⑴『市史せんだい　Vol. 23』
平成25年９月30日発行　Ａ５判　132ページ
特集企画「歴史地震・津波を再考察する」

1論文　貞観十一年陸奥国震災記事と自然災害痕跡研究　斎野裕彦
2研究時評　慶長地震の評価をめぐって　菅野正道
論文　「八幡荘と治承・寿永内乱」　三好俊文
研究ノート「和田織部為泰と幕末維新期の蒲生」　栗原伸一郎
史料紹介　「仙台城等畳数調」―『仙台市史特別編7　城館』「第三部　城館関係文献資料」補遺（一）　羽下徳彦・倉橋真紀
史料紹介　伊達政宗文書補遺（七）

(2)『せんだい市史通信　第30号』
平成25年5月発行　A4判　4ページ

(3)『せんだい市史通信　第31号』
平成25年9月発行　A4判　4ページ

(4)『せんだい市史通信　第32号』
平成26年2月発行　A4判　4ページ

(5)『増補改訂版　土と文字が語る仙台平野の災害の記憶』
平成26年3月発行　A4判　20ページ

(6)『仙台市博物館の資料レスキュー活動―東日本大震災後の取り組み―』
平成26年3月発行　A4判　95ページ

表17　「仙台市史」刊行年次計画

（○数字は既刊）

刊行年度	通史編	資料編	特別編
平成5（1993）年度		⑩　伊達政宗文書1	①　自然
平成6（1994）年度		①　古代中世	②　考古資料
平成7（1995）年度		②　近世1	③　美術工芸
平成8（1996）年度		③　近世2	④　市民生活
平成9（1997）年度			⑤　板碑・⑥　民俗
平成10（1998）年度	①　原始	⑤　近代現代1	
平成11（1999）年度	②　古代中世	④　近世3	
平成12（2000）年度			
平成13（2001）年度	③　近世1	⑥　近代現代2	
平成14（2002）年度	④　近世2	⑪　伊達政宗文書2	
平成15（2003）年度	⑤　近世3	⑦　近代現代3	
平成16（2004）年度		⑫　伊達政宗文書3	
平成17（2005）年度	①　原始〔改訂版〕		⑦　城館
平成18（2006）年度		⑧　近代現代4 ⑬　伊達政宗文書4	
平成19（2007）年度	⑥　近代1	⑨　仙台藩の文学芸能	
平成20（2008）年度			
平成21（2009）年度	⑦　近代2		⑧　慶長遣欧使節
平成22（2010）年度	⑧　現代1		
平成23（2011）年度			
平成24（2012）年度	⑨　現代2		
平成25（2013）年度			⑨　地域誌
平成26（2014）年度	年表・索引		

6. 文化庁補助事業について

文化庁の国補助を活用したミュージアム再興事業

1　事業の概要

文化庁が地域の文化遺産を活用して、公開等により文化振興や地域経済活性化を推進することを目的として、補助金を交付する事業を行っている。

都道府県単位の実行委員会に交付されるため、仙台市博物館は東北歴史博物館とともに宮城県ミュージアム復興事業実行委員会を立ち上げ、東日本大震災により被災した文化遺産保全を図るとともに、災害を記録にとどめ、歴史資料への関心や意識高揚を図る事業を展開している。

2　仙台市博物館の事業

1）博物館の復旧・復興の情報発信、活性化事業

東日本大震災で被災した仙台市内の８つの歴史・文化施設で構成する「仙台歴史ミュージアムネットワーク」を組織し、これまで以上に連携を強め広報活動を展開し、歴史・文化施設を活性化する事業を企画し積極的に情報発信を行う。

また、地域振興の一助となるよう被災校支援を行う。

事業金額　2,002,978円

2）グローバル化拠点事業

特別展「慶長遣欧使節出帆400年･ユネスコ世界記憶遺産登録記念

伊達政宗の夢　―慶長遣欧使節と南蛮文化―」の開催を核とし、ユネスコ世界記憶遺産及び国宝「慶長遣欧使節関係資料」をはじめとする多彩な文化財等を展示公開することをとおして、地域のグローバル化拠点として世界に発信する（詳細は38ページ参照）。

事業金額　64,600,114円

被災ミュージアム再興事業

東日本大震災で被災した博物館資料の修理、修理した資料の整理・データベース化、応急措置を施した資料を収蔵する場所の確保、復興に向けた各種事業や被災した館の資料を活用した展覧会の実施等に必要な経費について、国が補助する事業であり、仙台市博物館では次の事業を行っている。

1）修理した資料の再整理事業

事業金額　8,935,928円

2）被災資料展示事業

事業金額　2,844,047円

3）被災資料の修復

事業金額　5,481,000円

4）応急処理を施した資料を収蔵する場所を確保する事業

事業金額　14,724,046円

7. ボランティア

仙台市博物館では、「仙台市博物館ボランティア三の丸会」が展示解説をボランティアで行っている。平成９年に組織されたこの団体は、平成25年で17年目を迎えた。

平成19年度より５年任期制を導入し、25年度の登録者は121名であった。

ボランティア活動は活動班（各班９～11名の12班編成）ごとに行っており、２週間に１回の活動となる。常設展示室での資料解説や映像による館内紹介（以下、ガイダンスと記す）、プレイミュージアムでのアシスタント補助が主な活動で、22年度からは新たに館庭＜仙台城三の丸跡＞案内を始めた。

会の運営や情報交換は、月１回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当館職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は、年１回の総会で決定している。

１．新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に46名の応募があり、抽選の結果35名を新会員候補とした。その後、以下のボランティア養成講座（４回12講座、13：30～16：30）を受講することによって会員として登録された。

- 第１回：博物館の展示概要／博物館案内・ボランティア活動の実際／三の丸会の活動
- 第２回：歴史展示の解説①／歴史展示の解説②
- 第３回：教育普及・他館連携・市史編さん／プレイミュージアム研修／美術展示の解説①②
- 第４回：接遇実技実習（外部講師）／美術展示の解説③
- 特別接遇研修：接遇実技実習（外部講師）／企画展「仙台藩主勢ぞろい!」の展示解説

※第４回の接遇研修と特別接遇研修は、生涯学習課と連携して仙台市内他の施設のボランティアも参加した。

※６月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

２．解説活動

活動日数は300日（前年度比６日減）で、のべ活動人数が2,455人（同156人増）であった。展示解説は

13,836件（同1,001件増）で観覧者27,702人（同4,436人増）に対応した。また、市民センターの老荘大学・学校の校外学習などで、展示室での解説の依頼も多数ある。

博物館における仙台城ガイダンス機能を拡充させる目的で、博物館の建つ仙台城三の丸跡の案内を22年度から始めた。30分程度の案内を１日１回、４月から11月末日まで行い、実施日数が149日（中止が59日）、879人の観覧者を案内した。参加者からたいへん好評で、県外の方だけではなく市内の方々からも喜ばれている。

その他、英語ガイドも行っており、外国人団体の対応も行っている。旅行者から留学生や市内ＡＬＴの研修会など多岐にわたる要望があった。

3．部会活動

ボランティアは、活動班の他に、５つの部会のいずれかに属し活動している。

表18　ボランティアの５つの部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による紀行文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集･保管を担当。古文書講読会を月１回ずつ実施。

◆主な研修

７月：研究発表会
「慶長遣欧使節の７年の軌跡を追う」
発表者・椎野健作氏（ボランティア）

10月：仙台市観光ボランティアガイドネットワーク研修「お客様を楽しませるコミュニケーションについて」
講師・菊池光男氏（るーぷる仙台乗務員）
：館外研修
伊達氏発祥の地（福島県伊達市ほか）

１月：研究発表会
「根白石と宮床を訪ねて」
発表者・木曜２班
：特別教養講座「子どもの接し方について」
講師・竹田幸司（当館指導主事）

２月：教養講座
「御仏を今に伝えた斑鳩の甍―法隆寺再建論を中心に―」
講師・佐川正敏氏（東北学院大学教授）

学芸員による展示解説
６・９・12・２月：ギャラリートーク

館外研修

その他、今年度の特別展「伊達政宗の夢－慶長遣欧使節と南蛮文化」から教員向けのミュージアムセミナーに三の丸会ボランティアも参加できるようになった。

4．ボランティアと博物館との懇談会

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を２月に行った。ボランティアからは解説活動を通して気づいたことや広報活動について、博物館からはボランティア向け講座について提案がなされた。参加者は、ボランティアが29名、博物館が７名であった。

5．新規ボランティア募集説明会

６月から新しくボランティアを希望する方と継続を希望するボランティアを対象とした説明会を実施した。

日　時：平成26年３月８日（土）13：30～
場　所：博物館講習室
内　容：ボランティア活動内容説明
　　会員の体験談…森田純氏
参　加：９名

接遇研修のようす

8. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費１口　5,000円）・普通会員（年会費　3,000円）・学生会員（年会費　2,000円）からなる。平成25年度の普通会員数は664名であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、様々な職業・年齢層の役員10名から構成される役員会において決定され、本年度は８回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、積極的な活動を行った。

会の事業実績は、別記のとおりである。特別展・企画展セミナー４回、日帰り研修会２回、会員向け講座１回、古文書講読会２回を実施し、いずれも多くの会員の参加を得ることができた。

また、ミュージアム等関係施設復興支援として、宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）に寄付を行った。

表19　平成25年度会員内訳

	性別	年代	人数		
賛助会員			20	20	
普通会員	男性	10　代	0	365	664
		20　代	3		
		30　代	6		
		40　代	19		
		50　代	46		
		60　代	127		
		70　代	94		
		80代～	48		
		その他	22		
	女性	10　代	0	299	
		20　代	4		
		30　代	17		
		40　代	26		
		50　代	41		
		60　代	96		
		70　代	58		
		80代～	20		
		その他	37		
学生会員			6	6	
計			685		

１．　総会　４日17日　博物館ホール　参加85名

２．　事業

⑴　会報発行

６／１　163号、９／１　164号、12／１　165号、３／１　166号

⑵　行事

５／27　広報セミナー「仙台藩主勢ぞろい！」
講師　水野沙織（当館学芸員）
参加99名

５／29　研修会　会津方面　参加41名
講師　酒井昌一郎（当館学芸員）

７／16　広報セミナー「近江巡礼」　参加116名
講師　酒井昌一郎（当館学芸員）

10／７　広報セミナー「伊達政宗の夢」
講師　佐々木徹（当館学芸員）
参加111名

11／８　研修会　石巻方面
講師　酒井昌一郎（当館学芸員）
参加40名

11／30　会員向け講演会
「日本仏教建築の様式と意匠」
講師　東北大学大学院工学研究科助教
野村俊一氏　参加126名

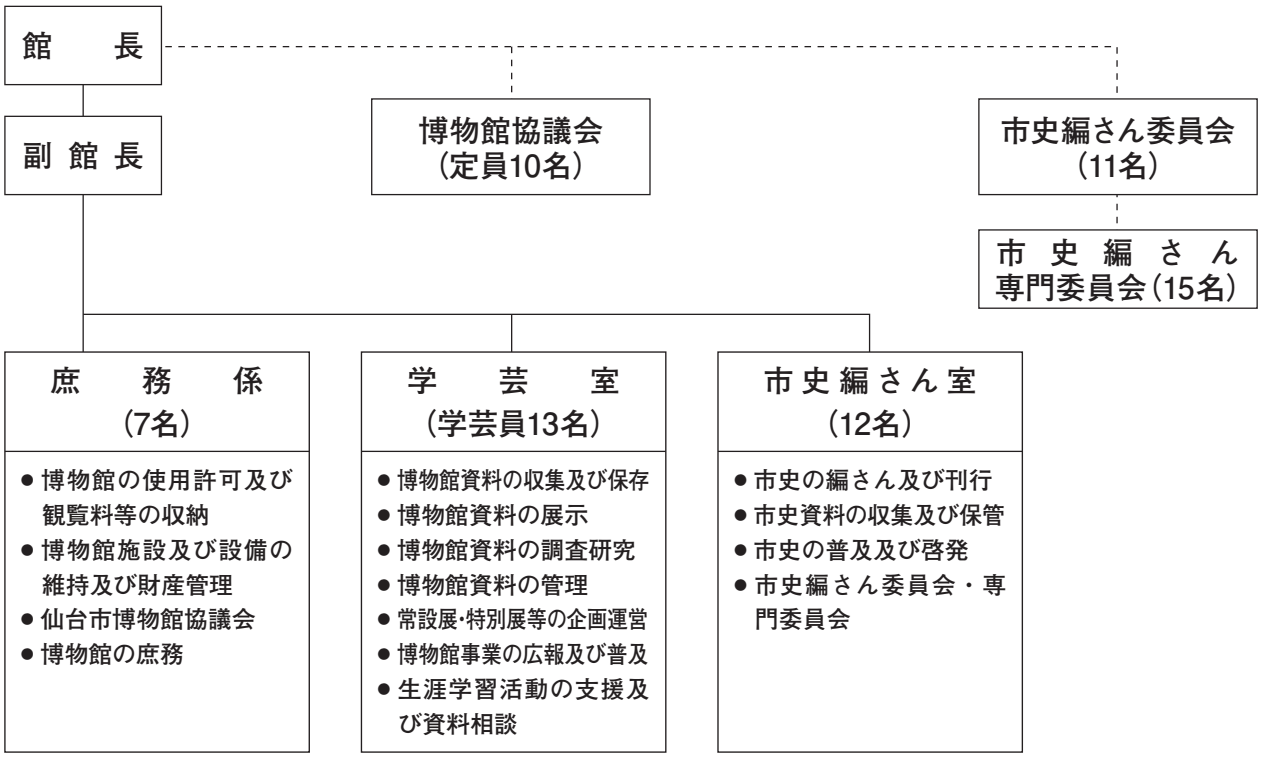
１／25　古文書講読会①
「御家騒動の現場－残された書状から－」
講師　菅原美咲（当館学芸員）
参加149名

２／８　古文書講読会②
「伊達輝宗と最上義光の争い
－ 伊達輝宗自筆日記を読む－」
講師　佐々木徹（当館学芸員）
参加108名

３／３　広報セミナー「法隆寺」
講師　酒井昌一郎（当館学芸員）
参加139名

9. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成25年４月１日現在）



予算概要

表20　平成25年度予算概要

（単位：千円）

費目		当初予算額	摘要
1　運営管理費	（1）光熱水費	46,668	電気、上・下水道、ガス使用料
	（2）管理運営委託費	96,236	警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	（3）施設修繕費	4,500	機械設備等修繕費
	（4）資料修繕費	1,326	収蔵資料修繕費
	（5）その他管理運営費	84,684	教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	233,414	
2　資料購入費		4,190	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3　特別展覧会開催費		24,271	特別展覧会開催に要する経費
4　市史編さん費		41,260	「仙台市史」編さん・刊行に要する経費
5　維持修繕費		903	空気熱交換機改修工事設計
合計		304,038	

職　員（平成25年４月１日現在）

館　　長　　遠　藤　俊　行
副　館　長　　内　山　淳　一

室・係	職名	氏名
庶務係	主幹兼係長	三條清彦
	主任	石垣晃一
	主事	川名厚子
	主事	木村公一
	臨時職員	福原典子
	非常勤嘱託職員	鈴木友希恵
	非常勤嘱託職員	阿部さやか
学芸室	主幹	髙橋あけみ
	室長	樋口智之
	指導主事	竹田幸司
	指導主事	山田貴史
	主任	酒井昌一郎
	主事	佐々木徹
	主事	水野沙織
	主事	南部英湖
	主事	菅原美咲
	非常勤嘱託職員	氏家文枝
	非常勤嘱託職員	鈴木かおる
	非常勤嘱託職員	山野辺典之
	非常勤嘱託職員	太田美由紀
市史編さん室	室長	菅野正道
	指導主事	田中元昭
	主任	稗貫信
	非常勤嘱託職員	明石治郎
	非常勤嘱託職員	村岡淳子
	非常勤嘱託職員	二上玲子
	非常勤嘱託職員	倉橋真紀
	非常勤嘱託職員	菅原友子
	非常勤嘱託職員	栗原伸一郎
	非常勤嘱託職員	三好俊文
	非常勤嘱託職員	中武敏彦
	非常勤嘱託職員	松岡祐也

仙台市博物館協議会

平成25年度　仙台市博物館協議会委員

（五十音順・敬称略　◎＝会長　○＝副会長）

◎泉　　武夫　　東北大学大学院教授
　小川　淳一　　仙台市立七北田中学校長
　尾崎　彰宏　　東北大学大学院教授
○佐川　正敏　　東北学院大学教授
　佐藤　憲子　　仙台市社会学級研究会
　佐藤　弘夫　　東北大学大学院教授
　伊達　泰宗　　伊達家伯記念會取締役会長
　濱田　淑子　　東北福祉大学美術工芸館参与
　森　美智子　　東北学院大学教授
　渡辺　公一　　仙台市議会議員

平成25年度　協議内容

第１回　平成25年５月28日（火）
　１　報告事項
　　⑴　平成24年度及び平成25年４月の観覧者数について
　　⑵　特別展「東日本大震災復興支援／若冲が来てくれました―プライスコレクション江戸絵画の美と生命―」仙台展の結果報告について
　　⑶　企画展「仙台藩主勢ぞろい！　初代伊達政宗から13代慶邦まで」の中間報告について
　　⑷　市史編さん事業について
　　⑸　資料レスキュー事業について
　　⑹　学校・その他の連携事業について
　２　協議事項
　　⑴　特別展「慶長遣欧使節出帆400年記念／伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」

第２回　平成25年７月23日（火）
　１　報告事項
　　⑴　慶長遣欧使節関係資料のユネスコ記憶遺産登録について
　　⑵　平成25年５～６月の観覧者数について
　　⑶　企画展「仙台藩主勢ぞろい！　初代伊達政宗から13代慶邦まで」の結果報告について
　　⑷　特別展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美／近江巡礼―祈りの至宝展―」仙台展の中間報告について
　　⑸　市史編さん事業について
　　⑹　学校・その他の連携事業について
　２　協議事項
　　⑴　資料購入について（秘密会）

第３回　平成25年10月８日（火）
　１　報告事項
　　⑴　平成25年７～９月「月別観覧者及びホール・ギャラリー利用状況」について
　　⑵　特別展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美／近江巡礼―祈りの至宝展―」仙台展の結果報告について
　　⑶　特別展「慶長遣欧使節出帆400年・ユネスコ世界記憶遺産登録記念／伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」の中間報告について
　　⑷　市史編さん事業について
　　⑸　学校・その他の連携事業について
　２　協議事項
　　⑴　特別展「東日本大震災復興記念･新潟県越地震復興10年／法隆寺―祈りとかたち―」について
　　⑵　特別展「東日本大震災復興支援／おもしろびじゅつワンダーランドin東北」について

第４回　平成26年３月４日（火）
　１　報告事項
　　⑴　平成25年10月～平成26年２月「月別観覧者及びホール･ギャラリー利用状況」について
　　⑵　特別展「慶長遣欧使節出帆400年・ユネスコ世界記憶遺産登録記念／伊達政宗の夢―慶長遣欧使節と南蛮文化」の結果報告について
　　⑶　特別展「東日本大震災復興記念・新潟県中越地震復興10年／法隆寺―祈りとかたち―」の中間報告について
　　⑷　市史編さん事業について
　　⑸　学校・その他の連携事業について
　２　協議事項
　　⑴　特別展「東日本大震災復興支援／女人高野室生寺」について

仙台市史編さん委員会

仙台市史編さん事業の遂行に当たっては、仙台市史編さん委員会設置要綱により、幅広い視野からの指導・助言を得ることを目的として仙台市史編さん委員会を設置して、学識経験者・市職員などに委員を委嘱している。また、市史編さんに必要な編集や監修などを行うために専門委員会を設置して、随時協議を行っている。

仙台市史編さん委員

順不同敬称略　○＝委員長

跡部　　薫　仙台市議会市民教育委員会委員長（平成25年９月３日～）
飯渕　由美　健康プランニングⅠ（アイ）主宰
岡崎　修子　柏木市民センター館長
岡田　健治　前仙台商工会議所副会頭
小野寺　健　仙台市議会市民教育委員会委員長（～平成25年９月２日）
立花　鶴憲　東北福祉大学特任教授
平川　　新　東北大学災害科学国際研究所所長･教授
朴澤　泰治　朴沢学園理事長・仙台大学学長
吉田　正志　東北大学名誉教授
○稲葉　信義　仙台市副市長
髙橋　一典　仙台市総務企画局長
上田　昌孝　仙台市教育委員会教育長

仙台市史編さん専門委員

順不同敬称略　○＝委員長

入間田宣夫　一関市博物館館長
岩本　由輝　東北学院大学名誉教授
鵜飼　幸子　前仙台市博物館市史編さん室長
大石　直正　東北学院大学名誉教授
小井川百合子　元仙台市博物館副館長
斎藤　　誠　東北学院大学副学長・教授
佐藤　憲一　元仙台市博物館館長
須藤　　隆　東北大学名誉教授
難波　信雄　東北学院大学名誉教授
仁昌寺正一　東北学院大学教授
羽下　徳彦　東北大学名誉教授
濱田　直嗣　宮城県慶長使節船ミュージアム館長
○平川　　新　東北大学災害科学国際研究所所長･教授
松本　秀明　東北学院大学教授
樋口　智之　仙台市博物館学芸室長

協議内容

仙台市史編さん委員会

第52回　平成25年８月29日

⑴　仙台市史編さん事業収束に関する提言書について
⑵　平成25年度仙台市史編さん事業について
⑶　平成26年度仙台市史編さん事業計画について

第53回　平成25年３月28日

⑴　「仙台市史編さん委員会設置要綱」の改正
⑵　平成25年度市史編さん事業報告
⑶　平成26年度仙台市史編さん事業計画について

仙台市史編さん専門委員会

第126回　平成25年７月27日

⑴　平成25度仙台市史編さん事業について
⑵　平成26年度仙台市史編さん事業計画について

第127回　平成25年12月22日

⑴　『年表・索引』について

第128回　平成26年２月25日

⑴　平成25度仙台市史編さん事業報告
⑵　平成26年度仙台市史編さん事業計画について

10. 利用状況

月別観覧者数

表21　月別観覧者数

（人）

月	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	24,612	0	0	24,612	20,588	0	0	20,588	8,268	53,468
5	13,885	13	1,239	15,137	10,660	2	843	11,505	6,134	32,776
6	5,262	92	1,031	6,385	1,362	14	605	1,981	3,705	12,071
7	5,645	96	465	6,206	3,028	56	136	3,220	1,978	11,404
8	10,113	423	1,147	11,683	5,866	162	275	6,303	2,857	20,843
9	3,226	37	420	3,683	1,538	11	227	1,776	1,860	7,319
10	5,927	45	261	6,233	5,545	31	85	5,661	3,123	15,017
11	5,288	64	143	5,495	5,509	171	117	5,797	3,380	14,672
12	1,633	16	91	1,740	727	3	59	789	1,042	3,571
1	1,293	17	48	1,358	335	1	5	341	1,427	3,126
2	1,134	14	29	1,177	517	10	74	601	691	2,469
3	10,874	293	241	11,408	7,361	174	101	7,636	2,377	21,421
計	88,892	1,110	5,115	95,117	63,036	635	2,527	66,198	36,842	198,157

開館日数307日

施設利用状況

表22　ギャラリー利用状況

利　用　団　体　名	利　用　期　間	日　数	利　用　内　容
市民局交流政策課	10.21～11. 5	16	アカプルコ写真展
教育局教育指導課	11.25～12. 2	8	中学校生徒地図作品展
教育局教育指導課	12. 3 ～12. 9	7	中学校学級新聞展
博物館		192	特別展、資料整理等
計		223	一般貸出利用者計1,668人

表23　ホール利用状況

利　用　団　体　名	利　用　期　間	日　数	利　用　内　容
美術史学会	4.21	1	シンポジウム
仙台日伊協会	9.15	1	講演会
教育局教育指導課	11.25～11.26	2	中学校生徒地図作品展表彰式
教育局教育指導課	12. 3	1	中学校学級新聞展表彰式
一般社団法人 日本考古学協会	1.26	1	講演会
教育局総務課	2．5～2．7	3	教育功労者表彰式
一般社団法人 日本漆総合研究所	2.22	1	講演会
博物館		124	講演会、ビデオガイダンス等
計		134	一般貸出利用者計549人

開館日数　307日

講師等利用状況

表24　講師利用件数表

内訳 / 年度	件数（件）					人数（人）				
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
平成25年度	73	102	8	41	224	3,491	4,055	853	3,482	11,881

表25　レファレンス対応等表（件）

内訳 / 年度	資料相談・質問対応等	マスコミ対応	資料閲覧対応等	写真貸出・利用	計
平成25年度	191	330	27	257	805

視察対応状況

表26　平成25年度　視察対応状況

月　日	視　察　者	人　数
4／24	広島市議会議員	1人
4／30	旧台南県知事	10人
5／2	愛知県議会議員	1人
5／11	ハーフマラソンアカプルコ市選手団	8人
5／18	台南市副市長他	5人
5／24	台南市市民交流促進団	11人
6／27	北京観光団視察	14人
7／3	JICA地方自治研修	17人
7／26	駐日EU大使	3人
8／3	スペイン市民交流団（ハポン氏）	30人
8／4	駐日メキシコ大使館参事官	2人
8／21	駐日キューバ臨時代理大使	3人
8／21	長崎県アジア国際政策課	2人
10／3	駐日イタリア大使	2人
10／3	駐日スペイン大使館参事官	2人
10／5	刈谷市文化財審議委員	6人
10／11	サンマリノ共和国マンリオカデロ特命全権大使	5人
10／31	駐独日本大使	3人
11／1	駐日スペイン大使	3人
11／1	駐日メキシコ大使	3人
11／9	(市長視察)	2人
11／12	阪神ブロック市議会	11人
11／12	広島市議会議長	4人
11／15	仙台商工会議所会頭他	4人
12／12	名古屋市議	1人
1／15	東北市議会議長会	10人
2／16	国際協力機構（JICA）	6人
3／14	宇和島市伊達家当主	2人
3／20	斑鳩町長	2人

11. 条例･規則･要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19
仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設　置）

第一条　歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条　博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名　　称	位　　置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条　博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条　別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2　教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

一　公の秩序を乱すおそれがあるとき

二　管理上支障を及ぼすおそれがあるとき

三　使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条　施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2　使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二　市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一　天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二　市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条　教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一　第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二　第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条　既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一　観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二　使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条　市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条　博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条　博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2　協議会の委員の定数は、10人とする。

3　協議会の委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委　任）

第十一条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附　則

この条例は、昭和61年３月１日から施行する。

附　則（昭63、12・改正）抄

この条例は、昭和64年４月１日から施行する。

附　則（平３、12・改正）抄

（施行期日）

１　この条例は、平成４年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　次項に定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附　則（平９、３・改正）抄

（施行期日）

１　この条例は、平成９年４月１日から施行する。

（経過措置の原則）

２　次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附　則（平15、７・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平16、３・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

別表第一（第三条関係）

区分			金額（１人につき）
常設展	個人利用	一般	400円
		高校生	200円
		小学生・中学生	100円
	団体利用	一般	320円
		高校生	160円
		小学生・中学生	80円
特別展			1,500円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

一　特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。

二　団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。

三　常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に１人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

使用区分＼使用時間		午前（9:00～12:00）	午後（13:00～16:30）
ホール	入場料を徴収しない場合	4,200円	6,500円
	入場料を徴収する場合	12,600円	19,500円
ギャラリー	入場料を徴収しない場合	3,000円	4,400円
	入場料を徴収する場合	9,100円	13,200円

備考

一　全日（午前９時～午後４時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。

二　使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。

三　本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前９時以前又は正午から午後１時までのときは午前、午後４時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。

四　本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合の使用料は、当該使用料の２分の１とする。

五　日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第百七十八号）に規定する休日に使用する場合は、本表に定める使用料の２割増しとする。

六　付帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

七　暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年１月24日
仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣　旨）

第一条　この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条　博物館の開館時間は、午前９時から午後４時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条　博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

一　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

二　休日の翌日（休日又は日曜日に当たる日を除く。）

三　１月１日から１月４日まで及び12月28日から12月31日まで

四　その他教育委員会が必要と認める日

（入館者の遵守事項）

第四条　入館者は次の事項を遵守しなければならない。

一　博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと

二　許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと

三　所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと

四　他の入館者に迷惑となる行為をしないこと

五　その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条　教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

一　適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者

二　でい酔者

三　他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者

四　係員の指示に従わない者

五　その他管理上支障があると認められる者

（観覧券）

第六条　博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

２　前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可の手続）

第七条　条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

２　前項の使用申込書の受付は、使用日の３月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、６月前から行うことができる。

３　教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第七条の二　条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

一　使用料を口座振替の方法により納入する場合　使用許可を受けた日の属する月の翌月末日

二　教育委員会が特別な事由があると認める場合　教育委員会が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第七条の三　使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

２　条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一　使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間　零

二　使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間　条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零

三　使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間　従前の使用料の額

3　使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用者の遵守事項）

第八条　使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

一　使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと

二　使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと

三　入場人員は収容定員を超えないこと

四　火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること

五　許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと

六　許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと

七　使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

（観覧料等の返還）

第九条　観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

2　使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

3　使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一　第七条の三第二項第一号に掲げる期間　既納の使用料の全額

二　第七条の三第二項第二号に掲げる期間　既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4　使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。

（観覧料等の減免）

第十条　観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条　条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2　条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条　仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長１人を置き、委員の互選によって定める。

2　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条　協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2　会長は、会議を招集し、その議長となる。

3　会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

4　会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条　協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条　この規則の実施細目は、教育長が定める。

附　則

この規則は、昭和61年３月１日から施行する。

附　則（昭和63、２・改正）

この規則は、昭和63年４月１日から施行する。

附　則（平成９、３・改正）

（施行期日）

１　この規則は、平成９年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附　則（平成９、９・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成15、９・改正）

（施行期日）

１　この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

２　改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附　則（平16、３・改正）

この規則は、平成16年４月１日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附　則（平17、３・改正）

この規則は、平成17年４月１日から施行する。

別表第一（第十一条関係）

一　付帯設備使用料

区　　分	単位	金額（１回につき）
舞台照明設備	１式	1,000円
音響設備	１式	2,100円
視聴覚設備	１式	1,000円

備考　１回とは、使用１回（使用が２日以上にわたる場合は、１日）をいう。

二　暖房し、又は冷房する場合の加算額

区　　分	加算額（１時間につき）
ホール	500円
ギャラリー	400円

備考　暖房し、又は冷房する時間に１時間未満の端数があるときは、これを１時間に切り上げる。

仙台市史編さん委員会設置要綱

（平成２年９月13日市長決裁）

（設　　置）

第１条　仙台市市政百周年を記念して実施される“仙台市史”（以下「市史」という。）編さん事業を行うにあたり、広い視野から検討するため、仙台市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第２条　委員会の所管事項を次のとおり定める。

⑴　市史編さんの基本的事項に関すること。

⑵　その他市史編さんに関して必要な指導・助言に関すること。

（組　　織）

第３条　委員会は15名以内の委員をもって組織する。

２　委員は学識経験者、市職員、その他必要と認める者の中から市長が委嘱し、又は任命する。

３　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

（委員長）

第４条　委員会に委員の互選により、委員長を置く。

２　委員長は、委員会の会議を招集し、これを総務する。

３　委員長に事故ある時は、委員長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

（会　　議）

第５条　委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

２　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところとする。

（専門委員会）

第６条　委員会に、市史編さんに必要な編集、監修等を行うため、専門委員会を置く。

２　専門委員会は、15名以内の専門委員をもって組織する。

３　専門委員は、学識経験者の中から市長が委嘱する。

４　専門委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、任務の終了した時点までとし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

第７条　第４条及び第５条の規定は、専門委員会に準用する。

（庶　　務）

第８条　委員会の庶務は、教育局博物館において処理する。

（委　　任）

第９条　委員会の運営に関しこの要綱に定めるもののほか必要な事項は教育長が定める。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は平成２年９月13日から実施する。

（委員の任期に関する特例）

２　平成26年３月５日において現に委嘱し、又は任命している委員会の委員に係る第３条第３項の規定の適用については、同項中「２年」とあるのは、「委嘱又は任命の日から平成27年３月31日まで」とする。

３　平成26年３月５日において現に委嘱している専門委員会の委員に係る第６条第４項の規定の適用については、同項中「２年」とあるのは、「委嘱の日から平成27年３月31日まで」とする。

附　則

この要綱は平成４年４月１日から実施する。

附　則

１　この改正は、平成４年12月１日から実施する。

２　平成６年９月12日に委嘱する委員の任期は、平成８年３月31日まで、平成４年12月４日に委嘱する専門委員の任期は、平成６年３月31日までとする。

附　則

この改正は、平成26年３月５日から実施する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

（平成25年２月４日教育長決裁）

（趣　　旨）

第１条　この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（設置目的）

第２条　仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

（対　　象）

第３条　制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

（名　　称）

第４条　制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

（特　　典）

第５条　メンバーの特典は、次のとおりとする。

⑴　メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除

⑵　博物館が発行する印刷物の提供

⑶　博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力

⑷　その他博物館長が認めた事項

２　前項第１号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

（入会手続）

第６条　制度に入会を希望する大学等は、別紙様式１に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続きを行うものとする。

２　博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式２に定めるメンバー証を発行するものとする。

（会　　費）

第７条　会費は、年会費とし、別表のとおりとする。ただし、次条第２項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄２のとおりとする。

２　前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

３　博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

（有効期間）

第８条　メンバーの有効期間は、原則として毎年４月１日から翌年の３月末日までとする。

２　大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

（退　　会）

第９条　メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

２　博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

３　退会した場合の会費は、原則として返還しない。

（事　　務）

第10条　制度の事務は博物館が行う。

（その他）

第11条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附　則

この要綱は、平成25年４月１日から施行する。

別表　区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

１　学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。

２　年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

12. 仙台市博物館のあゆみ

旧　館

昭和34年３月	博物館建設調査着手
35年１月	学識経験者による基本構想検討
３月	博物館建設費予算計上
９月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年６月	同工事竣工（鉄筋コンクリート２階建一部地階総床面積883㎡）
７月	博物館条例設定
９月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行
38年７～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート２階 建総床面積244㎡）
43年３～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート２階 建総床面積879㎡）
46年12月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート２階 建総床面積405㎡）
～47年３月	
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年３月	新館建築のため休館
５月	旧博物館解体工事開始
７月	旧博物館解体工事完了

新　館

昭和57年４月	博物館基本構想策定委員会設置
７月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
９月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年５月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年１月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年７月	建築工事完了
11月	定礎式
61年２月	展示工事完了
３月	新博物館開館
62年９月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年８月	新博物館入場者300万人達成
13年６月	「慶長遣欧使節関係資料」47点歴史資料国宝第１号指定
19年９月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年３月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年９月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年３月	改修工事完了
22年４月	リニューアルオープン
23年３～４月	東日本大震災に伴う復旧工事（１期）
４月	開館50周年
６～７月	復旧工事（２期）
１～２月	復旧工事（３期）、完全復旧
24年７月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年６月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等３点がユネスコ記憶遺産に登録

仙台市博物館年報

第41号　平成25年度

編集・発行　仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印　　刷　遠山青葉印刷株式会社
仙台市青葉区木町通二丁目5−24
Tel.022（272）7371

平成26年6月30日発行

©Sendai City Museum 2014

再生紙を使用しています